全学共通教養科目

（授業科目名 五十音順）

科目名	衣・食・住 Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	世界の食文化	メディア（講義）	
担当者	松本　衣代		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
多様な食文化の学習を通じて、異文化の生活習慣を理解し、柔軟に受けとめる姿勢を養うことを目標とする。自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し，多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢を養う機会とする。

[授業概要]
【メディア授業】
食文化は基本的な生活文化であり、あまりにも身近で日常的であるがために、自らの食習慣や食に対する捉え方が当然のことであり普遍的なものであると思いこみがちである。この授業では、具体的な事例を通して異なる食文化の諸相を学びながら、自らの食文化を改めて内省し、比較対照によって自文化を相対化することを試みる。また、食文化の変容や受容の事例を通して、食文化が、実際には固定的なものでも不変のものでもないということ、生活文化としての食文化とは何かを学ぶ。授業はオムニバス形式とし、各分野の専門家を特別学外講師として招いて実施する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎回の授業の予習や復習や日頃から，世界の食部関するニュース等に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
オリエンテーション
1. オリエンテーション・食文化概論
アジア・太平洋地域の食文化
2. 韓国の食文化①　伝統的食文化（特別学外講師）
3. 韓国の食文化②　近代の食文化（特別学外講師）
4. 太平洋諸国の食文化
5. インドネシアの食文化①　スラウェシ島
6. インドネシアの食文化②　バリ島
7. ブータンの食文化（特別学外講師）
ヨーロッパ・アメリカの食文化
8. アメリカの食文化（特別学外講師）
9. イギリスの食文化（特別学外講師）
アフリカの食文化
10. アフリカの食文化①　主食（特別学外講師）
11. アフリカの食文化②　肉食・狩猟（特別学外講師）
12. アフリカの食文化③　野菜（特別別学外講師）
まとめ
13. 世界からみた日本食文化・まとめ

科目名	衣・食・住 I	前期	2 単位
サブタイトル	世界の食文化	メディア（講義）	
担当者	松本　衣代		

[成績評価方法]
レポート（70%），授業中の課題（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは後日添削後，返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	衣・食・住 Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	食の楽しみと健康	講義	
担当者	本田　まり、佐藤　誓子、松本　衣代、吉川　豊、木村　大輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	参加体験型授業	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・食の楽しみやおいしさは、味覚だけでなく様々な感覚や心身状態の影響を受けることを理解している。
・食の楽しみは、子どもから高齢者、傷病者などすべてにおいて重要であることを理解している。

[授業概要]
人は必要な栄養素を食べ物で摂取することで生命を維持している。また、バランスよく栄養素を摂取することが健康のために重要であることが諸研究で明らかにされてきた。さらに食は「何を、誰とどのように食べるか」によって、栄養成分で得られる以上の健康と豊かさを与えてくれる。本講義では、それぞれの分野で実務経験を有する講師がオムニバス形式により、専門的観点から「食の楽しみと健康」について講述し、「どのように食べるか」について考えていく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から授業に関するニュース等に関心をもち、予習復習を合わせて4時間程度の自己学習に努めてください。

[授業計画]
1. オリエンテーション、食の楽しみと食育（健康スポーツ栄養学科　本田まり）
2. 乳幼児の食の楽しみと食育（健康スポーツ栄養学科　本田まり）
3. 糖質、脂質、たんぱく質の消化と吸収1 （健康スポーツ栄養学科　木村大輔）
4. 糖質、脂質、たんぱく質の消化と吸収2 （健康スポーツ栄養学科　木村大輔）
5. 嗅覚：匂いの化学 （健康スポーツ栄養学科　吉川豊）
6. 食生活の文化と環境（健康スポーツ栄養学科　佐藤誓子）
7. 視覚：美味しさと見た目　（リジェネカフェオーナー　佐伯志保里）
8. 味覚：美味しさを感じる仕組み（健康スポーツ栄養学科　松本衣代）
9. 味覚：味覚テスト　（健康スポーツ栄養学科　松本衣代）
10. 触覚：テクスチャーと味　（大和製衡株式会社　岡部修一）
11. 食物アレルギーの子どもの食の楽しみと健康（一般社団法人LFA Japan代表 大森真友子）
12. 高齢者、傷病者の食の楽しみと健康 （健康スポーツ栄養学科　本田まり）
13. テスト、まとめ （健康スポーツ栄養学科　本田まり）

科目名	衣・食・住 Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	食の楽しみと健康	講義	
担当者	本田　まり、佐藤　誓子、松本　衣代、吉川　豊、木村　大輔		

[成績評価方法]
レポート60%、テスト20%、授業への取組20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・レポートは、代表者の授業の際に口頭でフィードバックする予定です。
・テストは、テスト終了後に解説をします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート、テスト

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	イタリア語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉冨　文		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
イタリア語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
　この授業では、旅先やイタリアン人スタッフのいるレストランなどでのちょっとしたコミュニケーションをイタリア語でできるようになることを目指して、イタリア語の初歩を学習します。
　挨拶やアルファベートの発音から始め、基本的な文法事項を学習し、得た文法知識を応用させて、簡単な会話へと発展させていきます。
　英語が苦手な人も大丈夫。みんなゼロからのスタートです。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度です。
授業で学習した内容をふり返り、本当に理解できているか確認しましょう。
教科書に出てきた単語や表現の意味や使い方を単語帳やノートにまとめましょう。
授業で指示された練習問題に取り組みましょう。

[授業計画]
1. イタリアについて
2. イタリア語の挨拶とアルファベート
3. カフェで注文する(名詞と冠詞)
4. 居場所や出身地を言う(文の語順、動詞essere)1
5. 居場所や出身地を言う(文の語順、動詞essere)2
6. 食べ物の味を言う(形容詞1)
7. 身に付けている物の色を説明する(形容詞2)
8. 自分の持ち物や年齢を言う(動詞avere、0～20の数)
9. 何を買うか言う・住んでいる所、働いている所を言う(-are動詞規則活用)1
10. 何を買うか言う・住んでいる所、働いている所を言う(-are動詞規則活用)2
11. 行き先を言う・今夜の予定について話す・職業を言う(-are動詞不規則活用)1
12. 行き先を言う・今夜の予定について話す・職業を言う(-are動詞不規則活用)2
13. まとめ、名詞・冠詞・形容詞・essere・avere・-are動詞についての解説

科目名	イタリア語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉冨　文		

[成績評価方法]
試験（60%）、受講態度（40%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
答案用紙を回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：学期末の試験と受講態度

[教科書（ISBN）]
書籍名:イタリアーノ・イタリアーノItaliano Italiano 著者名:カスターニャマッテオ 出版社名:朝日出版社 ISBN:9784255553146

[参考書（ISBN）]

科目名	イタリア語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉冨　文		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
よく使われる文や表現が理解でき、自分の身の回りについて表現できたり現地での買い物などで簡単なやり取りができたりするレベルを目指す。

[授業概要]
前期の学習でイタリア語の音や文法に慣れてきたことと思います。
後期は前期に引き続き、文法事項を学習しながら会話によるコミュニケーションへとつなげていきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度です。
授業で学習した内容をふり返り、本当に理解できているか確認しましょう。
教科書に出てきた単語や表現の意味や使い方を単語帳やノートにまとめましょう。
授業で指示する課題に取り組みましょう。

[授業計画]
1. 前期のおさらい
2. 食べたい物、飲みたい物を言う(-ere動詞規則活用1)
3. 余暇について話す(-ere動詞規則活用2)
4. 何を飲むか言う(-ere動詞不規則活用1)
5. 情報を尋ねる(-ere動詞不規則活用2)
6. 好みを言う(-ire動詞規則活用1)
7. バカンスの予定を話す(-ire動詞規則活用2)
8. いつ、何をするか言う(-ire動詞不規則活用1)
9. 今夜の予定を言う(-ire動詞不規則活用2)
10. カフェで注文する(名詞・定冠詞・形容詞の複数形)
11. 時刻を言う・20～100までの数
12.しなければならないことを言う(補助動詞)
13. まとめ、-ere動詞・-ire動詞・補助動詞・名詞、定冠詞、形容詞の複数形について解説

科目名	イタリア語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉冨　文		

[成績評価方法]
試験（60%）、受講態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
答案を回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：学期末の試験と受講態度

[教科書（ISBN）]
書籍名:イタリアーノ・イタリアーノItaliano Italiano 著者名:カスターニャマッテオ 出版社名:朝日出版社 ISBN:9784255553146

[参考書（ISBN）]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上　優大		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on Chapter 1)
3. classroom activities (based on Chapter 1)
4. classroom activities (based oh Chapter 2)
5. classroom activities (based on Chapter 2)
6. classroom activities (based on Chapter 3)
7. classroom activities (based on Chapter 3)
8. classroom activities (based on Chapter 4)
9. classroom activities (based on Chapter 4)
10. classroom activities (based on Chapter 5)
11. classroom activities (based on Chapter 5)
12. classroom activities (based on Chapter 6)
13. classroom activities (based on Chapter 6)

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上　優大		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Keynote (AME) Level 2 Student Book Text Only 著者名:David Bohlke 出版社名:NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING(ナショナル・ジオグラフィック・ラーニング)／Cengage Learning(センゲージ・ラーニング) ISBN:9781305965041

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	長岡　明		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. オリエンテーション、レッスン1
2. ユニット1(College Life)、課題1(UCLA interview)
3. ユニット1、課題1-2
4.ユニット2(Mobile Phone)、課題2提出
5. ユニット2
6. ユニット3(Movies)
7. ユニット3、小テスト
8ユニット3、課題2
9. ユニット4(dating)、課題(英字新聞読解1)
10.ユニット4、課題(英字新聞読解1-2)
11.ユニット5(food)、小テスト
12.ユニット6(English)
13. まとめ。

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	長岡　明		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Feedback and explanations for the assignments will be given during class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・該当箇所の精読(少なくとも、各授業の初めに行なう小テストの準備)
・リスニング課題の復習

[授業計画]
1. Introduction
2. Ch. 1
3. Ch. 2 & 3
4. Ch. 4
5. Ch. 5
6. Ch. 6
7. Ch. 7 & 8
8. Ch. 9 & 10
9. Ch. 11 & 12
10. Ch. 13 & 14
11. Ch. 15 & 16
12. Ch. 17
13. 半期のまとめ(テスト)

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・授業内課題・小テスト→個別に返却
・期末テスト→manabaで一斉返却

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での発?、取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での発?、取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内での発?、取り組み、授業内テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内テスト

[教科書(ISBN)]
書籍名:Harry Potter and the Philosopher's Stone 著者名:J. K. Rowling 出版社名:Bloomsbury ISBN:9781408855652

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	水野　尚之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習を行なうこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。

[授業計画]
1. 授業の進め方のガイダンス。簡単なTOEICのテスト。
2. Unit1 Introduction in the USAのタスクを行ない、動詞の使い分けを学びます。
3. Unit 2 The Natural Wonders of Icelandのタスクを行ない、進行中の動詞を学びます。
4. Unit 3 Getting Around the UKのタスクを行ない、命令や指示を学びます。
5. Unit 4 Tackling Rugby in Irelandのタスクを行ない、命令や指示を学びます。
6. Unit 5 Norwegian Folktalesのタスクを行ない、過去形を学びます。
7. Unit 6 Food Tour in Germanyのタスクを行ない、未来形を学びます。
8. Unit 7 Austrian Symphonyのタスクを行ない、WH疑問文を学びます。
9. Unit 8 The Animals of Maltaのタスクを行ない、助動詞を学びます。
10. Unit 9 Moroccan Souvenirsのタスクを行ない、現在完了形を学びます。
11. Unit 10 Spanish Dancing Lessons のタスクを行ない、受動態を学びます。
12. Unit 11 Fashion Week in Franceのタスクを行ない、最上級を学びます。
13. テキストや和文英訳についての理解度確認テスト・解説を行ないます。

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	水野　尚之		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
小テスト終了後、解答の解説を行ないます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

[教科書(ISBN)]
書籍名:Make Your Way 著者名:田地野　彰　他 出版社名:金星堂 ISBN:9784764741966

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]
授業最初のプレゼンテーション・授業中のグループワーク等は、水曜4限教養英語I-1とは異なる内容です。
1. Introduction
2. classroom activities (Unit 1 p.11-2, p.12-1, 3, p.14-2, p.15-4, p.16-1)
3. classroom activities (Unit 1 p.17-8, p.18-5, p.20-2, p.21-5)
4. classroom activities (Unit 2 p.24-9, p.27-4, 6)
5. classroom activities (Unit 2 p.29-9, p.30-3, p.31-4, p.33-4, 5)
6. classroom activities (Unit 3 p.35-2, p.36-3, 4, p.38-4, p.40-1)
7. classroom activities (Unit 3 p.41-8, p.42-4, p.44-3, p.45-5)
8. classroom activities (Unit 4 p.48-2, 3, p.49の訳読, p.51-5, 8)
9. classroom activities (Unit 4 p.53-5, p.54-5, p.55-6, 7)
10. classroom activities (Unit 5 p.60-3, 4, p.63-4, p.64-3)
11. classroom activities (Unit 5 p.65-8, p.66-4, 5, p.67-8)
12. classroom activities (Unit 6 p.71-2, p.72-2, 3, p.74-4, p.75-6, p.76-2)
13. classroom activities (Unit 6 p.77-8, p.80-2, p.81-3, 4)

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:Voices 2 著者名:Chia Suan Chong and Lewis Lansford 出版社名:National Geographic Learning ISBN:978-0357458792

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review upcoming course materials.
Active participation during class time is necessary.

[授業計画]
1. Introduction Unit 1: Nice to meet you!
2. Unit 1 continued
3. Unit 2: What do you do?
4. Unit 2 continued
5. Unit 3: Do you like noodles?
6. Unit 3 continued and mid-term test
7. Unit 4: How often do you exercise?
8. Unit 4 continued
9. Unit 5: I'm listening to music.
10. Unit 5 continued
11. Unit 6: Where were you yesterday?
12. Unit 6 continued
13. Review and final test

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final test

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 4E Level 1 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	◯	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introducing the course
2. Chapter One
3. Chapter Two
4. Chapter Three
5. Chapter Four
6. Chapter Five
7. Chapter Six
8. Chapter Seven
9. Chapter Eight
10. Chapter Nine
11. Chapter Ten
12. Chapter Eleven and Twelve
13. Final exam

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Feedback will be provided in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation
Presentation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Presentation
Final assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Presentation
Final assessment

[教科書(ISBN)]
書籍名:Penguin Readers Level 4: Pride and Prejudice (ELT Graded Reader) 著者名:Jane Austen 出版社名:Penguin
ISBN:9780241375273

[参考書(ISBN)]
書籍名:Will be introduced in the class. 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]
授業最初のプレゼンテーション・授業中のグループワーク等は、水曜4限教養英語I-1とは異なる内容です。
1. Introduction
2. classroom activities (Unit 1 p.11-2, p.12-1, 3, p.14-2, p.15-4, p.16-1)
3. classroom activities (Unit 1 p.17-8, p.18-5, p.20-2, p.21-5)
4. classroom activities (Unit 2 p.24-9, p.27-4, 6)
5. classroom activities (Unit 2 p.29-9, p.30-3, p.31-4, p.33-4, 5)
6. classroom activities (Unit 3 p.35-2, p.36-3, 4, p.38-4, p.40-1)
7. classroom activities (Unit 3 p.41-8, p.42-4, p.44-3, p.45-5)
8. classroom activities (Unit 4 p.48-2, 3, p.49の訳読, p.51-5, 8)
9. classroom activities (Unit 4 p.53-5, p.54-5, p.55-6, 7)
10. classroom activities (Unit 5 p.60-3, 4, p.63-4, p.64-3)
11. classroom activities (Unit 5 p.65-8, p.66-4, 5, p.67-8)
12. classroom activities (Unit 6 p.71-2, p.72-2, 3, p.74-4, p.75-6, p.76-2)
13. classroom activities (Unit 6 p.77-8, p.80-2, p.81-3, 4)

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:Voices 2 著者名:Chia Suan Chong and Lewis Lansford 出版社名:National Geographic Learning ISBN:978-0357458792

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	長岡　明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. オリエンテーション、ユニット1(Vacation)
2. ユニット2(Music))、課題1
3. ユニット2、課題1-2
4.ユニット3（Sports)、課題2提出
5. ユニット4
6. ユニット5(Shopping)
7. ユニット5、小テスト
8. ユニット6(Travel)
9. ユニット7(Parties)、課題（英字新聞読解1）
10. ユニット8(Part-time job)、課題（英字新聞読解1-2）
11.ユニット9、小テスト
12.ユニット10(Help,Japan)
13. まとめ。

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	長岡　明		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物の返却など

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上　優大		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on Chapter 7)
3. classroom activities (based on Chapter 7)
4. classroom activities (based oh Chapter 8)
5. classroom activities (based on Chapter 8)
6. classroom activities (based on Chapter 9)
7. classroom activities (based on Chapter 9)
8. classroom activities (based on Chapter 10)
9. classroom activities (based on Chapter 10)
10. classroom activities (based on Chapter 11)
11. classroom activities (based on Chapter 11)
12. classroom activities (based on Chapter 12)
13. classroom activities (based on Chapter 12)

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上　優大		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Keynote (AME) Level 2 Student Book Text Only 著者名:David Bohlke 出版社名:NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING(ナショナル・ジオグラフィック・ラーニング)／Cengage Learning(センゲージ・ラーニング) ISBN:9781305965041

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
指定するテキストの精読

[授業計画]
1. (セルフ)イントロダクション
2. 健康と相談
3. 初対面と(秘密の)戯れ
4. 音楽と変化
5. 初恋と計算
6. 引っ越しと宝物
7. 旅行と創作
8. 追跡と(再)発見
9. 疑念と決断
10. 再会と思い出
11. 待ち望んだ日々と浅はかな悪
12. 改心と水平線
13. 振り返り(テスト)

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内課題・中間テスト→個別に返却
期末テスト→manabaで一斉返却

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での発言、取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での発言、取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内での発言、取り組み、授業内テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内テスト

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	水野　尚之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習を行なうこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。

[授業計画]
1. テキストBuild Up！の説明。授業の進め方のガイダンス。簡単なTOEICのテスト。
2. Unit1 A Deep Hobby Worldのタスクを行ない、動詞の現在形を学びます。
3. Unit 2 Learning More About Japanのタスクを行ない、形容詞を学びます。
4. Unit 3 Making Musicのタスクを行ない、動名詞を学びます。
5. Unit 4 Unexpected Encountersのタスクを行ない、接続詞を学びます。
6. Unit 5 The Origin of My Nameのタスクを行ない、名詞を学びます。
7. Unit 6 Cultural Differencesのタスクを行ない、動詞の過去形を学びます。
8. Unit 7 Noisy Neighborsのタスクを行ない、進行形を学びます。
9. Unit 8 Nomophobiaのタスクを行ない、現在完了形を学びます。
10. Unit 9 My Heroのタスクを行ない、助動詞を学びます。
11. Unit 10 To Go or Not to Goのタスクを行ない、to不定詞(形容詞的用法)を学びます。
12. Unit 11 The Future Aheadのタスクを行ない、to不定詞(名詞的用法)を学びます。
13. テキストや和文英訳についての理解度確認テスト・解説を行ないます。

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	水野　尚之		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
小テスト終了後、解答の解説を行ないます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

[教科書(ISBN)]
書籍名:Build Up！ 著者名:臼倉　美里　他 出版社名:金星堂 ISBN:9784764742215

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]
授業最初のプレゼンテーション・授業中のグループワーク等は、教養英語I-2とは異なる内容です。
1. classroom activities (Unit 7 p.84-3, 7, p.87-4)
2. classroom activities (Unit 7 p.89-8, p.90-3, 5, p.92-1)
3. classroom activities (Unit 8 p.97訳読, p.100-3)
4. classroom activities (Unit 8 p.101-8, p.102-2, p.103-8, p.104-2, 3)
5. classroom activities (Unit 9 p.107-2, p.109-2, 3, p.111-4, p.112-2)
6. classroom activities (Unit 9 p.175-2, p.114-1, p.116-2, 3)
7. classroom activities (Unit 10 p.120-8, p.123-5, 6)
8. classroom activities (Unit 10 p.125-7, p.127-8, p.128-2)
9. classroom activities (Unit 11 p.131-2, p.132-2, 3, p.135-5, 8, 9, 10)
10. classroom activities (Unit 11 p.137-8, p.138-2, p.139-5, p.140-1)
11. classroom activities (Unit 12 p.144-3, 4, p.146-5, p.147-9)
12. classroom activities (Unit 12 p.177-2, p.150-1, 3, p.153-1, 3)
13. classroom activities (how to write academic writings)

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:Voices 2 著者名:Chia Suan Chong and Lewis Lansford 出版社名:National Geographic Learning ISBN:978-0357458792

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review upcoming course materials.
Active participation during class time is necessary.

[授業計画]
1. Unit 7: Which one is cheaper?
2. Unit 7: Continued
3. Unit 8: They're very friendly.
4. Unit 8: Continued
5. Unit 9: You can visit the zoo.
6. Unit 9: Continued and mid-term test
7. Unit 10: Is there a coffee shop?
8. Unit 10: Continued
9. Unit 11: I had a good time.
10. Unit 11: Continued
11. Christmas cultural event
12. Unit 12: I'm going to go by car
13. Unit 12: Continued and final test

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final test

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 4E Level 1 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introducing the course; Chapter One
2. Chapter Two
3. Chapter Three and Four
4. Chapter Five
5. Chapter Six
6. Chapter Seven
7. Chapter Eight
8. Chapter Nine
9. Chapter Ten
10. Chapter Eleven
11. Chapter Twelve
12. Chapter Thirteen and Fourteen
13. Final exam

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Feedback will be provided in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation
Presentation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Presentation
Final assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Presentation
Final assessment

[教科書(ISBN)]
書籍名:Penguin Readers Level 5: Wuthering Heights (ELT Graded Reader): Abridged Edition 著者名:Emily Bront? 出版社名:Penguin ISBN:9780241375297

[参考書(ISBN)]
書籍名:Will be introduced in the class. 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]
授業最初のプレゼンテーション・授業中のグループワーク等は、教養英語I-2とは異なる内容です。
1. classroom activities (Unit 7 p.84-3, 7, p.87-4)
2. classroom activities (Unit 7 p.89-8, p.90-3, 5, p.92-1)
3. classroom activities (Unit 8 p.97訳読, p.100-3)
4. classroom activities (Unit 8 p.101-8, p.102-2, p.103-8, p.104-2, 3)
5. classroom activities (Unit 9 p.107-2, p.109-2, 3, p.111-4, p.112-2)
6. classroom activities (Unit 9 p.175-2, p.114-1, p.116-2, 3)
7. classroom activities (Unit 10 p.120-8, p.123-5, 6)
8. classroom activities (Unit 10 p.125-7, p.127-8, p.128-2)
9. classroom activities (Unit 11 p.131-2, p.132-2, 3, p.135-5, 8, 9, 10)
10. classroom activities (Unit 11 p.137-8, p.138-2, p.139-5, p.140-1)
11. classroom activities (Unit 12 p.144-3, 4, p.146-5, p.147-9)
12. classroom activities (Unit 12 p.177-2, p.150-1, 3, p.153-1, 3)
13. classroom activities (how to write academic writings)

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:Voices 2 著者名:Chia Suan Chong and Lewis Lansford 出版社名:National Geographic Learning ISBN:978-0357458792

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ロマノフ　クリス		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	ペアワーク	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Preview the material that will be studied in the next class (approximately 20-30 minutes).
Review the material that was learned in class (approximately 20-30 minutes).
There is an app that can be used for self-study, review, and preview.

[授業計画]
1. Orientation / Your Neighborhood
2. Neighborhood Stores
3. Unit Consolidation / Integrated Speaking Assessment
4. Housing
5. Things in Your Home
6. Unit Consolidation / Integrated Speaking Assessment
7. How was the festival?
8. What were you doing last night at ten?
9. Unit Consolidation / Integrated Speaking Assessment
10. I didn't either.
11. I used to be really sporty.
12. Unit Consolidation / Integrated Speaking Assessment
13. Review / Final Speaking Assessment

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ロマノフ　クリス		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will receive verbal feedback about their performance on a regular basis in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Active participation
Speaking assessments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Active participation

[教科書(ISBN)]
書籍名:Discoverer b2 著者名: 出版社名:ECC ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	水野　尚之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習を行なうこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。

[授業計画]
1. テキストBuild Up！の説明。授業の進め方のガイダンス。簡単なTOEICのテスト。
2. Unit1 A Deep Hobby Worldのタスクを行ない、動詞の現在形を学びます。
3. Unit 2 Learning More About Japanのタスクを行ない、形容詞を学びます。
4. Unit 3 Making Musicのタスクを行ない、動名詞を学びます。
5. Unit 4 Unexpected Encountersのタスクを行ない、接続詞を学びます。
6. Unit 5 The Origin of My Nameのタスクを行ない、名詞を学びます。
7. Unit 6 Cultural Differencesのタスクを行ない、動詞の過去形を学びます。
8. Unit 7 Noisy Neighborsのタスクを行ない、進行形を学びます。
9. Unit 8 Nomophobiaのタスクを行ない、現在完了形を学びます。
10. Unit 9 My Heroのタスクを行ない、助動詞を学びます。
11. Unit 10 To Go or Not to Goのタスクを行ない、to不定詞(形容詞的用法)を学びます。
12. Unit 11 The Future Aheadのタスクを行ない、to不定詞(名詞的用法)を学びます。
13. テキストや和文英訳についての理解度確認テスト・解説を行ないます。

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	水野　尚之		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
小テスト終了後、解答の解説を行ないます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

[教科書(ISBN)]
書籍名:Build Up！ 著者名:臼倉　美里　他 出版社名:金星堂 ISBN:9784764742215

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・該当箇所の精読(少なくとも、各授業の初めに行なう小テストの準備)
・リスニング課題の復習

[授業計画]
1. Introduction
2. Ch. 1
3. Ch. 2 & 3
4. Ch. 4
5. Ch. 5
6. Ch. 6
7. Ch. 7 & 8
8. Ch. 9 & 10
9. Ch. 11 & 12
10. Ch. 13 & 14
11. Ch. 15 & 16
12. Ch. 17
13. 半期のまとめ(テスト)

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・授業内課題・小テスト→個別に返却
・期末テスト→manabaで一斉返却

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内テスト

[教科書(ISBN)]
書籍名:Harry Potter and the Philosopher's Stone 著者名:J. K. Rowling 出版社名:Bloomsbury ISBN:9781408855652

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review vocabulary for each lesson and complete the self-study review tasks.

[授業計画]
1. Meeting Patients
2. Taking a Medical History
3. Application Forms
4. Patient Interviews
5. Illnesses
6. Vital Signs
7. Examining a Patient
8. Review I
9. Talking about Pain Levels
10.Talking about Treatment
11. Caring for Inpatients
12. Coping with Emergencies
13. Summary

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class and on Manaba.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation、Presentation、Final assessment(Test)、Reflective Essay

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation、Presentation、Final assessment(Test)、Reflective Essay

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Active participation、Presentation、Final assessment(Test)、Reflective Essay

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Active participation、Presentation、Final assessment(Test)、Reflective Essay

[教科書(ISBN)]
書籍名:English for Health care Professionals Because We Care 2nd edition 著者名: 出版社名:NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING(ナショナル・ジオグラフィック・ラーニング)／Cengage Learning(センゲージ・ラーニング) ISBN:9784863123687
書籍名:Caring For People 著者名:Takao Okada 出版社名:NGL Cengage ISBN:9784863122567

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	荒木　佑真		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内容を復習し、その日の授業に向けて教科書をしっかり読んでおくこと。
授業に出席するだけでなく、積極的に参加することが求められる。

[授業計画]
1. 導入
2. 授業内での活動(教科書第1章に基づく)
3. 授業内での活動(教科書第1章に基づく)
4. 授業内での活動(教科書第3章に基づく)
5. 授業内での活動(教科書第3章に基づく)
6. 授業内での活動(教科書第5章に基づく)
7. 授業内での活動(教科書第5章に基づく)
8. 授業内での活動(教科書第7章に基づく)
9. 授業内での活動(教科書第7章に基づく)
10. 授業内での活動(教科書第9章に基づく)
11. 授業内での活動(教科書第9章に基づく)
12. 授業内での活動(教科書第9章に基づく)
13. 全体の復習

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	荒木　佑真		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業時間中の応答

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Changing Times, Changing Worlds ／ やさしく読める社会事情 著者名:Joan McConnell 出版社名:成美堂
ISBN:9784791972074

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction (作品と作者の紹介、時代背景など)
Jane Eyre (Ch. 1)
2. Jane Eyre (Ch. 2)
3. Jane Eyre (Ch. 3)
4. Jane Eyre (Ch. 4)
5. Jane Eyre (Ch. 5)
6. Jane Eyre (Ch. 6)
7. Jane Eyre (Ch. 7)
8. Jane Eyre (Ch. 8)
9. Jane Eyre (Ch. 9)
10. Jane Eyre (Ch. 10)
11. Jane Eyre (Ch. 11)
12. Jane Eyre (Ch. 12)
アダプテーション鑑賞 (映画『ジェーン・エア』, 2011)
13. アダプテーション鑑賞 (ドラマ『ジェイン・エア』)
Overall review

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業時間中の応答

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation, Presentation, Final assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Active participation, Presentation, Final assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Active participation, Presentation, Final assessment

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ロマノフ　クリス		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	ペアワーク	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Preview the material that will be studied in the next class (approximately 20-30 minutes).
Review the material that was learned in class (approximately 20-30 minutes).
There is an app that can be used for self-study, review, and preview.

[授業計画]
1. Re-orientation / Is it near the daycare center?
2. Making Plans
3. Unit Consolidation / Integrated Speaking Assessment
4. World Cities
5. What's the oldest temple in Tokyo?
6. Unit Consolidation / Integrated Speaking Assessment
7. Places
8. Recommending Places
9. Unit Consolidation / Integrated Speaking Assessment
10. What do you think of online shopping?
11. Do you think they look fierce?
12. Unit Consolidation / Integrated Speaking Assessment
13. Review / Final Test

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ロマノフ　クリス		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will receive verbal feedback about their performance on a regular basis in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Active participation
Speaking assessments

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Active participation

[教科書(ISBN)]
書籍名:Discoverer b2 著者名: 出版社名:ECC ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	水野　尚之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習を行なうこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。

[授業計画]
1. 授業の進め方のガイダンス。簡単なTOEICのテスト。
2. Unit1 Introduction in the USAのタスクを行ない、動詞の使い分けを学びます。
3. Unit 2 The Natural Wonders of Icelandのタスクを行ない、進行中の動詞を学びます。
4. Unit 3 Getting Around the UKのタスクを行ない、命令や指示を学びます。
5. Unit 4 Tackling Rugby in Irelandのタスクを行ない、命令や指示を学びます。
6. Unit 5 Norwegian Folktalesのタスクを行ない、過去形を学びます。
7. Unit 6 Food Tour in Germanyのタスクを行ない、未来形を学びます。
8. Unit 7 Austrian Symphonyのタスクを行ない、WH疑問文を学びます。
9. Unit 8 The Animals of Maltaのタスクを行ない、助動詞を学びます。
10. Unit 9 Moroccan Souvenirsのタスクを行ない、現在完了形を学びます。
11. Unit 10 Spanish Dancing Lessons のタスクを行ない、受動態を学びます。
12. Unit 11 Fashion Week in Franceのタスクを行ない、最上級を学びます。
13. テキストや和文英訳についての理解度確認テスト・解説を行ないます。

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	水野　尚之		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
小テスト終了後、解答の解説を行ないます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

[教科書(ISBN)]
書籍名:Make Your Way 著者名:田地野　彰 出版社名:金星堂 ISBN:9784764741966

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
該当箇所を自力で正確に理解すること

[授業計画]
Lesson 1, 舞踏会と第一印象
Lesson 2, 家族と足元
Lesson 3, 新たな男性と笑い
Lesson 4, 社交と絶交の兆し
Lesson 5, 一大決心と家族の行方
Lesson 6, 不自由な「家内」
Lesson 7, 振り返り(テスト)
Lesson 8, 言葉の深層と手紙の真相
Lesson 9, 男と妹
Lesson 10, 別離と来訪
Lesson 11, サプライズと拒絶
Lesson 12, 男女の「歩み」
Lesson 13, 振り返り(テスト)

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内での個別対応、及びmanabaでの一斉返却

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内テスト

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	虹林　桜		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
リーディングセクションを読んで分からない単語を調べてきたり、各自関心のある事項について書籍などで理解を深めたりすることを推奨する。

[授業計画]
1 授業概要説明 (内容・評価方法など)
2 作品① 英語で作品鑑賞
3 作品② 英語で作品鑑賞
4 作品③ 英語で作品鑑賞
5 レビュー(これまでの習熟度確認と小テスト)
6 作品④ 英語で作品鑑賞
7 作品⑤ 英語で作品鑑賞
8 作品⑥ 英語で作品鑑賞
9 レビュー(これまでの習熟度確認と小テスト)
10 作品⑦ 英語で作品鑑賞
11 作品⑧ 英語で作品鑑賞
12 作品⑨ 英語で作品鑑賞
13 レビュー(これまでの習熟度確認と小テスト)

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	虹林　桜		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物の返却、授業のリアクションペーパーの質疑やコメントを取りあげて共有

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業後コメントシート/ディスカッション、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業後コメントシート/ディスカッション、小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業後コメントシート/ディスカッション、期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業後コメントシート、ディスカッション、期末レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	荒木　佑真		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業を復習し、その日の授業に備えて教科書をしっかり読んでおくこと。
授業に出席するだけでなく、積極的な参加も求められる。

[授業計画]
1. 導入
2. 授業内での活動(教科書第2章に基づく)
3. 授業内での活動(教科書第2章に基づく)
4. 授業内での活動(教科書第4章に基づく)
5. 授業内での活動(教科書第4章に基づく)
6. 授業内での活動(教科書第6章に基づく)
7. 授業内での活動(教科書第6章に基づく)
8. 授業内での活動(教科書第8章に基づく)
9. 授業内での活動(教科書第8章に基づく)
10. 授業内での活動(教科書第10章に基づく)
11. 授業内での活動(教科書第10章に基づく)
12. 授業内での活動(教科書第10章に基づく)
13. 全体の復習

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	荒木　佑真		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
小テストと課題は採点後に返却される。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Changing Times, Changing Worlds ／ やさしく読める社会事情 著者名:Joan McConnell 出版社名:成美堂
ISBN:9784791972074

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction (作品と作者の紹介、前期の内容確認)
Jane Eyre (Ch. 13)
2. Jane Eyre (Ch. 14)
3. Jane Eyre (Ch. 15)
4. Jane Eyre (Ch. 16)
5. Jane Eyre (Ch. 17)
6. Jane Eyre (Ch. 18)
7. Jane Eyre (Ch. 19)
8. Jane Eyre (Ch. 20)
9. Jane Eyre (Ch. 21)
10. Jane Eyre (Ch. 22)
11. Jane Eyre (Ch. 23)
12. Jane Eyre (Ch. 24)
アダプテーション鑑賞 (映画『ジェーン・エア』, 2011)
13. Jane Eyre (Ch. 25)
アダプテーション鑑賞 (ドラマ『ジェイン・エア』)
Overall review

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業時間中の応答

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation, Presentation, Final assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Active participation, Presentation, Final assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Active participation, Presentation, Final assessment

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction/ Unit 1 A: Amazing Animals
2. Unit 1 B
3. Unit 2 A: Travel and Adventure
4. Unit 2 B
5. Unit 3 A: The Power of Music
6. Unit 3 B
7. Unit 4 A: Into Space
8. Unit 4 B
9. Unit 5 A: City Life
10. Unit 5 B
11. Unit 6 A: Backyard Discoveries
12. Unit 6 B
13. Final Project

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
In class and by email

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Project

[教科書(ISBN)]
書籍名:Reading Explorer 3/E Level 1 Student Book with Online Workbook Access Code 著者名:David Bohlke 出版社名:NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING(ナショナル・ジオグラフィック・ラーニング)／Cengage Learning(センゲージ・ラーニング)
ISBN:9780357123515

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
該当箇所を自力で正確に理解すること

[授業計画]
Lesson 1, 舞踏会と第一印象
Lesson 2, 家族と足元
Lesson 3, 新たな男性と笑い
Lesson 4, 社交と絶交の兆し
Lesson 5, 一大決心と家族の行方
Lesson 6, 不自由な「家内」
Lesson 7, 振り返り(テスト)
Lesson 8, 言葉の深層と手紙の真相
Lesson 9, 男と妹
Lesson 10, 別離と来訪
Lesson 11, サプライズと拒絶
Lesson 12, 男女の「歩み」
Lesson 13, 振り返り(テスト)

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内での個別対応、及びmanabaでの一斉返却

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内テスト

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction/ Unit 1 A: Amazing Animals
2. Unit 1 B
3. Unit 2 A: Travel and Adventure
4. Unit 2 B
5. Unit 3 A: The Power of Music
6. Unit 3 B
7. Unit 4 A: Into Space
8. Unit 4 B
9. Unit 5 A: City Life
10. Unit 5 B
11. Unit 6 A: Backyard Discoveries
12. Unit 6 B
13. Final Project

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
In class and by email

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Project

[教科書(ISBN)]
書籍名:Reading Explorer 3/E Level 1 Student Book with Online Workbook Access Code 著者名:David Bohlke 出版社名:NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING(ナショナル・ジオグラフィック・ラーニング)／Cengage Learning(センゲージ・ラーニング)
ISBN:9780357123515

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・該当箇所の精読(少なくとも、各授業の初めに行なう小テストの準備)
・リスニング課題の復習

[授業計画]
1. Introduction
2. Ch. 1
3. Ch. 2 & 3
4. Ch. 4
5. Ch. 5
6. Ch. 6
7. Ch. 7 & 8
8. Ch. 9 & 10
9. Ch. 11 & 12
10. Ch. 13 & 14
11. Ch. 15 & 16
12. Ch. 17
13. 半期のまとめ(テスト)

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・授業内課題・小テスト→個別に返却
・期末テスト→manabaで一斉返却

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内テスト

[教科書(ISBN)]
書籍名:Harry Potter and the Philosopher's Stone 著者名:J. K. Rowling 出版社名:Bloomsbury ISBN:9781408855652

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction/ Unit 7: When Dinosaurs Ruled
2. Unit 7 B
3. Unit 8: Stories and Storytellers
4. Unit 8 B
5. Unit 9: Unusual Jobs
6. Unit 9 B
7. Unit 10: Uncovering the Past
8. Unit 10 B
9. Unit 11: Plastic Planet
10. Unit 11 B
11. Unit 12: Vanished!
12. Unit 12 B
13. Final Project

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
In class and by email

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Project

[教科書(ISBN)]
書籍名:Reading Explorer 3/E Level 1 Student Book with Online Workbook Access Code 著者名:David Bohlke 出版社名:NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING(ナショナル・ジオグラフィック・ラーニング)／Cengage Learning(センゲージ・ラーニング)
ISBN:9780357123515

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
指定するテキストの精読

[授業計画]
1. (セルフ)イントロダクション
2. 健康と相談
3. 初対面と(秘密の)戯れ
4. 音楽と変化
5. 初恋と計算
6. 引っ越しと宝物
7. 旅行と創作
8. 追跡と(再)発見
9. 疑念と決断
10. 再会と思い出
11. 待ち望んだ日々と浅はかな悪
12. 改心と水平線
13. 振り返り(テスト)

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内課題・中間テスト→個別に返却
期末テスト→manabaで一斉返却

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内テスト

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction/ Unit 7: When Dinosaurs Ruled
2. Unit 7 B
3. Unit 8: Stories and Storytellers
4. Unit 8 B
5. Unit 9: Unusual Jobs
6. Unit 9 B
7. Unit 10: Uncovering the Past
8. Unit 10 B
9. Unit 11: Plastic Planet
10. Unit 11 B
11. Unit 12: Vanished!
12. Unit 12 B
13. Final Project

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
In class and by email

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Project

[教科書(ISBN)]
書籍名:Reading Explorer 3/E Level 1 Student Book with Online Workbook Access Code 著者名:David Bohlke 出版社名:NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING(ナショナル・ジオグラフィック・ラーニング)／Cengage Learning(センゲージ・ラーニング)
ISBN:9780357123515

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
該当箇所を自力で正確に理解すること

[授業計画]
Lesson 1, 舞踏会と第一印象
Lesson 2, 家族と足元
Lesson 3, 新たな男性と笑い
Lesson 4, 社交と絶交の兆し
Lesson 5, 一大決心と家族の行方
Lesson 6, 不自由な「家内」
Lesson 7, 振り返り(テスト)
Lesson 8, 言葉の深層と手紙の真相
Lesson 9, 男と妹
Lesson 10, 別離と来訪
Lesson 11, サプライズと拒絶
Lesson 12, 男女の「歩み」
Lesson 13, 振り返り(テスト)

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野　久和		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内での個別対応、及びmanabaでの一斉返却

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内での取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内テスト

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
充実した大学生活を過ごすために具体的な行動計画を立てることができる
1.自己理解を深め、自身の長所を3つ以上あげることができる
2.学生生活で「やりたいこと」を他者に説明することができる
3.自分に必要な「やるべきこと」を他者に説明することができる
4.キャリア形成の指針となる、自身の大切にしたい価値観について述べることができる

[授業概要]
充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。これまでの自分を見つめ直して将来像を描き、そのためにどのように大学生活を過ごせばよいのかを、考え行動できるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて 4 時間程度)。

[授業計画]
1. イントロダクション　　神戸女子大学での学び
2. 行吉学園・神戸女子大学について学ぶ
　　学園理事長講和・サポートセンターツアー
3. 自己理解(1)　　大学生の自分について考える
4. 自己理解(2)　　これまでの、これからの自分について考える
5. 自己理解(3)　　学生としての力
6. 自己理解(4)　　社会人基礎力
7. 金融の知識を高める　　学外特別講師を迎えて
8. コミュニケーショントレーニング(1)
　　合意形成・コンセンサス
9. コミュニケーショントレーニング(2)
　　アサーティブコミュニケーション・学生支援センターから
10. 活躍する先輩に学ぶ　　学科卒業生が語る「私の神女時代」
11. アセスメント検査解説　　問題解決力を身に着ける
12. 行動計画の立案　　大学生活のプランを立てる
13. ふりかえりとまとめ

＊授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[成績評価方法]
1.主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2.課題(40%)
3.まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:MY LIFE　MY CAREER 著者名:神戸女子大学全学共通教育部 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	服部　律子、牛越　幸子、峰　博子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
「大学生としての学び」「キャリアマインド」の素地をつくる
1. 自立した大学生活の基本的なリズムをつくる。
2. 自分の良さを知り、自信が持てるようになる。
3. 4年間で頑張りたいと思うことを明確にする。
4. 大学を卒業し、就職するには、日々の基礎力鍛錬が重要であることを認識し実践する。

[授業概要]
充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。「自分」を見つめ直し、将来なりたい自分を描き、そのためにどのように大学生活を過ごしたらよいのかを自分で考え、歩み出すあなたを応援します。
大学生としての学び、キャリアマインドの素地をつくるために、看護学部の教育理念と教育目標を理解し、4年間で何をどのように学ぶかをイメージする。またその時に必要とされる基本的な学習方法や態度を学び、学生生活を具体的にデザインする。さらに看護職が活躍している様々な場や看護職の役割を知って、自分自身の将来像を描き、目標を立てる。様々な立場の講師を招き、大学での学び、マナー、情報収集の方法、レポートの書き方等を学び、さらに将来像である看護職としての理解を深めていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業ごとに与えられる課題に関する資料等をよく読み、授業内容を復習しておくこと。次回授業の課題について1週間の間に充分に考え、自分なりの考えをまとめて授業に臨むこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. イントロダクション「看護学部の教育理念と教育目標、4年間の学び」、未来を描く「大学生活をデザインする」(牛越幸子)(4月14日 月曜日)3限
2. 大学生活の過ごし方(1)「大学の授業とノート・テイキング」(牛越幸子) (4月21日 月曜日)3限
3. 情報収集の基礎(服部律子) (4月28日 月曜日)3限
4. 図書館の利用方法(峰博子) (5月12日 月曜日)3限
5. 成長する学生生活(1)「クリティカル・リーディング(1)」(服部律子)(5月19日 月曜日)3限
6. 行吉学園・神戸女子大学の歴史を学ぶ「行吉学園理事長をむかえて」(理事長・牛越幸子)(5月26 月曜日)3限
7. 大学生活の過ごし方(2)「学生生活と健康管理」(服部律子)(6月2日 月曜日)3限
8. 成長する学生生活(2)「クリティカル・リーディング(2)」(服部律子)(6月9日 月曜日)3限
9. 大学生活で磨く社会人基礎力(1)「レポートの書き方(1)」(牛越幸子)(6月16日 月曜日)3限
10. 大学生活で磨く社会人基礎力(2)「レポートの書き方(2)」(牛越幸子)(6月23日 月曜日)3限
11. 大学生活で磨く社会人基礎力(3)「レポートの書き方(3)」(牛越幸子)(6月30日 月曜日)3限
12. 今の自分を知る「自分の将来像を描く」(ベネッセ・服部律子)(7月7日 月曜日)3限
13. 活躍する先輩に学ぶ(学外特別講師・服部律子) (7月14日 月曜日)3限

＊授業計画の内容・順序は、進度・講師などの都合によって入替・変更することがあります。

教室　F310

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	服部　律子、牛越　幸子、峰　博子		

[成績評価方法]
レポート(70%)、学習態度(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートは、manab等で全体に対して講評する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:レポート(70%)、学習態度(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート(70%)、学習態度(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:レポート(70%)、学習態度(30%)

[教科書(ISBN)]
書籍名:アカデミック・スキルズ(第3版)　大学生のための知的技法入門 著者名:佐藤 望 出版社名:慶應義塾大学出版会
ISBN:9784766495478

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
充実した大学生活を過ごすために具体的な行動計画を立てることができる
1.自己理解を深め、自身の長所を3つ以上あげることができる
2.学生生活で「やりたいこと」を他者に説明することができる
3.自分に必要な「やるべきこと」を他者に説明することができる
4.キャリア形成の指針となる、自身の大切にしたい価値観について述べることができる

[授業概要]
充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。これまでの自分を見つめ直して将来像を描き、そのためにどのように大学生活を過ごせばよいのかを、考え行動できるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて 4 時間程度)。

[授業計画]
1. イントロダクション　　神戸女子大学での学び
2. 行吉学園・神戸女子大学について学ぶ
　　学園理事長講和・サポートセンターツアー
3. 自己理解(1)　　大学生の自分について考える
4. 自己理解(2)　　これまでの、これからの自分について考える
5. 自己理解(3)　　学生としての力
6. 自己理解(4)　　社会人基礎力
7. 金融の知識を高める　　学外特別講師を迎えて
8. コミュニケーショントレーニング(1)
　　合意形成・コンセンサス
9. コミュニケーショントレーニング(2)
　　アサーティブコミュニケーション・学生支援センターから
10. 活躍する先輩に学ぶ　　学科卒業生が語る「私の神女時代」
11. アセスメント検査解説　　問題解決力を身に着ける
12. 行動計画の立案　　大学生活のプランを立てる
13. ふりかえりとまとめ

＊授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[成績評価方法]
1.主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2.課題(40%)
3.まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:MY LIFE　MY CAREER 著者名:神戸女子大学全学共通教育部 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
性別によって異なる社会環境を理解し、キャリアビジョンを描くことができる
1.女性の多様な働き方を知り、メリットとデメリットを説明することができる
2.世の中の職業を理解し、自分の適性を他者に説明することができる
3.身近な女性から働き方を学び、なりたいキャリア像を述べることができる
4.キャリア形成の指針となる、自身のキャリアアンカーについて説明することができる

[授業概要]
卒業後の進路選択に備えて、「女性の働き方」について学び、考える授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持った教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。女性を取り巻く社会状況全般について学ぶことに加えて、身近な女性へのキャリアインタビューなども行い、自身の将来像をより具体的にイメージできるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので、熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて 4 時間程度)。

[授業計画]
1. イントロダクション　ライフキャリアデザインとは何か
2. 女性のライフデザイン(1)　社会との関わりと人生における役割
3. 女性のライフデザイン(2)　働くとは仕事とは　様々な雇用形態と法律
4. 女性のライフデザイン(3)　女性のライフコースと経済的自立
5. 知っておきたい労働法　学外特別講師を迎えて
6. 就職にむけて(1)　ウェブテストから自身の強みを知る
7. 就職にむけて(2)　ウェブテストによる筆記試験対策
8. DV被害に遭わないために　学外特別講師を迎えて
9. 活躍する先輩に学ぶ　内定を得た4年生に聞く就職活動
10. コミュニケーショントレーニング(1) 自分も相手も尊重するマナー
11. コミュニケーショントレーニング(2) 文章表現力をつける
12. 女性のキャリアデザイン(1)　キャリアインタビューの計画立案と準備
13. 女性のキャリアデザイン(2)　キャリアインタビューの発表・共有　まとめ

※授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[成績評価方法]
1.主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2.課題(40%)
3.まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:MY LIFE MY CAREER 著者名:神戸女子大学全学共通教育部 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
性別によって異なる社会環境を理解し、キャリアビジョンを描くことができる
1.女性の多様な働き方を知り、メリットとデメリットを説明することができる
2.世の中の職業を理解し、自分の適性を他者に説明することができる
3.身近な女性から働き方を学び、なりたいキャリア像を述べることができる
4.キャリア形成の指針となる、自身のキャリアアンカーについて説明することができる

[授業概要]
卒業後の進路選択に備えて、「女性の働き方」について学び、考える授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持った教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。女性を取り巻く社会状況全般について学ぶことに加えて、身近な女性へのキャリアインタビューなども行い、自身の将来像をより具体的にイメージできるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので、熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて 4 時間程度)。

[授業計画]
1. イントロダクション　ライフキャリアデザインとは何か
2. 女性のライフデザイン(1)　社会との関わりと人生における役割
3. 女性のライフデザイン(2)　働くとは仕事とは　様々な雇用形態と法律
4. 女性のライフデザイン(3)　女性のライフコースと経済的自立
5. 知っておきたい労働法　学外特別講師を迎えて
6. 就職にむけて(1)　ウェブテストから自身の強みを知る
7. 就職にむけて(2)　ウェブテストによる筆記試験対策
8. DV被害に遭わないために　学外特別講師を迎えて
9. 活躍する先輩に学ぶ　内定を得た4年生に聞く就職活動
10. コミュニケーショントレーニング(1) 自分も相手も尊重するマナー
11. コミュニケーショントレーニング(2) 文章表現力をつける
12. 女性のキャリアデザイン(1)　キャリアインタビューの計画立案と準備
13. 女性のキャリアデザイン(2)　キャリアインタビューの発表・共有　まとめ

※授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[成績評価方法]
1.主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2.課題(40%)
3.まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:MY LIFE MY CAREER 著者名:神戸女子大学全学共通教育部 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	小路　浩子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1.自己認識を深めることによって、どのような生き方、どのような働き方を目指すのか、そのために何をどのように学ぶべきなのかを考えることができる。
2.女性の特徴を理解することによって、社会に貢献する女性としての生き方を考え、自分のライフプランを考えることができる。
3.看護職として、どのような就業の場や活動の場があるのかを知り、将来の就職活動の基礎知識を得る。
4.多様な女性の生き方や価値観を知り、他者を尊重する意識を養い、幅広い視野で自らの将来像を考えることができる。

[授業概要]
具体的な就職活動を念頭に置き、社会や仕事についての基本的知識を得ることによって、自らの人生設計、仕事観、ワークスタイル、働くことに関する自己意識を深め、各自の将来を考える。看護職の経験を有する教員により看護の多様な働き方について説明し、学外特別講師による自己分析、女性の心身の特徴についての講義の他、様々なワークを用いて、自身の将来像を描いていけるよう段階的に進めていく。授業は、課題への取組、グループディスカッション、演習等を行い、主体的な参加のもとに進める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
経済・政治・社会現象など世の中の流れに関心をもち、新聞記事やニュースに目を通したり、書籍や文献を調べてみてください。そして自分のやりたいことを重視し、かつ健康を考慮して、自分にとって「理想の人生」を具体的に考えていきます。毎回のワークシートや課題は次回の授業までに仕上げておいてください。準備学修の時間は、各回、予習復習をあわせて2時間程度行ってください。

[授業計画]
1. 科目概要説明:【授業ガイダンス・演習】女性の生き方・女性のライフヒストリー・自分自身を振り返る(4月11日 金曜日)4限
2. 自己分析①:エゴグラムSHEを使って、自分の心や行動の特徴を知る(学外特別講師　TA学校教育心の開発研究所　所長　山本昭一先生)担当教員も同席(4月17日 木曜日)3限
3. 自己分析②:エゴグラムSHEを使って、自分の心や行動の特徴を知る(学外特別講師　TA学校教育心の開発研究所　所長　山本昭一先生)担当教員も同席(4月17日 木曜日)4限
4. 女性の心身の特徴を知る:女性の身体のしくみと疾患、妊娠などの実態を知り、女性として大切にすることを考える(学外特別講師　レディースクリニックハヤシ　院長　林知恵子先生)担当教員も同席(4月24日 木曜日)2限
5. 女性の生き方①:【フィールドワーク】身近な女性のライフヒストリーをきいて様々な女性の生き方や価値観を知る(5月9日 金曜日)4限
6. 女性の生き方②:【ディスカッション・演習】身近な女性のライフヒストリーから様々な女性の生き方や価値観を考える(5月16日 金曜日)4限
7. 女性の生き方③:【ディスカッション】身近な女性のライフヒストリーから様々な女性の生き方や価値観を考える(5月16日 金曜日)5限
8. 多様な女性の生き方を知る①:【グループワーク・演習】(5月23日金曜日)4限
9. 多様な女性の生き方を知る②:【グループワーク・演習】(5月23日金曜日)5限
10. 多様な女性の生き方を考える:8，9回目の学びのまとめと振り返り(5月30日 金曜日)4限
11. マイキャリア・マイライフプラン①:【演習】これまでの経験を振り返り、これからの自分を考える(6月6日 金曜日)4限
12. マイキャリア・マイライフプラン②:【演習】これまでの経験を振り返り、これからの自分を考える(6月13日 金曜日)4限
13. マイキャリア・マイライフプラン③:【グループディスカッション】これまでの経験を振り返り、これからの自分を考える(6月20日 金曜日)4限

科目名	基礎Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	小路　浩子		

[成績評価方法]
課題レポート(80%)
＊課題は授業内で提示します
グループディスカッションにおける取り組み(20%)
＊参加態度、演習の成果物、学外特別講師の講義に対する感想・学びの提出状況及び記載内容で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・レポートは、後日添削して返却します。
・グループディスカッションにおける取り組みは、その都度助言します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題レポート・グループディスカッションや演習における取組み、成果物で評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題レポート・グループディスカッションや演習における取組み、成果物で評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題レポート・グループディスカッションや演習における取組み、成果物で評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題レポート・グループディスカッションや演習における取組み、成果物で評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題レポート・グループディスカッションや演習における取組み、成果物で評価。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	田和　真希		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
自身と社会に対する理解を深め、生涯を通じたキャリア形成、ライフプランをより明確にできる
1.就職に関する情報に触れ、自らの適性について述べることができる
2.企業が求める課題に対し、グループで解決策を見いだし発表することができる
3.社会の出来事に対し、多角的に理解し、説明することができる
4.キャリア形成の指針となる、自身のキャリアアンカーに添った職業選択ができる

[授業概要]
就職活動に備えて、職業選択のための情報収集やその整理方法を学ぶと共に、ES作成や面接対策にもつながる、論理的で個性的なアウトプットの方法を身に着けます。キャリアの研究を行い著書のある教員が、キャリア理論に基づいたワークやグループディスカッションの指導を行い、興味関心のある社会問題を通して自己理解を深められるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次の授業のテキストの指定箇所を読み、質問事項を考えておいてください。

[授業計画]
第1回　イントロダクション　ライフプランニングとは？キャリアプランとは？
第2回　自己理解(1)　　社会人基礎力 社会人基礎力診断
第3回　自己理解(2)　　多様化する女性の生き方
第4回　課題解決プログラム(1)
第5回　課題解決プログラム(2)
第6回　課題解決プログラム(3)
第7回　課題解決プログラム(4)
第8回　課題解決プログラム(5)
第9回　就職に向けて(1)
第10回　就職に向けて(2)
第11回　社会理解(1)　　時事問題
第12回　社会理解(2)　　時事問題
第13回　ふりかえりとまとめ

＊＊授業計画の形式・内容・順序は、社会状況・進度状況によって入替・変更することがあります。

科目名	基礎Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	田和　真希		

[成績評価方法]
1. 主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2. 課題(40%)
3. まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上　操		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上　操		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実技、受講態度・課題レポート提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題レポート提出

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上　操		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上　操		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実技、受講態度・課題レポート提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題レポート提出

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	大沼　勇人		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	大沼　勇人		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート等は後日または授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実技・課題レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	小島　理永		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	小島　理永		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート等は後日または授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	西山　清子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	西山　清子		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート等は後日または授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記記載の成績評価方法と同様。
積極的に授業に参加し毎回最大努力して運動量を増やす。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上　操		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上　操		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	金谷　和幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	金谷　和幸		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート等は後日または授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上　操		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上　操		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上　優大		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
To be able to understand short essays written in English

[授業概要]
The aim of this course is to give students primary skills for reading texts written in English.
In addition to acquiring skills for reading English, students are expected to learn how to communicate with people with various cultural backgrounds through reading essays on the author's experiences abroad.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Hitchhiking Around the World
2. Olympic Spirit!
3. The Power of Greetings
4. Where's My Hotel?
5. Our Global Connections
6. Welcome Home!
7. The Secret of Life
8. Is This Seat Taken?
9. Exploring World Religions
10. Let's Study Abroad!
11. What's the Most Difficult Language?
12. A Crowded Planet!
13. Vocabulary Roadblocks

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上　優大		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Assignments: 30%, Final assessment(Test or Essay): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:ことばと文化の冒険旅行 著者名:Kip　A. Cates／著　栗原典子／著 出版社名:金星堂 ISBN:9784764739819

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]
授業最初のプレゼンテーション・授業中のグループワーク等は、英語I-1とは異なる内容です。
1. Introduction
2. classroom activities (Unit 1 p.12-4, p.13の訳読, p.15-5, 6, 7, p.16-6)
3. classroom activities (Unit 1 p.18-1, 2, p.20-3, p.21-4)
4. classroom activities (Unit 2 p.23-2, p.24-5, 6, p.26-3, p.27-7, p.28-6, 7)
5. classroom activities (Unit 2 p.30-2, p.32-1, 2, p.33-3)
6. classroom activities (Unit 3 p.36-5, p.38-2, p.168-1, 2)
7. classroom activities (Unit 3 p.169-3, p.42-2, p.43-8, p.45-6)
8. classroom activities (Unit 4 p.47-2, p.48-4, p.50-2, p.51-4, p.52-3)
9. classroom activities (Unit 4 p.53-7, p.54-3, p.57-2, 4)
10. classroom activities (Unit 5 p.59-2, p.60-6, 7, p.62-2, p.64-4)
11. classroom activities (Unit 5 p.65-5, 7, p.171-2, p.68-1, 2, 5, p.69-6)
12. classroom activities (Unit 6 p.72-6, p.73の訳読, p.74-2, p.76-1)
13. classroom activities (Unit 6 p.172-2, p.78-2, 3, 4)

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:Voices 2 著者名:Chia Suan Chong and Lewis Lansford 出版社名:National Geographic Learning ISBN:978-0357458792

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上　優大		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
To be able to understand short essays written in English

[授業概要]
The aim of this course is to give students primary skills for reading texts written in English.
In addition to acquiring skills for reading English, students are expected to learn how to communicate with people with various cultural backgrounds through reading essays on the author's experiences abroad.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Hitchhiking Around the World
2. Olympic Spirit!
3. The Power of Greetings
4. Where's My Hotel?
5. Our Global Connections
6. Welcome Home!
7. The Secret of Life
8. Is This Seat Taken?
9. Exploring World Religions
10. Let's Study Abroad!
11. What's the Most Difficult Language?
12. A Crowded Planet!
13. Vocabulary Roadblocks

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上　優大		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Assignments: 30%, Final assessment(Test or Essay): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:ことばと文化の冒険旅行 著者名:Kip　A. Cates／著　栗原典子／著 出版社名:金星堂 ISBN:9784764739819

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
①英語で書かれた内容を正しく理解するため、語彙力や文法力を補強することができる。
②英文で展開されているストーリーを正確に読む力を養うため、情報収集能力や論理的能力を鍛えることができる。
③英米文学作品のテーマについて考察を深め、幅広い教養を養うことができる。

[授業概要]
ピーター・ウィアー監督の映画『いまを生きる』(原題 Dead Poets Sociery, 1989)を鑑賞し、作品解釈を試みる。本作は、伝統と規律を重んじる全寮制の名門校ウェルトン学院を舞台にした生徒たちの成長物語である。
本講義では、まず実際の場面で使われている英語表現や言葉のニュアンスを理解するため、英文法の梃入れを行う。そして人間の諸問題についての考察を深め、教養を養う。さらに講義形式と演習形式とを組み合わせて、読解力を鍛える。また、英語が苦手な学生でも物語を追えるよう、難解な表現や文化及び、登場する英文学作品などについては教員が説明する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておくこと。授業後、再度授業内容を復習しておくこと。

[授業計画]
1. イントロダクション(作品の背景、寄宿学校や英文学の授業の説明)
Unit 1: A New Semester (新学期)
2. Unit 1: A New Semester (新学期)
3. Unit 2: Seize the Day ("その日をつかめ")
4. Unit 2: Seize the Day ("その日をつかめ")
5. Unit 3: An Invitation to Poetry (詩へのいざない)
6. Unit 3: An Invitation to Poetry (詩へのいざない)
7. Unit 4: Free Thinkers (自由思想家)
8. Unit 4: Free Thinkers (自由思想家)
9. Unit 5: Dead Poets Society ("死せる詩人の会"復活)
10. Unit 5: Dead Poets Society ("死せる詩人の会"復活)
11. Unit 6: Your Own Voice (自分自身の言葉)
12. Unit 6: Your Own Voice (自分自身の言葉)
13. Unit 7: Poetry Class (試作の授業)
前期のまとめ

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[成績評価方法]
平常の授業への取り組み(30%)、授業中のクイズ(30%)、レポート試験(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
クイズについては全体的に指導、期末レポートについては希望者のみ個別で対応する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:映画総合教材『いまを生きる』 著者名:田中長子／編著　本多浩子／編著　山本厚子／編著　Benedict　Rowlett／編著　中 出版社名:音羽書房鶴見書店 ISBN:9784755303685

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル	Developing balanced English skills	演習	
担当者	井上　優大		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
To be able to get the main points of English short texts or conversations
To be able to express ideas in English using simple vocabulary and grammar

[授業概要]
The class aims to develop students' four skills of English in a balanced manner. Class activities will include watching short videos, reading short articles, writing down your ideas, and presenting them. The chapters are based on topics familiar to the youth, which should help students get interested and engaged in class.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Intruduction
2. Unique Travel Experiences
3. Our Future Under Water?
4. A DIY-Sushi Party with Friends
5. Naughty but Lovely: Australia's Cockatoos
6. How to Become a Good Journalist
7. Cooling is Heating?
8. Universal Credit: Helping or Hurting the Poor?
9. Fashion's Resale Evolution
10. Finding Treasures in the Trash
11. Climate Protectors Going to Prison.
12. The Changing Meaning of "Home"
13. Women Still Dying in Pregnancy

科目名	教養英語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル	Developing balanced English skills	演習	
担当者	井上　優大		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test or Essay): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:【初級編】海外メディア映像から深める4技 著者名: 出版社名:金星堂 ISBN:9784764741744

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]
授業最初のプレゼンテーション・授業中のグループワーク等は、英語I-2とは異なる内容です。
1. classroom activities (Unit 7 p.84-1, 4, p.87-5)
2. classroom activities (Unit 7 p.173-3, p.90-2, p.93-2, 4, 5)
3. classroom activities (Unit 8 p.95-2, p.96-3, 5, p.99-5, 7)
4. classroom activities (Unit 8 p.101-5, p.104-1, 5, 6, 7, 8)
5. classroom activities (Unit 9 p.109訳読, p.175-1, p.112-3)
6. classroom activities (Unit 9 p.113-7, p.114-4, p.117-6)
7. classroom activities (Unit 10 p.119-2, p.120-3, 4, p.124-3)
8. classroom activities (Unit 10 p.125-9, p.126-2, 3, p.128-1)
9. classroom activities (Unit 11 p.132-7, p.135-4, p.136-1, 4)
10. classroom activities (Unit 11 p.137-9, p.139-8, p.140-2, 3)
11. classroom activities (Unit 12 p.143-2, p.144-7, 8, p.177-1, p.148-2)
12. classroom activities (Unit 12 p.149-8, p.150-5, p.153-6)
13. classroom activities (how to write academic writings)

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:Voices 2 著者名:Chia Suan Chong and Lewis Lansford 出版社名:National Geographic Learning ISBN:978-0357458792

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル	Developing balanced English skills	演習	
担当者	井上　優大		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
To be able to get the main points of English short texts or conversations
To be able to express ideas in English using simple vocabulary and grammar

[授業概要]
The class aims to develop students' four skills of English in a balanced manner. Class activities will include watching short videos, reading short articles, writing down your ideas, and presenting them. The chapters are based on topics familiar to the youth, which should help students get interested and engaged in class.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Intruduction
2. Unique Travel Experiences
3. Our Future Under Water?
4. A DIY-Sushi Party with Friends
5. Naughty but Lovely: Australia's Cockatoos
6. How to Become a Good Journalist
7. Cooling is Heating?
8. Universal Credit: Helping or Hurting the Poor?
9. Fashion's Resale Evolution
10. Finding Treasures in the Trash
11. Climate Protectors Going to Prison.
12. The Changing Meaning of "Home"
13. Women Still Dying in Pregnancy

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル	Developing balanced English skills	演習	
担当者	井上　優大		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test or Essay): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:【初級編】海外メディア映像から深める4技 著者名: 出版社名:金星堂 ISBN:9784764741744

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
①英語で書かれた内容を正しく理解するため、語彙力や文法力を補強することができる。
②英文で展開されているストーリーを正確に読む力を養うため、情報収集能力や論理的能力を鍛えることができる。
③英米文学作品のテーマについて考察を深め、幅広い教養を養うことができる。

[授業概要]
ピーター・ウィアー監督の映画『いまを生きる』(原題 Dead Poets Sociery, 1989)を鑑賞し、作品解釈を試みる。本作は、伝統と規律を重んじる全寮制の名門校ウェルトン学院を舞台にした生徒たちの成長物語である。
本講義では、まず実際の場面で使われている英語表現や言葉のニュアンスを理解するため、英文法の梃入れを行う。そして人間の諸問題についての考察を深め、教養を養う。さらに講義形式と演習形式とを組み合わせて、読解力を鍛える。また、英語が苦手な学生でも物語を追えるよう、難解な表現や文化及び、登場する英文学作品などについては教員が説明する。
前期からの続きから始めるが、後期からの履修も歓迎する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておくこと。授業後、再度授業内容を復習しておくこと。

[授業計画]
1. イントロダクション(作品の背景の説明、前期の内容確認)
Unit 7: Poetry Class (試作の授業)
2. Unit 8: Conformity vs. Individuality (順応性と自分らしさ)
3. Unit 8: Conformity vs. Individuality (順応性と自分らしさ)
4. Unit 9: Time for Action (行動の時)
5. Unit 9: Time for Action (行動の時)
6. Unit 10: Father and Son (父と息子)
7. Unit 10: Father and Son (父と息子)
8. Unit 11: A Midsummer Night's Dream ("真夏の夜の夢")
9. Unit 11: A Midsummer Night's Dream ("真夏の夜の夢")
10. Unit 12: The End of the Society ("死せる詩人の会"終結)
11. Unit 12: The End of the Society ("死せる詩人の会"終結)
12. Unit 13: Betrayal (密告)
13. Unit 13: Betrayal (密告)
後期のまとめ

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[成績評価方法]
平常の授業への取り組み(30%)、授業中のクイズ(30%)、レポート試験(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
クイズについては全体的に指導、期末レポートについては希望者のみ個別で対応する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:映画総合教材『いまを生きる』 著者名:田中長子／編著　本多浩子／編著　山本厚子／編著　Benedict　Rowlett／編著　中 出版社名:音羽書房鶴見書店 ISBN:9784755303685

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	荒木　佑真		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
基本的な語彙を使って、4技能の基本的なコミュニケーションが取れるようになることを到達目的とする。

[授業概要]
ネイティブスピーカーの英語に加え、アジア、ヨーロッパなど、ノンネイティブスピーカーのバラエティに富んだ英語を取り入れた教材を使い、各国の文化や様々な英語に触れる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておくこと。授業後、再度授業内容を復習しておくこと。

[授業計画]
1.オリエンテーション、レッスン1
2.ユニット1　College Life　Japan 1
3.ユニット1 College Life　Japan 2
4.ユニット2 Mobile Phones　England　1
5.ユニット2 Mobile Phones　England　2
6.ユニット3 Movies　India
7.ユニット3 Movies　India
8.ユニット3 Movies　India
9.ユニット4 Dating　Mexico
10.ユニット4 Movies　India
11.ユニット5 International Food　Korea
12.ユニット6 World Englishes　Singapore
13.まとめ

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	荒木　佑真		

[成績評価方法]
積極的な参加 30%, 課題 30%, 最終課題（テストあるいはエッセイ）40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業時間中の応答

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:Global Activator 著者名:塩澤正 出版社名:金星堂 ISBN:9784764740037

[参考書（ISBN）]

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル	文学作品の英語の特質	演習	
担当者	水野　尚之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
①クロース・リーディング(close reading)を実践することで、優れた英文をじっくり味わうことができるようになる。
②言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感得し、言語表現に対する感性を鍛錬することができる。
③相手の気持ちや内面を正しく理解できるようになる。
④異文化理解を通じて、人間理解を深めることができる。

[授業概要]
単に表面上の大意を把握するだけでは飽き足らずに、さらに、言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感得するには、文学に親しむことが一番の近道です。しかし、文学というのはどこか近寄りがたいところがあって、文学作品をただ漫然と読むだけでは、どこまで味わうことができているのか、おぼつかないところがあり、いわんや、日本人には外国語である英語で書かれた作品を味読するとなればその困難は言うまでもないでしょう。そんな悩みのある方にお勧めなのが、英文は平易と見えても、その語る内容には、簡単には読み飛ばせない、奥行きを感じさせる古典作品の講読です。ここでは、イギリスの小説家ロアルド・ダールの小説の佳品 “Charlie and the Chocolate Factory”を、こまやかな想いの一つ一つを丹念に拾い上げながら精読し、愛や人というものについて、一緒に考えてみましょう。
毎回、十分な準備と、しっかりした心構えで出席することが必要です。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1 時間程度)。

[授業計画]
1. 導入。ダールの小説の表現上の特質を解説します。作品の映画も鑑賞します。
2. テキストChapters 1-2を精読します。
3. テキストChapters 3-4を精読します。
4. テキストChapters 5-6を精読します。
5. テキストChapters 7-8を精読します。
6. テキストChapters 9-10を精読します。
7. テキストChapters 11-12を精読します。
8. テキストChapters 13-14を精読します。
9. テキストChapters 15-16を精読します。
10. テキストChapters 17-18を精読します。
11. テキストChapters 19-20を精読します。
12. テキストChaptersを 21-22を精読します。
13. テキストについての理解度確認テスト・解説を行ないます。

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル	文学作品の英語の特質	演習	
担当者	水野　尚之		

[成績評価方法]
理解度確認テスト(60%)、授業態度(40%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

[教科書(ISBN)]
書籍名:Charlie and the Chocolate Factory 著者名:Roald Dahl 出版社名:Viking ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
①英語で書かれた内容を正しく理解するため、語彙力や文法力を補強することができる。
②英文で展開されているストーリーを正確に読む力を養うため、情報収集能力や論理的能力を鍛えることができる。
③英米文学作品のテーマについて考察を深め、幅広い教養を養うことができる。

[授業概要]
イギリスの作家ウィリアム・シェイクスピアの戯曲『ハムレット』(Hamlet)を編集したテキストを読み、適宜DVDで映像作品を確認しながら、作品解釈を試みる。
『ハムレット』は、父を亡くしたハムレットによる復讐の物語で、読者に様々な解釈を求めてやまない魅力的な作品である。
本講義では、まず実際の場面で使われている英語表現や言葉のニュアンスを理解するため、英文法の梃入れを行う。そして人間の諸問題についての考察を深め、教養を養う。さらに講義形式と演習形式とを組み合わせて、読解力を鍛える。また、英語が苦手な学生でも物語を追えるよう、削除された展開や難解な表現、文化及び社会背景などについては教員が説明する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておくこと。授業後、再度授業内容を復習しておくこと。

[授業計画]
1. イントロダクション(作者と作品の説明)
2. Chapter 1
3. Chapter 2
4. Chapter 3
5. Chapter 4
6. アダプテーション鑑賞 (映画『ハムレット』)
7. Chapter 5
8.Chapter 6
9. Chapter 7
10. Chapter 8
11. 予備日
12. アダプテーション鑑賞(映画『ハムレット』)
13. 後期のまとめ

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[成績評価方法]
平常の授業への取り組み(30%)、授業中のクイズ(30%)、レポート試験(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
クイズについては全体的に指導、期末レポートについては希望者のみ個別で対応する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:シンプリー・シェイクスピア 著者名:Jim　Knudse 出版社名:南雲堂 ISBN:9784523176695

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅱ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	荒木　佑真		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
基本的な語彙を使って、4技能の基本的なコミュニケーションが取れるようになることを到達目的とする。

[授業概要]
ネイティブスピーカーの英語に加え、アジア、ヨーロッパなど、ノンネイティブスピーカーのバラエティに富んだ英語を取り入れた教材を使い、各国の文化や様々な英語に触れる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておくこと。授業後、再度授業内容を復習しておくこと。

[授業計画]
1.オリエンテーション、ユニット7　Weekends / Vacations　Hong Kong
2.ユニット8　Music / Songs　USA 1—Africa-American English— 1
3.ユニット8　Music / Songs　USA 1—Africa-American English— 2
4.ユニット9　Sports　Australia 1
5.ユニット9　Sports　Australia 2
6.ユニット10 Shopping　China 1
7.ユニット10 Shopping　China 2
8.ユニット11 Traveling / Studying Overseas　USA 2—Midwestern English—1
9.ユニット11 Traveling / Studying Overseas　USA 2—Midwestern English—2
10.ユニット12 Festivals / Parties　Germany
11.ユニット13 Part-time / Future Jobs　Brazil
12.ユニット14 Experiences　The Philippines
13.まとめ

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	荒木　佑真		

[成績評価方法]
積極的な参加 30%, 課題 30%, 最終課題(テストあるいはエッセイ) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業時間中の応答

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Global Activator 著者名:塩澤正 出版社名:金星堂 ISBN:9784764740037

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅱ －2	後期	1 単位
サブタイトル	文学的表現の味読	演習	
担当者	水野　尚之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
①クロース・リーディング(close reading)を実践することで、優れた英文をじっくり味わうことができるようになる。
②言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感得し、言語表現に対する感性を鍛錬することができる。
③相手の気持ちや内面を正しく理解できるようになる。
④異文化理解を通じて、人間理解を深めることができる。

[授業概要]
単に表面上の大意を把握するだけでは飽き足らずに、さらに、言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感得するには、優れた英文の実例、例えば、文学作品に親しむことが一番の近道です。しかし、文学などというものはどこか近寄りがたいところがあって、ただ漫然と読むだけでは、どこまで味わうことができているのか、おぼつかないところがあり、いわんや、日本人には外国語である英語で書かれた作品を味読するとなればその困難は言うまでもないでしょう。そんな悩みのある方にお勧めなのが、英文は平易と見えても、その語る内容には、簡単には読み飛ばせない、奥行きを感じさせる古典作品や名演説文等の味読です。ここでは、アメリカの小説家F. Scott Fitzgeraldの名作The Great Gatsbyを、こまやかな想いの一つ一つを丹念に拾い上げながら精読し、愛や、人というものについて、一緒に考えてみましょう。
毎回、十分な準備と、しっかりした心構えで出席することが必要です。がんばりましょう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1 時間程度)。

[授業計画]
1. 導入。作者Fitzgeraldの解説、および小説The Great Gatsbyの表現上の特質を解説します。作品の映画も鑑賞します。
2. Chapter 1を精読します。
3. Chapter 1の続きを精読します。
4. Chapter 2を精読します。
5. Chapter 2の続きを精読します。
6. Chapter 3を精読します。
7. Chapter 4を精読します。
8. Chapter 5を精読します。
9. Chapter 6を精読します。
10. Chapter 7を精読します。
11. Chapter 8を精読します。
12. Chapter 9を精読します。
13. テキストについての理解度確認テスト・解説を行ないます。

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル	文学的表現の味読	演習	
担当者	水野　尚之		

[成績評価方法]
理解度確認テスト(60%)、授業態度(40%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回、授業中に、作品の読解についての質疑応答を行ないます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:理解度確認テスト(60%)、小テスト(20%)、授業態度(20%)で評価します。

[教科書(ISBN)]
書籍名:The Great Gatsby 著者名:F. Scott Fitzgerald 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
①英語で書かれた内容を正しく理解するため、語彙力や文法力を補強することができる。
②英文で展開されているストーリーを正確に読む力を養うため、情報収集能力や論理的能力を鍛えることができる。
③英米文学作品のテーマについて考察を深め、幅広い教養を養うことができる。

[授業概要]
イギリスの作家ウィリアム・シェイクスピアの戯曲『ロミオとジュリエット』(Romeo and Juliet)を編集したテキストを読み、適宜DVDで映像作品を確認しながら、作品解釈を試みる。
本作は、恋に落ちたロミオとジュリエットが、誤解や運命のいたずらによって悲劇的運命を迎える恋物語で、世界各国、時代を問わず、人々の心に深い感動を呼び起こしてきた。
本講義では、まず実際の場面で使われている英語表現や言葉のニュアンスを理解するため、英文法の梃入れを行う。そして人間の諸問題についての考察を深め、教養を養う。さらに講義形式と演習形式とを組み合わせて、読解力を鍛える。また、英語が苦手な学生でも物語を追えるよう、削除された展開や難解な表現、文化及び社会背景などについては教員が説明する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておくこと。授業後、再度授業内容を復習しておくこと。

[授業計画]
1. イントロダクション(作者と作品の説明)
2. Chapter 1
3. Chapter 2
4. Chapter 3
5. Chapter 4
6. アダプテーション鑑賞 (映画『ロミオとジュリエット』)
7. Chapter 5
8.Chapter 6
9. Chapter 7
10. Chapter 8
11. 予備日
12. アダプテーション鑑賞(映画『ロミオとジュリエット』)
13. 後期のまとめ

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊　理恵子		

[成績評価方法]
平常の授業への取り組み(30%)、授業中のクイズ(30%)、レポート試験(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
クイズについては全体的に指導、期末レポートについては希望者のみ個別で対応する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:シンプリー・シェイクスピア 著者名:Jim　Knudse 出版社名:南雲堂 ISBN:9784523176695

[参考書(ISBN)]

科目名	教養演習Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル	地域子育て支援	演習	
担当者	曽田　里美、下司　実奈		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
子育て支援活動に参加して子どもやその保護者の話を聴くこと、活動内容や自分の思いを適切に伝えることができるようになる。

[授業概要]
この授業は、大学において毎月実施している子育て支援活動に参加してもらいます。活動では、教員の指導のもと日常生活ではなかなか体験できないような親子遊びを考えて提供していきます。活動を通して親子と一緒に楽しみながら、子育て支援を展開していくうえでの配慮や工夫、子どもや保護者に対する適切な関わりについて体得していくことを目指します。
担当教員は児童福祉施設での実践経験を活かして、子どもや保護者との関わり方を指導します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の講義について予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)
日頃より子どもや子育てに関する問題、子どもの興味や遊びに関心をもつとともに、活動の準備として自分が担当する役割についてシュミレーションしておいてください。

[授業計画]
1. オリエンテーション・子育て支援とは　(下司・曽田)
2. 10月の子育て支援活動の準備　(下司・曽田)
3. 10月の子育て支援活動Ⅰ　(下司・曽田)
4. 10月の子育て支援活動Ⅱ　(下司・曽田)
5. 11月の子育て支援活動の準備　(下司・曽田)
6. 11月の子育て支援活動Ⅰ　(下司・曽田)
7. 11月の子育て支援活動Ⅱ　(下司・曽田)
8. 12月の子育て支援活動Ⅰ　(下司・曽田)
9. 12月の子育て支援活動Ⅱ　(下司・曽田)
10. 1月の子育て支援活動Ⅰ　(下司・曽田)
11. 1月の子育て支援活動Ⅱ(下司・曽田)
12. 2月の子育て支援活動Ⅰ　(下司・曽田)
13. 2月の子育て支援活動Ⅱ　(下司・曽田)

※受講人数を10人に制限します。
第1回のオリエンテーション時に授業概要・趣旨を説明したうえで、受講希望を確認します。
受講希望者が10人を超えた場合は、抽選により選考します。

※子育て支援活動は、月1回土曜日(午前)に2コマ行います。
日程についてはオリエンテーション時に発表します。

科目名	教養演習 I	後期	2 単位
サブタイトル	地域子育て支援	演習	
担当者	曽田　里美、下司　実奈		

[成績評価方法]
授業（活動）参加態度（60%）、振り返りレポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートはmanabaに提出し、後日コメントを送ります。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：活動参加状況、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：活動参加状況、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：活動参加状況、レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教養演習Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	地域子育て支援	演習	
担当者	曽田　里美、下司　実奈		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
地域における子育て支援の必要性を理解するとともに、活動への参加を通して子どもや保護者に適切に関われるようになる。

[授業概要]
この授業は、大学において毎月実施している子育て支援活動に参加してもらいます。活動では、大学という環境の中でこそ展開できるプログラムを学生自身が考案し、準備します。活動の前には、どのような遊びをどのように展開するのかという企画、活動に向けての準備(練習)、活動の後にはその振り返りを行います。これらのプロセスを通して、参加する親子と一緒に楽しみながら、子どもの発達にあわせた働きかけ、言葉かけを工夫し、子どもやその保護者と適切に関わる実践力を体得していくことを目指します。
担当教員は児童福祉施設での実践経験を活かして、子どもや保護者との関わり方を指導します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の講義について予習・復習を行うこと(各回、予習・復習を合わせて1時間程度)。
日頃より子どもや子育てに関する問題、子どもの興味や遊びに関心をもつとともに、活動の準備として自分が担当する役割のシュミレーションをしておいてください。

[授業計画]
1. オリエンテーション・4回のプログラムの企画 (下司・曽田)
2. 5月の子育て支援活動の準備 (下司・曽田)
3. 5月の子育て支援活動Ⅰ (下司・曽田)
4. 5月の子育て支援活動Ⅱ (下司・曽田)
5. 6月の子育て支援活動の準備 (下司・曽田)
6. 6月の子育て支援活動Ⅰ (下司・曽田)
7. 6月の子育て支援活動Ⅱ (下司・曽田)
8. 7月前半の子育て支援活動の準備 (下司・曽田)
9. 7月の前半の子育て支援活動Ⅰ (下司・曽田)
10. 7月前半の子育て支援活動Ⅱ (下司・曽田)
11. 7月後半の子育て支援活動の準備 (下司・曽田)
12. 7月後半の子育て支援活動Ⅰ (下司・曽田)
13. 7月後半の子育て支援活動Ⅱ (下司・曽田)

※受講人数を10人に制限します。
第1回のオリエンテーション時に授業概要・趣旨を説明したうえで、受講希望を確認します。受講希望者が10人を超えた場合は、抽選により選考します。

※子育て支援活動①～④は、月1回土曜日(午前中)2コマ行います。
日程についてはオリエンテーション時に発表します。

科目名	教養演習Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	地域子育て支援	演習	
担当者	曽田　里美、下司　実奈		

[成績評価方法]
授業（活動）参加態度（60%）、活動の振り返りレポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートはmanabaに提出し、後日コメントを送ります。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：活動参加状況、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：活動参加状況、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：活動参加状況、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：活動参加状況、レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教養演習Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	ITビジネス～女性×神戸×心理を軸に～	演習	
担当者	浅木森　和夫、吉川　祐介		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
ITビジネスの基礎知識の認識と課題解決力の養成し、最終課題としての社会で通用するビジネスモデルの提案ができる。

[授業概要]
ITは、社会課題を解決してウェルビーイングを実現する、今もっとも必要なツールの1つと言っても過言ではありません。本授業では、神戸を中心に活躍するITビジネスの実業家から与えられた課題を、グループで解決提案をするかたちで学びを進めます。
IT業界は、社会での存在感と価値は今後さらに高まることは明白です。若年者はITへの適応力が高いということもあり、今後のキャリアとしてIT業界で活躍する方も多いでしょうし、どの業界であってもITビジネスを活かすことが強く求められます。
重要なことはITは技術だけがあればよいのではなく、人が幸せを感じることはなにかという人の心理に基づいて、そしてビジネスとして成立させる視点も不可欠です。それらをふまえて学外特別講師から講義頂きます。最終課題として、グループで実現可能なITビジネスを1つ提案してもらいます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各講師から出されるITビジネスに関する課題に対してグループで解決策を提示します。与えられた課題の解決策を提案できるよう準備をしてください。準備学習の時間:各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 授業計画、ITビジネスとは、課題①検討（浅木森・吉川）
2. 課題①講義、再検討（浅木森・吉川）
3. 課題①の総評、課題②検討（浅木森・吉川）
4. 課題②講義、グループワーク再検討(外部講師)（浅木森・吉川）
5. 課題②の解決策発表、課題③グループワーク検討（浅木森・吉川）□
6. 課題③講義、グループワーク再検討(学外特別講師)（浅木森・吉川）
7. 課題③の解決策発表、課題④検討（浅木森・吉川）
8. 課題④講義、再検討(学外特別講師)（浅木森・吉川）
9. 課題④の解決策発表、課題⑤グループワーク検討（浅木森・吉川）
10.課題⑤講義、グループワーク再検討(学外特別講師)（浅木森・吉川）
11.課題⑤の解決策発表、最終課題検討のグループワーク（浅木森・吉川）
12.最終課題の中間発表と検討(学外特別講師)（浅木森・吉川）
13.最終課題の発表と振り返り（浅木森・吉川）
※2023年度開講時から2025年度までての開講です。

科目名	教養演習Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	ITビジネス～女性×神戸×心理を軸に～	演習	
担当者	浅木森　和夫、吉川　祐介		

[成績評価方法]
個人の取り組み60%(毎回の課題)、グループの取り組み40%(プロセス評価20%成果物評価20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の発表時に随時フィードバックを行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教養総合 I	前期	2 単位
サブタイトル	心理・社会的介入	講義	
担当者	津田　理恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
心理・社会的介入方法について理解できる
回想法が理解できる
音楽療法が理解できる
動物介在療法が理解できる
園芸療法が理解できる

[授業概要]
臨床福祉学を学んだ教員が、心理・社会的介入方法として回想法、音楽療法、動物介在療法など、その技法や効果とともに介入方法をグループワークを取り入れながら指導する。学外特別講師として、施設や病院で音楽療法を実践しているNPO法人のメンバーを招致し、受講後に任意で音楽療法のボランティアに指定された回数参加することでNPO法人から修了証が発行される。さらに、昭和の懐かしい映像を視聴し、高齢者の生活背景を学ぶ。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
心理・社会的介入方法に興味が持てるように、授業の予習と復習を各回4時間程度行う

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.心理・社会的介入技法
3. 回想法とは
4. 回想法の技法
5、回想法の効果
6. 回想法の実際
5. 園芸療法
7. アニマルセラピー
8. ドッグセラピー
9. 音楽療法の技法と実際 （学外特別講師）
10. 昭和時代の理解
11. 学習療法
12. その他の技法
13. 振り返り

科目名	教養総合 I	前期	2 単位
サブタイトル	心理・社会的介入	講義	
担当者	津田　理恵子		

[成績評価方法]
毎回、授業中にアンケートを実施　回答内容(50%)
レポート課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中のアンケートを振り返り、適宜コメントをします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業後のアンケート
レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業後のアンケート
レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業後のアンケート
レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教養総合 I	前期	2 単位
サブタイトル	アカデミックスキルと日本語演習	講義	
担当者	水川　布美子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
大学生に必要不可欠な学習スキルを身につけ、日本語力(理解力、論理的思考力、正確で豊かな表現力)の向上を図り、レポートやプレゼンテーションに活かせるようにする。

[授業概要]
同じような内容、同程度の分量のレポートなのに、Aさんは「優」判定、Bさんは「良」判定。一体何が違うのか。
伝わる文章とは、どのようなものか。説得力のあるレポートは、どのような構成なのか。聞き手の印象に残るプレゼンテーションにするには、どのような工夫が必要か。調べていて、あるいは書いていて楽しく、かつ、学術的な論文のテーマとはどのようなものか。
これらのことを、①聞く・読む技術、②調べる・整理する技術、③まとめる・書く技術、④表現する・伝える技術に分け、講義や課題の作成・提出、発表などを通して学習する。
①では、大学の授業だけではなく、社会人となってからも活用できる、ノートテイキングや要約の方法を学ぶ。②では、図書館に行ったり、インターネットを使ったりして、情報収集の方法を学ぶ。③では、アカデミック・ライティングとしてのレポートや論文の作成方法、パソコンを使った書き方を学ぶ。④では、プレゼンテーションの準備をして、実際に発表する。
授業は教科書を使用して進める。課題や発表を通して、大学生に必要な学習の方法を身に付けることを目指す。上級生に関しては、卒業論文を見据えたレポート執筆を指導する。また、会話・手紙・メールなど、コミュニケーションを高める日本語能力を養うための課題プリントを毎回配布し、添削の上返却する。(提出は自由)
なお受講生が多数の場合、発表はグループ発表となる場合がある。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
学んだ内容を他の授業や日常生活で実際に活かして下さい。返却したワークシートを読み返し、次回の準備をして下さい。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. ガイダンス・アカデミックスキルズ、レポートについて
2. ノートの取り方・テーマの選び方
3. 情報収集(図書館情報検索ツアー)・構想マップと思考マップ
4. 本の読み方・クリティカルリーディングと情報整理
5. アウトライン作成
6. 構成の再検討と追加調査
7. パラグラフを書く
8. 本文とデータの活用法
9. 引用の方法、発表の準備
10. 文章・表現・形式のチェック、発表①
11. 発表②
12. 発表③、レポート最終チェック
13. まとめ

科目名	教養総合 I	前期	2 単位
サブタイトル	アカデミックスキルと日本語演習	講義	
担当者	水川　布美子		

[成績評価方法]
課題提出を含む受講態度（30%）、発表（30%）、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の課題、及び最終レポートは、添削あるいはコメントを付して次週に返却(またはmanabaにコメント)します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出物、最終レポート、プレゼンテーションで評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出物、最終レポート、プレゼンテーションで評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出物、最終レポート、プレゼンテーションで評価。

[教科書(ISBN)]
書籍名:【第2版】ピアで学ぶ大学生の日本語表現　プロセス重視のレポート作成 著者名:大島弥生／著　池田玲子／著　大場理恵子／著　加納なおみ／著　高橋淑郎／著　岩田夏穂／著 出版社名:ひつじ書房 ISBN:9784894767096

[参考書(ISBN)]

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	近世以前の日本人の他界観・死生観　日本の古典芸能（能楽・人形浄瑠璃文楽・歌舞伎）	講義	
担当者	大山　範子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	希望者を対象に、舞台鑑賞の案内をする予定（授業外）	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
日本の古代から近代に至る日本人の他界観・死生観について理解し、自分なりに「死」と「生」について考える。
日本の代表的な古典芸能（能楽・人形浄瑠璃文楽・歌舞伎）についての知識を得る。

[授業概要]
戦で人を殺した武士の死後の苦しみ、恋慕ゆえに成仏できない女性、追い詰められて心中を選んだ男女…日本の古典芸能の中には死を扱った作品が少なくない。日本の古典芸能について学び、作品を通して中世や近世の人達がどのように死をとらえていたかをみよう。
この講義では、まず古代から中世までの日本人の他界観（死の世界に対する見方）を概観する。それをふまえて、三大古典芸能（中世の能、近世の人形浄瑠璃・歌舞伎）の作品をいくつか鑑賞し、日本人の死生観について考える。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
事前に講義内容を予告し、資料を配付するので、必ず目を通してくること。

[授業計画]
01. はじめに　―日本人の「他界」について―
02. 記紀神話・『万葉集』・『日本霊異記』にみる他界
03. 『往生要集』の極楽と地獄
04. 能楽について
05. 能「善知鳥」「歌占」　―地獄の描写―
06. 能「頼政」―死者の語り―
07. 能「松風」―恋慕執心―
08. 人形浄瑠璃文楽について
09. 歌舞伎について
10. 「菅原伝授手習鑑」
11. 「曽根崎心中」
12. 「新版歌祭文」
13. 「東海道四谷怪談」

※「授業計画」に掲げた作品は、受講生の人数や関心によっては変更する場合があります。

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	近世以前の日本人の他界観・死生観　日本の古典芸能（能楽・人形浄瑠璃文楽・歌舞伎）	講義	
担当者	大山　範子		

[成績評価方法]
期末レポート（60%）および講義時の小課題（不定期）（40%）によって評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小課題については次回講義時にコメントをする。期末レポートは提出・講評ともKISSを利用。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：講義時の小課題および期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：講義時の小課題および期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：講義時の小課題および期末レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	新聞で学ぶ「実用日本語」と情報リテラシー　～社会人基礎力を身につける	講義	
担当者	外園　周二		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 新聞を通して社会問題に関心を持ち、情報リテラシーを高める
2. 「自分の意見」「多様な視点」を持ち、伝える力を身につける
3. 社会人として求められる「書く力」を習得する

[授業概要]
新聞記者経験者（講師）が、社会問題やコミュニケーションをテーマに講義をする。実用日本語の「お手本」である新聞を題材にするので、毎回、当日の朝刊を提供する。学生はそれぞれの意見を論作文などで提出。講師が添削し講評する。ESや「実用文」の書き方についても学び、「自分の意見」を養い、分かりやすく伝える訓練をする。

新聞は社会の縮図であり、情報を効率的に得るためのツールです。新聞を通して、日本や世界で起きている問題を考えます。視野を広げて、社会で活躍する人になってほしいと願っています。
（最新のニュースを扱うので、授業計画を変更することがあります）

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
講義の際に指示する。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
第1回:「情報とは」 授業の進め方
第2回:「具体的に伝える」 新聞の読み方
第3回:「視点を変える」 未来に向けて
第4回:文章講座①「具体的」
第5回:コミュニケーションと就活
第6回:文章講座②「情報を絞る」
第7回:震災報道から考える
第8回:文章講座③「短文を連ねる」
第9回:文章講座④「カギカッコの活用」
第10回:国内問題（政治）を考える
第11回:国際問題（戦争）を考える
第12回:インタビューの手法
第13回:講義まとめ

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	新聞で学ぶ「実用日本語」と情報リテラシー　～社会人基礎力を身につける	講義	
担当者	外園　周二		

[成績評価方法]
論作文・レポートなど70点　授業への参加度など30点

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
論作文・レポートは添削して各自に返却し、全体での講評もする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	映像で学ぶ高齢者福祉	講義	
担当者	清水　弥生		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
高齢者福祉に関する新聞記事や映像などを通して、社会福祉の歴史や問題の背景に関する基本的な知識を得ることができる。またそのトピックに関するディスカッションをすることにより，問題とその原因、社会的な背景を結びつける視点を養うことを目的とする。

[授業概要]
高齢者，認知症当事者や社会福祉全般に関する映像と高齢者福祉に関する授業とを関連させながら学ぶ。全学科の学生を対象とするが、特に社会福祉学科の学生は2年生前期「高齢者福祉」が歴史や制度中心であるので、高齢者に関する基本的な理解および、具体的なイメージを持つことができるようになることを目指す。後半は司法福祉や欧米の福祉の実態、ジェンダー問題等について同様に映像と授業を関連させながら学ぶ。
そのトピックに関して参加者全員でグループディスカッションをすることにより、その問題の複眼的な理解、かつ社会福祉的な立場からの見方を理解する。また、小レポートを書き，教員が添削することにより、レポート執筆の基本的技術の上達を目指す。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
新聞を毎日読む，ニュースを見る等、社会問題を理解するための基本的な知識を身につける。授業後，関連する新聞記事を集めたり，他の授業との関連性を整理する。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.認知症についての基本的知識
3.認知症当事者の視点から学ぶ認知症ケア
4.認知症高齢者を介護する家族の負担とケア
5.介護保険サービスの基本的知識
6.小規模多機能型居宅介護の支援
7.高齢者福祉施設に関する映像から学ぶ
8.地域で暮らす高齢者の支援
9.グループディスカッション
10.社会福祉に関する記事や映像の読み解き(司法福祉)
11.社会福祉に関する記事や映像の読み解き(欧米の社会福祉)
12.社会福祉に関する記事や映像の読み解き(ジェンダーと私たちの社会)
13.まとめ

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	映像で学ぶ高齢者福祉	講義	
担当者	清水　弥生		

[成績評価方法]
発表やグループディスカッションへの参加態度（50%）、小レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小レポートは添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・グループディスカッションへの参加態度、小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・グループディスカッションへの参加態度、小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・グループディスカッションへの参加態度、小レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	芸術Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	美の探求	講義	
担当者	松本　尚		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
芸術や身近なものたちの美に対する理解を深め、また再認識をし、生活の中での、それらの存在に関心を持つようになる。

[授業概要]
過去から現在に至る芸術全般の流れを追いながら、美とは何か、どのように表現されてきたのかを学び、実際に表現、形にしていくことを学びます。
芸術を通して日常生活に対する柔軟な視点を持ち、視野を広げ、自身のこれからの生活をより豊かにする、仕事に活かせる思考を身につけます。できるだけ多くの作品、教材を使用します。
視覚的な学びを言葉で語る力、手を動かすことでの経験、発想の広がりを実践的に身に付けていきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業の終わりに、次回のテーマを告知します。そのことについて各自が予備知識を持つように文献等を調べ、より一層関心を持ち、理解を深めるために授業内で挙げる参考文献等を読んでおいてください。

[授業計画]
1.美とは何か、芸術とは何か
2.ファッションの視点から1ーファッションの歴史、過去から現代まで
3.ファッションの視点から2ー世界のファッションデザイナー
4.写真の視点から1ー写真の歴史と作品
5.写真の視点から2ー写真作品を考える
6.デザインの視点から1ー世界のデザイン、デザインとは何か
7.デザインの視点から2ー色と構成
8.絵画の視点から1ー東洋の美、西洋の美
9.絵画の視点から2ー一枚の絵を探求する
10.現代アートの視点から1ー現代美術とは何か
11.現代アートの視点から2ー芸術作品の鑑賞
12. 再び美とは何か、芸術とは何か
13. まとめ、芸術とは何か、美とは何かを各自テーマ設定を行い、レポートとしてまとめる

科目名	芸術 I	前期	2 単位
サブタイトル	美の探求	講義	
担当者	松本　尚		

[成績評価方法]
理解度確認の中間課題(80%)、最終課題(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題提出後の授業の中で、講評を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認の中間課題(80%)、最終課題(20%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	芸術Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	世界の音楽	講義	
担当者	服部　智行		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
受講生がポピュラー音楽史に関する基本的な知識を身につけ、それに基づいて自らテーマを決めて調べ、レポートとしてまとめる能力を養うことを目標とする授業です。

[授業概要]
講義を中心に授業を進めます。本年度は明治以降、現在に至るまでの日本の流行歌・ヒット曲の歴史を概観します。具体的には、学校教育に西洋の「ドレミ・・・」の音階が導入された明治を出発点に、日本のポピュラー音楽のスタイルや音楽業界の形態が大きく変化した昭和に重点を置き、平成・令和は新たなテクノロジーとの関係を中心に講義する予定です。こうした歴史の概観を通して、皆さんが普段お聴きになっているJ-POPの曲の背景や歴史的文脈などに目を向けていただきたいと思います。なお、ポピュラー音楽の研究においては実際の楽曲や映像作品にまさる資料はないので、この授業でもできるだけたくさんの音資料、映像資料等を視聴します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業内容と関連する音楽作品、映像作品等を可能な限り視聴し、関連文献に目を通して下さい。レポートのテーマ発表後は、その提出に向けてしっかり準備して下さい。 各回、予習復習合わせて4時間程度を望みます。

[授業計画]
1.唱歌教育と路上の演歌師たちの時代
2.ジャズ小唄と和製ブルースの時代
3.ブギウギとラジオドラマ主題歌の時代
4.洋楽カバー時代の始まり
5.ロカビリーとムード歌謡の時代
6.ポップス黎明期
7.エレキ歌謡からグループ・サウンズへ
8.フォークからニューミュージックへ
9.変容する歌謡曲
10.テクノポップとシティ・ポップの時代
11.アイドル・グループ時代の始まりとバンド・ブーム
12.J-POPの時代へ
13. インターネットの時代

科目名	芸術Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	世界の音楽	講義	
担当者	服部　智行		

[成績評価方法]
レポート(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートの出題意図、書き方、採点のポイント等に関しては授業中に詳しく説明し、執筆段階での質問、相談等も受け付けます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	現代社会Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル	法と社会生活	講義	
担当者	青木　良和		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
日常生活と密接に関係する分野の法律知識を習得し、法的な視点から社会問題等について自分なりの意見をもって論じられるようになる。

[授業概要]
弁護士である教員が、一般民事事件や家事事件、刑事事件等についての自身の業務上の経験を活かし、皆さんの日常生活に密接に関係する分野の法的知識について指導するとともに、法的知識をベースとした社会問題についての視点を提供します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
インターネットなどを活用し、話題となっている法律問題(紛争や事件など)につき、リアルな情報を把握したうえで授業に参加してください。毎授業ごとに、次回授業で扱う主なテーマを示すので、授業準備と復習に4時間程度の時間をかけてください。

[授業計画]
1. はじめに
2. 日常生活や社会問題と法(契約についての基礎知識)
3. 日常生活や社会問題と法(労働法)
4. 日常生活や社会問題と法(賃貸借契約等)
5. 日常生活や社会問題と法(消費者法　マルチ商法や高額契約等)
6. 日常生活や社会問題と法(環境法　気候変動問題等)
7. 日常生活や社会問題と法(刑法と刑事訴訟法)
8. 日常生活や社会問題と法(損害賠償請求　交通事故)
9. 日常生活や社会問題と法(家族法　結婚と離婚についての基礎知識)
10. 日常生活や社会問題と法(家族法　選択的夫婦別姓や同性婚等)
11. 日常生活や社会問題と法(相続に関する基礎知識)
12. 権利の主体と社会保障(憲法)
13. まとめ(具体例を用いた知識の確認)

科目名	現代社会Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル	法と社会生活	講義	
担当者	青木　良和		

[成績評価方法]
レポート(100%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートは後日添削の上返却します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	現代社会Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	現代社会と経済	講義	
担当者	小沢　康英		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
経済の基礎知識を習得しながら、現実の諸問題について経済面からの理解を深めることができる。

[授業概要]
銀行の在職経験を有した教員より、現代日本が抱える経済的諸問題について、理解を深める。戦後の日本経済は大きな発展を遂げた。戦後数十年の経済発展の間に確立した組織や雇用など企業運営の枠組みは、近年の経済の低成長のなかで変化が顕著となってきている。社会の枠組みの変化やそこから生じる課題などについて考える。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。

[授業計画]
1. 少子高齢化社会と生活経済 その1(財政)
2. 少子高齢化社会と生活経済 その2(年金)
3. 財政と税制度
4. 社会経済を構成する主な要素
5. 企業経営の目的
6. 企業活動と社会的責任
7. 企業形態と組織
8. 製品開発と生産管理
9. 地域の活性化と販売戦略
10. 人材の確保と育成
11. 産業社会構造の変化＜外部講師＞
12. サスティナブルな生活と経済
13. 現代の経済構造の変化

科目名	現代社会Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	現代社会と経済	講義	
担当者	小沢　康英		

[成績評価方法]
授業における自立心・対話力（30%）、レポート（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート課題に関する解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題、レポート課題、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題、レポート課題、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題、レポート課題、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中の課題、レポート課題、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の課題、レポート課題、テスト

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	現代社会Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	現代社会論	講義	
担当者	室屋　安孝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
現代社会の抱える諸問題について知識を深め、自らの考えを説明することができる。

[授業概要]
本講義では、現代社会に生きる私たちの行動や価値観のさまざまな側面を、ジェンダーの視点によって考察します。授業は主に講義とアクティブラーニングの2部構成です。講義では、ジェンダー、アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)などのジェンダー論にかかわる用語や基礎知識を学び、アクティブラーニングでは、それぞれのテーマに関わる資料分析やグループワークを通じて問題を発見し、自らの考えを深めていきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての課題レポートのため2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. セックスとジェンダー
3. 子どものジェンダー化
4. 物語におけるジェンダー
5. エイジングとジェンダー
6. 母娘関係にみるジェンダー
7. 映画と解説
8. 精神疾患とジェンダーバイアス
9. 親密な関係における暴力
10.ロールモデルに学ぶキャリア
11. 家事とジェンダーロール
13.プレゼンテーションとレビュー

科目名	現代社会Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	現代社会論	講義	
担当者	室屋　安孝		

[成績評価方法]
課題（30%）、レポート（50%）、発表（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法に基づく

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法に基づく

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法に基づく

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法に基づく

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法に基づく

[教科書（ISBN）]
書籍名:アクティブラーニングで学ぶジェンダー:現代を生きるための12の実践 著者名:青野篤子 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	現代社会Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	現代社会と政治	講義	
担当者	豊福　一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
戦後の政治史を順に概観する中で、政党の役割、政治力学、諸制度を学び、さらにそれを基に現在存在する政治制度を理解する。

[授業概要]
政治に関する歴史、制度、政治と関連する現代社会の諸制度について、わかりやすく解説する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業中指示する事項について、復習と予習を行うこと(概ね30分程度)。日頃から、授業内容に関連するニュース等に注意しておくこと。

[授業計画]
1. 戦後の政治史(1)
2. 戦後の政治史(2)
3. 戦後の政治史(3)
4. 戦後の政治史(4)
5. 戦後の政治史(5)
6. 戦後の政治史(6)
7. 戦後の政治史(7)
8. 戦後の政治史(8)
9. 戦後の政治史(9)
10. 戦後の政治史(10)
11. 日米安全保障条約(1)
12. 日米安全保障条約(2)
13. 講義内容の総括

科目名	現代社会Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	現代社会と政治	講義	
担当者	豊福　一		

[成績評価方法]
試験（100%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験終了後に解説する予定です。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験（100%）。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：試験（100%）。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験（100%）。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験（100%）。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験（100%）。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	現代社会Ⅴ	前期	2 単位
サブタイトル	社会福祉入門	講義	
担当者	名定　慎也、清水　弥生、植戸　貴子、曽田　里美、津田　理恵子、下司　実奈、川端　麗子、渡辺　晴子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業では私達の生活や暮らし、社会がかかえるさまざまな福祉的課題を知るきっかけを提供する。学生はそれらを自分のこととして考え、どのような支援が求められているのか、考察できる思考力と問題意識を養うことを期待している。社会福祉を学ぶ第一歩となることが本講義の到達目標である。

[授業概要]
本講義は社会福祉学科の教員がそれぞれの専門領域 —— 例えば、高齢者福祉・介護、障がい児者福祉、児童福祉、精神保健福祉、地域福祉・まちづくり等 —— から社会福祉の実態を論じ、全体を通じて多方向から社会福祉を中心にした現代社会の実像を教授することを主たる目的としている。その目的を達成するため、授業は学科の多くの教員と学外講師も招聘しオムニバス形式で進める。当然、講義のテーマは毎回異なる。テキストは使用せず、各講師がその都度、テーマに沿った資料を配付する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
新聞を毎日読む、ニュースを見る等、社会を理解するための基本的な知識を身につける。授業で取り上げられたテーマは自らも調べ、最終回のまとめの課題に反映させる。担当教員が毎回変わるが、わからない言葉や概念は、後日でも良いので質問したり社会福祉用語辞典等で調べる。予習復習を合わせて2時間程度行う。

[授業計画]
1. オリエンテーション・社会福祉の動向(名定 慎也)
2. 高齢者の生きがいと回想法(津田 理恵子)
3. 聴覚障害について　(下司 実奈)
4. 多文化共生のまちづくり～NPOの取り組みから(川端麗子)
5. 現代社会と障害者福祉　(植戸貴子)
6. 障がい当事者と社会福祉　(外部講師)
7. 認知症高齢者のケア　(清水 弥生)
8. 地域で支える子育て　(曽田 里美)
9. 発達障害の子どもたち　(下司 実奈)
10. 幸福を生み出す地域福祉の展開 (渡辺 晴子)
11. 現代社会とソーシャルワーク (植戸貴子)
12. 社会福祉と生活余暇支援 (名定 慎也)
13. まとめとレポート　(名定 慎也)

科目名	現代社会Ⅴ	前期	2 単位
サブタイトル	社会福祉入門	講義	
担当者	名定　慎也、清水　弥生、植戸　貴子、曽田　里美、津田　理恵子、下司　実奈、川端　麗子、渡辺　晴子		

[成績評価方法]
レポート(100%)により評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
その都度解説などのフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:福祉1-1／多様な福祉課題を客観的に読み解き、その解決法を見出すために必要な社会福祉の専門的な知識を備えている。
成績評価方法:レポート

学科DP番号／DP内容:福祉2-2／多様な福祉課題の解決に向けて、人々の日常生活や社会生活を、福祉の視点で捉えるのみならず、人々の文化的背景も大切にしながら、包括的にマネジメントするために必要な判断力と実践力を有している。
成績評価方法:レポート

学科DP番号／DP内容:福祉3-1／家庭・地域社会・職場において一市民としての自覚を持ち、また社会福祉専門職としての使命感を持って、社会に貢献していくための主体性を備えている。
成績評価方法:レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:配布資料 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:適宜紹介 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	神戸学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山内　有香子、宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
神戸の歴史や自然、文化、産業等について関心を深め、神戸の魅力に気付くとともに、様々な視点から地域の歴史や文化を見ようとすることができる。

[授業概要]
この授業では、神戸の歴史や文化について様々な切り口から学んでいきます。神戸の地形的な特色や歴史、そこにまつわる食文化・ファッションやスポーツ文化、さらには災害の歴史などにも触れ、そこに生きる人々の地域に対する愛着や誇りを知ることで、皆さん自身の故郷の魅力再発見につながるはずです。
また神戸の企業経営者等は、学外講師として独自の視点から神戸の歴史や経営について講義をします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各担当教員から紹介された図書や資料を読んでおいてください。
関心を持った場所には、実際に出かけてみることをお勧めします。
～準備学修の時間について～
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)

[授業計画]
1. オリエンテーション、本学のあゆみと神戸 (山内有香子)
2. 観光地と人物で概観するわたしたちの神戸 (宮本晃郎)
3. 神楽舞の誕生から考える神戸の歴史 (学外特別講師　生田神社宮司　酒井康博、山内有香子)
4. 世界目線から日本食文化を再発見しよう (学外特別講師 (株)川崎青果代表取締役　川崎弘真、山内有香子)
5. 創業110年 豚饅発祥の老祥記が大切にするブランディング、店づくり、まちづくり (学外特別講師(株) 老祥記　専務取締役　曹　祐仁、山内有香子)
6. 旧石器・縄文・弥生・古墳・飛鳥時代の神戸 (宮本晃郎)
7. 万葉集や平家物語、太平記の舞台となった神戸 (宮本晃郎)
8. 戦国の世から江戸幕末の動乱によって揺れ動く神戸 (宮本晃郎)
9. 開港・築港によって国際都市へと変貌していく神戸 (宮本晃郎)
10. 水災・戦災を乗り越えて激動の昭和を駆け抜けた神戸 (宮本晃郎)
11. 大震災からの復興復旧と未来に向けた都市づくり神戸 (宮本晃郎)
12. テーマ別の歴史から見えてくる新たな神戸像と神戸人 (宮本晃郎)
13. 総まとめ　あなたのふるさと・神戸の未来・自分の生き方 (宮本晃郎)

科目名	神戸学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山内　有香子、宮本　晃郎		

[成績評価方法]
授業の取り組み姿勢（40%）、提出物（60%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
内容等の紹介・質問等に対する回答を授業内で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業の取り組み態度　提出レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業の取り組み態度　提出レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	心とからだの健康	後期	2 単位
サブタイトル	心とからだの健康 （心とからだ）	講義	
担当者	木村 大輔、曽田 里美、下司 実奈、坂元 美子、吉川 豊、西原 詩子、大沼 勇人、池尻 義隆		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
「心」と「からだ」の健康について、心身相関の視点を学びながら幅広い知識を習得することを到達目標とする。

[授業概要]
近年、いわゆる「健康」への関心が高まっている。一般に「健康」というとき、「からだ」の健康と「心」の健康という二つの面に分けて考えられることが多い。しかし、この二つの側面は互いに密接な関係がある。そこで、本講では、「心身相関」の視点をキーワードに、専門領域を異にする複数の教員によるオムニバス形式の講義を行うことで、「健康」をさまざまな側面から捉え理解を深めていく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解しておくこと。日頃から「心とからだの健康」ということについて、現代社会で問題となっている事柄について関心をもつこと。
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、お腹から考えるメンタルヘルス（木村 大輔）
2. スポーツにおける疲労とリカバリー（大沼 勇人）
3. ストレスと自己肯定感（下司 実奈）
4. 心の健康とからだの健康Ⅰ（曽田 里美）
5. 心の健康とかただの健康Ⅱ（曽田 里美）
6. 看護とヘルスケアに関する心とからだの健康（西原 詩子）
7. 口腔内の健康と口腔ケア（西原 詩子）
8. からだの健康と嗜好食品Ⅰ（吉川 豊）
9. からだの健康と嗜好食品Ⅱ（吉川 豊）
10. 脳のしくみからみた心とからだの健康（池尻 義隆）
11. からだの健康と食生活（坂元 美子）
12. 心の健康と食生活（坂元 美子）
13. まとめ（木村 大輔）

科目名	心とからだの健康	後期	2 単位
サブタイトル	心とからだの健康 （心とからだ）	講義	
担当者	木村 大輔、曽田 里美、下司 実奈、坂元 美子、吉川 豊、西原 詩子、大沼 勇人、池尻 義隆		

[成績評価方法]
受講態度（40%）、試験（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後に解説

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度・試験

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	言葉と文学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	日本の文学(古代・中古・中世・近世)、古典文学のなかの猫	講義	
担当者	大山　範子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
日本文学史の流れについて知識を得るとともに、作品の鑑賞を通して日本文学・日本文化に対する理解を深め、魅力を発見する。

[授業概要]
私たちの祖先は千年以上前から文学の営みを続けてきた。そして幸いにも多くの作品が時を超えて読み継がれている。こうした古典文学の持つ魅力を探るべく、今回は、身近な存在である「猫」を手がかりとしてアプローチをする。
古来、さまざまなジャンルの文学作品において、猫はどのように描かれてきたのだろうか。この授業では、猫の登場する作品を時代を追って読みながら、個々の作品について文学史の流れとあわせて解説をする。難しい、お堅いと敬遠しがちな古典文学だが、親しむと意外な発見もある。まずは面白そうなところから始めよう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。事前に次の講義の予告をし、使用する資料を配布するので、目を通してくること。

[授業計画]
01. はじめに　～日本古典文学史概略～
02.「猫」という語
03. 王朝貴族と猫
04. 日記・史書にみる猫
05. 和歌・物語にみる猫
06. 物語にみる猫
07. 説話にみる猫
08.「ねこまた」をめぐって
09.「かな」という名の猫
10. 御伽草子『猫の草子』
11. 江戸の文人と猫
12. 誹諧・草双紙にみる猫
13. まとめ　―絵画に描かれた猫たち―

＊受講者の関心・興味に応じて授業計画を変更する場合があります。

科目名	言葉と文学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	日本の文学(古代・中古・中世・近世)、古典文学のなかの猫	講義	
担当者	大山　範子		

[成績評価方法]
期末レポート(60%)および講義時の小課題(不定期、数回を予定、40%)によって評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
小課題については次回講義時にコメントをする。期末レポートは提出・講評ともKISSを利用。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:講義時の小課題および期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:講義時の小課題および期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:講義時の小課題および期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:講義時の小課題および期末レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	言葉と文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学と映像作品	講義	
担当者	山口　知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカ文学の名作を知る。
作品の時代背景や文化的背景を知り、より深く作品を理解・鑑賞する。
作品を通じて、人間の生き方や英知について、各自が考えを深める。

[授業概要]
現代社会において医療・介護・福祉および人々の心を扱う仕事に携わる人々には、専門知識や技能もさることながら、幅広い教養と成熟した人間性が求められる。著名な文学・映像作品を通じ、そこに描かれる人間の英知について考える経験は、学生諸姉にとって将来必ず役に立つことと思われる。
本授業では、数ある作品のなかから、文学的評価というよりもむしろ広く一般に親しまれ、深い人間的洞察を含むものをとりあげる。作品全体を十全に鑑賞するため、2回の授業で1作品をみることになる。最初に作品の背景や時代について説明し、視聴中は随時映像を止め、説明や簡単なディスカッションの機会を設ける。視聴終了後はクラス全体でディスカッションを行う。
学期中に複数回、視聴した作品についての感想文を提出し、学期末には各自が決めたテーマでレポートを作成する。いずれの場合も「自分の言葉」で語ることが肝要。それを通じ、自分自身をより深く知る機会ともしてほしい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
配布資料以外にも、毎回視聴する作品について各自で知識を集めたうえで授業に臨むこと(1時間程度)。
作品視聴後、次回授業までに感想文を提出すること(1～2時間程度)。
学期中の学習を通じて各自が個別にテーマを設け、学期末にレポートを作成・提出すること。

[授業計画]
1. 授業ガイダンス、およびアメリカの歴史・文学概説
2.『スカーレット・レター』にみる「ピューリタニズムの光と影」前半
3.『スカーレット・レター』にみる「ピューリタニズムの光と影」後半、まとめとディスカッション
4.『若草物語』にみる「家族」と「女性の生き方」前半
5.『若草物語』にみる「家族」と「女性の生き方」後半、まとめとディスカッション
6.『華麗なるギャツビー』にみる「失われた世代」と「ジャズエイジ」前半
7.『華麗なるギャツビー』にみる「失われた世代」と「ジャズエイジ」後半、まとめとディスカッション
8.『ヒマラヤ杉に降る雪』にみる「第二次世界大戦」と「戦時強制収容」前半
9.『ヒマラヤ杉に降る雪』にみる「第二次世界大戦」と「戦時強制収容」後半、まとめとディスカッション
10.『ある愛の詩』にみる「階級・宗教・貧富の差」前半
11.『ある愛の詩』にみる「階級・宗教・貧富の差」後半、まとめとディスカッション
12.『グリーンマイル』にみる「階級」と「人種」前半
13.『グリーンマイル』にみる「階級」と「人種」後半、まとめとディスカッション

科目名	言葉と文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学と映像作品	講義	
担当者	山口　知子		

[成績評価方法]
学期末レポート70%、作品視聴後の感想文20%、その他授業パフォーマンス（ディスカッションへの参加度等）10%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説とフィードバックを行います。
提出物については、適宜KISSシステムを通じて行うこともあります。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび提出物、学期末レポート等を通じて評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび提出物、学期末レポート等を通じて評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業中のパフォーマンスおよび提出物、学期末レポート等を通じて評価します。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	自然と環境 I	後期	2 単位
サブタイトル	自然の中の物理学	メディア（講義）	
担当者	稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
自然の中に潜む物理法則の理解を目指す。一つ一つの物理現象を理解するための基礎的な素養を身につけ、自然現象を科学的視点から分析・探求できる力を習得する。

[授業概要]
【メディア授業】
講義はオンデマンド形式で、14回の動画（内、補講1回は出欠を取らない）と5回の小テスト（manaba）からなる。したがって自宅や大学校内でのPC閲覧が可能な環境の確保、講義時間外の課題はmanabaで提出するため、PCの購入を推奨する。自然界における物理法則について、高校の「物理基礎」を中心に、高校の「物理」、大学の基礎的な「物理学」を含めて概説する。基礎的な高校の物理の概略を復習しつつ、教員採用試験や公務員試験合格レベルの知識の習得を目指して講義を行う。これらの物理現象を理解するための基礎的な素養を身につけつつ、実際に物理の問題を解けるようになることを目指す。授業内容には小学校教育コースにおける小学校免許必須科目である「理科概説」「理科教育法」（エネルギー領域）における実験内容・指導案作成内容の原理・説明を含むので、小学校教職免許状取得を目指す学生には履修を勧める。教員採用試験や公務員試験受験希望者などで、高校での物理の達成度に不安を感じている一方で、大学で物理の履修が必要な学生向けである。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
準備学習として高等学校「物理基礎」をよく理解しておくこと。積み重ねが大切なので、前回の授業の内容を「manaba」の「小テスト」を利用してよく復習しておくこと。なお、テキストはpdfがmanabaからダウンロードできるので教科書,参考書は必ずしも必須ではない。 予習復習の時間数は各回、合わせて4時間程度。

[授業計画]
第1回　運動の表し方（速度、加速度、落体の運動）
第2回　運動の法則1（力とそのはたらき）
第3回　運動の法則2（力のつりあい）
第4回　運動の法則3（運動の法則）
第5回　運動の法則4（摩擦を受ける運動、）
第6回　運動の法則5（液体や気体から受ける力、浮力）
第7回　仕事と力学的エネルギー1（仕事、運動エネルギー）
第8回　仕事と力学的エネルギー2（位置エネルギー、力学的エネルギーの保存）
第9回　熱とエネルギー1（熱と熱量、熱と物質の状態）
第10回　熱とエネルギー2（熱と仕事、不可逆的変化と熱機関）
第11回　物質と電気1（電気の性質、電流と電気抵抗1）
第12回　物質と電気2（電流と電気抵抗2）
第13回　物質と電気3（電流エネルギー）
＊動画視聴が出席に対応します。視聴時間がモニタリングされていますので、短縮視聴した場合には早退もしくは欠席扱いとなることがあります。

科目名	自然と環境 I	後期	2 単位
サブタイトル	自然の中の物理学	メディア（講義）	
担当者	稲垣　善茂		

[成績評価方法]
試験（「manaba」小テスト100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業動画を公開（オンデマンド型授業対応）。manabaの小テストによる課題に対しては、課題締め切り後に、ポートフォリオに採点結果と正答が公開されるようになっています。ポートフォリオを確認して復習に利用してください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:「manaba」小テストにて

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:「manaba」小テストにて

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:高等学校　物理基礎 著者名: 出版社名:数研出版 ISBN:

科目名	自然と環境Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	躍動する地球	メディア（講義）	
担当者	村田　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
今日の地球の姿をプレートの動きや地球の長い歴史の中で理解する。

[授業概要]
【メディア授業】
　地質学的時間、地球の歴史に伴う生命の誕生と進化、固体地球表層とくに海洋リソスフェアの構造や動きについて理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎回事前にmanabaにテキストをアップします。それを読み、おおまかな内容を予習し、疑問点を明確にしておきましょう。
授業は動画視聴により行います。毎週、動画視聴のためのURLをアップします（視聴期限あり）。
授業視聴後は、テキストとノートで復習をすること。
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.太陽・月・地球
2.地質学的時間（相対年代・放射年代・地磁気による編年）
3.生命の誕生と進化①
4.生命の誕生と進化②
5.固体地球の内部
6..プレートテクトニクス①
7..プレートテクトニクス②
8..地層と化石・岩石①
9.地層と化石・岩石②
10.地震活動・火山活動
11..プルームテクトニクス
12.日本列島の形成
13.まとめ

科目名	自然と環境Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	躍動する地球	メディア（講義）	
担当者	村田　恵子		

[成績評価方法]
毎時間の課題（10%）・試験（90%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題については、次回授業の中で説明する。
試験は、希望者に解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題・試験

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	宗教	前期	2 単位
サブタイトル	世界の宗教(宗教入門)	講義	
担当者	小田　麟太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	コメントシートを用いた主体的学習	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
宗教がどのように我々の生活に影響を与えているのか、なぜそれを知る必要があるのかについて理解すること。様々な宗教の特徴について比較を通して理解し、世界的な宗教問題について考える視座を獲得すること。宗教的な文化芸術の背景について知ること。

[授業概要]
宗教は古代から近代に至るまで世界の社会、文化をリードしてきたいわば我々の社会の親とも言うべき存在です。宗教的な問題は世界中で大きな関心をもって取り上げられますが、一方で日本では比較的関心を持たれない傾向にあります。この授業ではそれぞれの教えに関する基礎知識を確認し、その現代社会に与える影響について考える中で、皆さんが宗教的な問題に向き合う際の姿勢を培うことを目指します。また、様々な宗教芸術作品や建築についても適宜紹介します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業で配布したプリントをよく読んで、復習と予習合わせて2時間程度で準備しておく。授業内容と自身の生活との関わりについて考えたり、授業のテーマと内容的に関係する報道などに関心を持つ。

[授業計画]
1、ガイダンス
2、世界の宗教と宗教を学ぶ意味
3、ユダヤ教①
4、ユダヤ教②
5、キリスト教①
6、キリスト教②
7、イスラム教①
8、イスラム教②
9、仏教①
10、仏教②
11、神道
12、宗教と日本文化
13、まとめ

科目名	宗教	前期	2 単位
サブタイトル	世界の宗教(宗教入門)	講義	
担当者	小田　麟太郎		

[成績評価方法]
授業内ミニレポート(60%)、最終テスト(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内でフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:ミニレポート及び期末試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:ミニレポート及び期末試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:ミニレポート及び期末試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:ミニレポート及び期末試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:ミニレポート及び期末試験で評価

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:世界が分かる宗教社会学入門 著者名:橋爪大三郎 出版社名:筑摩書房 ISBN:4-480-42227-7

科目名	手話Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	手話の基礎	講義	
担当者	下司　実奈		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
聴覚障害者と手話の歴史及び、聴覚障害者の生活における手話の役割について学ぶ。
言語としての手話の基礎知識を修得する。

[授業概要]
手話の歴史と特徴を学習すると共に、日常会話で使う手話について表現・読み取りについて学ぶ。
聴覚障害者の生活について学ぶ。
手話指導について経験の豊富な兵庫県聴覚障害者協会より、聴覚障害者と手話通訳者が指導する。
担当教員はコーディネーターとして授業外支援に関わる。
※履修希望者が40名を超える場合は、履修登録締め切り後、人数調整(抽選)を行うことがある。調整の結果はKISSにて登録者全員に知らせる。教科書の購入は調整の結果を受け取ってからにすること。第1回目の授業に教科書購入が間に合わなくても受講できるようにする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回の課題を提示するので,各回、予習復習合わせて4時間程度学習すること。
実技については次回までに確実に表現できるようにしておく。

[授業計画]
1. オリエンテーション　名前の表現
　講義「手話の基礎知識」
　・手話の歴史と特徴について
2. 数を使って話す
　・2桁までの数字
　・時刻、年齢、日にちの表し方
3. 家族を紹介する
　・人数の表し方
4. 交通方法について
　・場所や行き方、金額、所要時間の表現
　・3桁以上の数字の表現
5. 好きなことについて話す
　・好き、嫌い、得意、苦手など
　・表情や手話の強弱をつけて気持ちにあった表現をする
6. 仕事を紹介する
　・仕事に関わる表現
　講義「聴覚障害者の暮らし」
7. 一日や一週間のことを話す
　・過去、現在、未来など「時」に関わる語彙を学ぶ
8. スポーツや歴史について話す
　・同じ手話を繰り返す表現
9. 冷蔵庫を買いに行く、家の近くのことを話す
　・身の回りの電化製品や建物に関する語彙
　・物の形や使う時の動作で表現する方法
　・位置や方向を使って場所を表す
10. .旅行に行く、病気やけがについて話す
　・動詞や名詞を先に出す表現
　・身体の状態を具体的に伝える
11. イベントの計画を立てる、学校のことを話す
　・否定表現
　・他の人が話したことを伝える表現
12. 仕事のことを話す、一年の思い出を話す
　・「～しなければならない」「～する必要はない」
　・学んだことを活かして、一年間の思い出を話す
13. 実技試験(スピーチ)

※公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会より学外特別講師を招聘して授業を行う(全13回)。

科目名	手話Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	手話の基礎	講義	
担当者	下司　実奈		

[成績評価方法]
実技試験(30%)、授業内に小テスト実施(30%)、レポート(30%)、授業への積極的参加度(10%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業中に行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:

[教科書(ISBN)]
書籍名:【全面改訂版】手話を学ぼう手話で話そう: 手話奉仕員養成テキスト 著者名: 出版社名:全国手話研修センター ISBN:4902158566

[参考書(ISBN)]

科目名	手話Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	手話の応用	講義	
担当者	下司　実奈		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
聴覚障害者くらしについて理解を深め、手話の基本文法を学び、相手の手話が理解でき、手話で日常会話ができる。

[授業概要]
手話の基本文法を学び、相手の手話が理解でき、手話で日常会話ができるようになる。
聴覚障害者のくらし、歴史について学ぶ。手話指導について経験の豊富な兵庫県聴覚障害者協会より、聴覚障害者と手話通訳者が指導する。
担当教員はコーディネーターとして授業外支援に関わる。

※履修希望者が40名を超える場合は、履修登録締め切り後、人数調整(抽選)を行うことがある。調整の結果はKISSにて登録者全員に知らせる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回の課題を提示するので予習すること。
実技については次回までに確実に表現できるようにしておく。予習復習合わせて4時間程度の学習をする。

[授業計画]
1. 形や動作、様子や配置
　・物や人の形や動き、様子や配置などを手話で表す
2. 「誰が」「誰に」
　・手話の向きや動きの方向の変化で「誰が」「誰に」を表現する
3. 場所の表現
　・空間を活用した建物内の移動、場所、位置表現
4. スケジュールの説明と数字
　・空間を活用した時の経過やスケジュールの表現
　・指の代理的表現
5. 指さし
　・指さしを使って上下関係や場所などを表す
　講義「手話サークル」
6. 自分の経験
　・過去の自分の行動や発言をロールシフトで表現する
7. 自分と別の人の体験
　・自分と別の人の行動や会話をロールシフトで表現する
8. 自分以外の2人の体験
　・自分以外の2人の行動や会話をロールシフトで表現する
9. 会話力を高める①
　・あいづち
　講義「ろう者の歴史」
10. 会話力を高める②③
　・会話の中断と再開
　・目上の人への配慮
11. 会話力を高める④⑤
　・希望や提案
　・確認のしかた
12. 会話力を高める⑥
　・結論を話してから理由を説明する
13. 実技試験(スピーチ)

※公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会より学外特別講師を招聘して授業を行う(全15回)。

※手話Ⅱは手話Ⅰを履修済みでなくとも受講できるが、手話Ⅰを受講済みと同程度の理解・表現を取得していることが望ましい。

科目名	手話Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	手話の応用	講義	
担当者	下司　実奈		

[成績評価方法]
実技試験(30%)、授業内に小テスト実施(30%)、レポート(30%)、授業への積極的参加度(10%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業中に行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:

[教科書(ISBN)]
書籍名:手話を学ぼう手話で話そう(全面改訂版) 著者名: 出版社名:全国手話研修センター ISBN:4902158566

[参考書(ISBN)]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	清光　英成		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身に付けることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身に付ける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	清光　英成		

[成績評価方法]
毎回の課題(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題は個別に成果を誉め讃え，問題点があれば改善を求める.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の課題(100%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:毎回の課題(100%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:毎回の課題(100%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	清光　英成		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身に付けることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身に付ける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	清光　英成		

[成績評価方法]
毎回の課題(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題は個別に成果を誉め讃え，問題点があれば改善を求める.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の課題(100%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:毎回の課題(100%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:毎回の課題(100%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	平田　真弓		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	平田　真弓		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題やレポートは、添削して返却します。また、必要に応じて個別に問題点等を指摘し、改善を求めます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：看護3-1／（社会参加）
社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探求していける。

成績評価方法：上記成績評価方法と同様

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記成績評価方法と同様

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記成績評価方法と同様

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記成績評価方法と同様

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	浅木森　和夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
① Windows パソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
② ワードを使って文書処理ができる
③ 表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④ インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につける。情報モラル・セキュリティー等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。情報を積極的に活用する上でのルールやマナー、著作権やプライバシーの侵害をしないなど、情報発信における留意点についても学ぶ。また、ワープロ、表計算、プレゼンテーション等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
学習トピック、テキストはLMS(Moodle)に公開します。LMSに公開されるテキストを事前によく読み、積極的に予習・復習をしてください。タッチタイピング(キーボードを見ないで素早く正確に入力する)はパソコンを使うときの基本です。毎日10分タッチタイピングの練習をしましょう。
各回、予習・復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1.授業ガイダンス
2.学内資源へのアクセス設定
3. Windowsの基本操作
4.エクスプローラの利用
5.フォルダの設定とショートカット
6.ソフトのインストールとカスタマイズ(グループワーク)
7.文字の入力(タッチタイピング)
8. 電子メールの利用(ウェブメール)
9.ワードの基礎(文書構造、レイアウト)
10.ワードを利用したレポート作成(グループワーク)
11. 表計算ソフトの基礎Ⅰ(データの入力、表のレイアウト)
12.表計算ソフトの基礎Ⅱ(簡単な計算処理、関数)
13.まとめと学習成果確認、解説

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	浅木森　和夫		

[成績評価方法]
成績は、学習への参画とグループワーク(20%)、タイプ実技・小テスト(20%)、課題(30%)、まとめの試験(30%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
学習への振り返りや質問、授業に関する意見などについては、授業のはじめにフィードバックします。グループワークについてはその都度コメントをフィードバックします。課題やテストについては終了後、ポイントや正解をフィードバックします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:振り返り、課題、グループワーク

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	西本　実苗		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
① Windows パソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
② ワードを使って文書処理ができる
③ 表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④ インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につける。情報モラル・セキュリティー等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。情報を積極的に活用する上でのルールやマナー、著作権やプライバシーの侵害をしないなど、情報発信における留意点についても学ぶ。また、ワープロ、表計算、プレゼンテーション等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
学習トピック、テキストはLMS(Moodle)に公開します。LMSに公開されるテキストを事前によく読み、積極的に予習・復習をしてください。タッチタイピング(キーボードを見ないで素早く正確に入力する)はパソコンを使うときの基本です。毎日10分タッチタイピングの練習をしましょう。
各回、予習・復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1.授業ガイダンス
2.学内資源へのアクセス設定
3. Windowsの基本操作
4.エクスプローラの利用
5.フォルダの設定とショートカット
6.ソフトのインストールとカスタマイズ(グループワーク)
7.文字の入力(タッチタイピング)
8. 電子メールの利用(ウェブメール)
9.ワードの基礎(文書構造、レイアウト)
10.ワードを利用したレポート作成(グループワーク)
11. 表計算ソフトの基礎Ⅰ(データの入力、表のレイアウト)
12.表計算ソフトの基礎Ⅱ(簡単な計算処理、関数)
13.まとめと学習成果確認、解説

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	西本　実苗		

[成績評価方法]
成績は、学習への参画とグループワーク(20%)、タイプ実技・小テスト(20%)、課題(30%)、まとめの試験(30%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
学習への振り返りや質問、授業に関する意見などについては、授業のはじめにフィードバックします。グループワークについてはその都度コメントをフィードバックします。課題やテストについては終了後、ポイントや正解をフィードバックします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:振り返り、課題、グループワーク

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	情報B	前期	2 単位
サブタイトル		メディア（演習）	
担当者	堀　桂太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とする。
①AI・データサイエンスの必要性を説明できる
②社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる
③データの活用方法について説明できる
④データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる

[授業概要]
AI・データサイエンスに関して興味・関心を持ち、AI時代に身に付けておくべき素養（新たな読み書きそろばん）を修得し、日常や仕事の場で使いこなせるようになることが大切である。本授業は、広い様々な視点からAI・データサイエンスに関して基礎的な知識を修得し、日常の生活や仕事で使いこなせるようになる内容を扱う。学修方法は以下の通りである。
・指定のe-Learning教材を活用し、全てオンライン上で学修する
・各回の動画コンテンツを全て視聴し、途中でメモを取り、分からない用語を調べながら学修する
・各回ごとに用意されている確認テストを指定の期限までに提出し、第13回以降に最終レポートを提出する

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
指定のe-Learning教材の学修及び　前回の講義の復習（1 時間程度）
各回の動画コンテンツの視聴率を授業の出欠として反映する。視聴率100%を出席、70%までを遅刻、70%未満を欠席として扱う。

[授業計画]
第1回　本講義のガイダンス、データサイエンスとは
第2回　社会で起きている変化
第3回　社会で活用されているデータ
第4回　データ・AIの活用領域
第5回　データ・AI利活用のための技術
第6回　データ活用とは
第7回　データ・AI利活用の現場
第8回　データ・AI利活用の最新動向
第9回　データを読む
第10回　データを説明する
第11回　データを扱う
第12回　データ・AIを扱う上での留意事項
第13回　データを守る上での留意事項とまとめ

科目名	情報B	前期	2 単位
サブタイトル		メディア（演習）	
担当者	堀　桂太郎		

[成績評価方法]
確認テスト（70%）、最終レポート（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
確認テストで示される採点結果を踏まえ、動画と資料を再度見直すこと。質問等があれば担当教員が対応する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：確認テスト、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：確認テスト、最終レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報B	前期	2 単位
サブタイトル		メディア（演習）	
担当者	西本　実苗		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
授業を通して、次のことを目標とする。
①AI・データサイエンスの必要性を説明できる
②社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる
③データの活用方法について説明できる
④データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる

［ 授業概要 ］
AI・データサイエンスに関して興味・関心を持ち、AI時代に身に付けておくべき素養（新たな読み書きそろばん）を修得し、日常や仕事の場で使いこなせるようになることが大切である。本授業は、広い様々な視点からAI・データサイエンスに関して基礎的な知識を習得し、日常の生活や仕事で使いこなせるようになる内容を扱う。学修方法は以下の通りである。
・指定のe-Learning教材を活用し、全てオンライン上で学修する
・毎回の動画コンテンツを全て視聴し、途中でメモを取り、分からない用語を調べながら学修する
・各回ごとに用意されている確認テストを指定の期限までに提出し、第13回以降に最終レポートを提出する

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
指定のe-Learning教材の学修及び　前回の講義の復習
各回の動画コンテンツの視聴率を授業の出欠として反映する。視聴率100%を出席、70%までを遅刻、70%未満を欠席として扱う。

［ 授業計画 ］
第1回　本講義のガイダンス、データサイエンスとは
第2回　社会で起きている変化
第3回　社会で活用されているデータ
第4回　データ・AIの活用領域
第5回　データ・AI利活用のための技術
第6回　データ活用とは
第7回　データ・AI利活用の現場
第8回　データ・AI利活用の最新動向
第9回　データを読む
第10回　データを説明する
第11回　データを扱う
第12回　データ・AIを扱う上での留意事項
第13回　データを守る上での留意事項とまとめ

科目名	情報B	前期	2 単位
サブタイトル		メディア（演習）	
担当者	西本　実苗		

[成績評価方法]
確認テスト（70%）、最終レポート（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
確認テストで示される採点結果を踏まえ、動画と資料を再度見直すこと。質問等があれば担当教員が対応する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：確認テスト、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：確認テスト、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：最終レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	情報C	後期	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用	講義	
担当者	浅木森　和夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
① さまざまなメディアを利用して資料を作ることができる
② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる
③ 情報セキュリティの基本を守ることができる
④ 情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる

[授業概要]
「情報A」で修得した基礎の上に、情報の統合を学ぶ。文章と画像のように、形式の違う情報をまとめて取り扱い処理する。さらに、情報通信（インターネット・電子メール）の活用を通じ、情報伝達の方法を学習する。現代では、インターネット犯罪が増加傾向にある。そこで表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の活用方法について学習すると共に、情報モラル・ネットワーク利用のエチケットやセキュリティを学ぶ。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
学習トピック、テキストはLMS（Moodle）上に公開します。LMSに公開されるテキストを事前によく読み、積極的に予習・復習をしてください。多様な価値を持つさまざまなメンバーとLMSのフォーラムなどを利用して学びを共有しましょう。
各回、予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 授業ガイダンス
2. プレゼンテーション（アウトラインの作成）
3. 文字、画像、イラストを使った資料作成
4. みんなで作るプレゼンテーション（グループワーク）
5. 電子メールを使った適切なコミュニケーション（グループワーク）
6. デジタルコミュニケーションの多様化（グループワーク）
7. 情報検索と正しい情報の見分け方
8. 人の権利と情報（個人情報、著作権）（グループワーク）
9. 情報セキュリティーとは
10. 情報セキュリティーを守る方法
11. ICT と犯罪（グループワーク）
12. 情報漏洩事例研究
13. まとめと学習成果確認、解説

科目名	情報C	後期	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用	講義	
担当者	浅木森　和夫		

[成績評価方法]
成績は、学習への参画（10%）、グループワークとプレゼンテーション(20%)、課題(35%)、小テストとまとめの試験（35%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
質問や感想については、授業のはじめにフィードバックします。グループワークやディスカッションについてはその都度コメントをフィードバックします。テストや課題は終了後、解答、ポイントをフィードバックします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッション、グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題、振り返り、グループワーク

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報C	後期	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用	講義	
担当者	西本　実苗		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
① さまざまなメディアを利用して資料を作ることができる
② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる
③ 情報セキュリティの基本を守ることができる
④ 情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる

[授業概要]
「情報A」で修得した基礎の上に、情報の統合を学ぶ。文章と画像のように、形式の違う情報をまとめて取り扱い処理する。さらに、情報通信（インターネット・電子メール）の活用を通じ、情報伝達の方法を学習する。現代では、インターネット犯罪が増加傾向にある。そこで表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の活用方法について学習すると共に、情報モラル・ネットワーク利用のエチケットやセキュリティを学ぶ。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
学習トピック、テキストはLMS（Moodle）上に公開します。LMSに公開されるテキストを事前によく読み、積極的に予習・復習をしてください。多様な価値を持つさまざまなメンバーとLMSの情報交換ルームなどを利用して学びを共有しましょう。
各回、予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1.授業ガイダンス
2.プレゼンテーション（アウトラインの作成）
3.文字、画像、イラストを使った資料作成
4.みんなで作るプレゼンテーション（グループワーク）
5.電子メールを使った適切なコミュニケーション（グループワーク）
6.デジタルコミュニケーションの多様化（グループワーク）
7.情報検索と正しい情報の見分け方
8.人の権利と情報（個人情報、著作権）
9.情報セキュリティーとは
10.情報セキュリティーを守る方法
11.ICT と犯罪（グループワーク）
12.情報漏洩事例研究（グループワーク）
13.まとめと学習成果確認、解説

科目名	情報C	後期	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用	講義	
担当者	西本　実苗		

[成績評価方法]
成績は、学習への参画（10%）、グループワークとプレゼンテーション(20%)、課題(35%)、小テストとまとめの試験（35%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
質問や感想については、授業のはじめにフィードバックします。グループワークやディスカッションについてはその都度コメントをフィードバックします。テストや課題は終了後、解答、ポイントをフィードバックします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッション、グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題、振り返り、グループワーク

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	女性 I	前期	2 単位
サブタイトル	女性学	メディア（講義）	
担当者	大淵　裕美		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
身近な事例を通してジェンダーに関する知識を身につけ、社会に応用できる実践能力を養う。問題が生まれる社会背景を知り、問題解決の方法を考えられるようになる。

[授業概要]
【メディア授業】
SDGsの目標の一つである「ジェンダー」は近年注目を集めており、私たちの将来のあり方を考える上で非常に大事な科目です。「ジェンダー」という言葉をよく知らない人も、「LGBT」、「セクハラ」、「男女共同参画」という言葉は聞いたことがあるのではないでしょうか。私たちの将来や社会の在り方を考える上で、女性も男性も「ジェンダー学」を学ぶことは今とても重要になっています。ジェンダー学とは、わたしたちが性別をいかに認識し、慣習や文化として構築しているのか、また性別は社会システムの中でどのように機能しているのか考えるために、性別の社会的・文化的側面を学び調査研究や理論構築を行う学問です。本講義ではさまざまな視点からジェンダーについて学びます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業内容に関連するニュースや身近な問題などを予習して、授業に臨むこと(各講義の予習復習は4時間程度)

[授業計画]
【メディア授業（Teams）】
1. オリエンテーション・ジェンダー・多様な性とは

＜研究・運動のあゆみ＞
2.女性学・ジェンダー研究の歩み
3.男性学研究・男らしさとジェンダー

＜グローバリゼーション＞
4.国際的なジェンダー政策
5.開発とジェンダー

＜近世・近代日本の歩み＞
6.女子教育とジェンダー
7.労働とジェンダー

＜現代日本の課題＞
8.家族・食事とジェンダー
9.言葉とジェンダー
10.災害とジェンダー
11.ハラスメントとジェンダー
12.ポップカルチャーとジェンダー
13.本授業のまとめ

科目名	女性 I	前期	2 単位
サブタイトル	女性学	メディア（講義）	
担当者	大淵　裕美		

[成績評価方法]
毎回の授業内での課題・小テスト（60%）、定期試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・毎回提出するコメントシートについては、確認して次回授業時に全体に共有します。
・毎授業時にmanabaにて実施する小テストは、自動採点時に解答・解説が閲覧できるように設定します。
・試験後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題・小テスト・定期試験

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	女性Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	女性と仕事	講義	
担当者	小河　洋子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
日本の女性雇用労働者が置かれている状況と問題を、個別・具体的に理解する。また、問題の当事者になった場合でも、どうすれば自分なりに納得のいく対処ができるのかについて多角的に考えられるようになる。

[授業概要]
日本では働く女性の数は年々増加し、企業も女性を積極的に登用していると言われています。
働く女性と言っても、正社員がいれば派遣社員やパートタイムで働く人、初職の職場で働き続ける人がいれば転職する人、一度退職し何年かのブランクを経て再就職する人などその状況は多様化しており一概に語ることはできません。しかし、働いていて良かったと思えることや辞めてしまいたいと思うことなど、いろんなことが起こるという共通点はあります。
また女性が働くことは、結婚や子育てや介護などの家族の問題とも密接に関わってきます。それらの出来事が、なぜ女性に偏って起こるのか、その理由は何なのか、どうすれば状況を変えることができるのかを中心に理解を深めます。
卒業後の進路だけでなく、生涯にわたって働くことをどう位置づけるのかについて、一人ひとりが自分のこととして考え人生を切り拓いていくのに役立つような授業をめざします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
・授業計画を見て、各回のテーマに関連する新聞記事やニュース等を確認し、関心を持つこと。
・配布資料は授業で説明がない部分も一通り読んでおくこと。
・関心を持ったテーマについては、参考図書を読んで理解を深めること。

[授業計画]
1. 女性にとっての仕事とは～個人の希望と社会の期待のねじれ
2. 女性雇用労働者の権利を保障する法律
3. 雇用労働における男女の格差と偏り　賃金・労働時間・キャリア
4. 多様な女性雇用労働者①　正社員・一般職
5. 多様な女性雇用労働者②　正社員・総合職
6. 多様な女性雇用労働者③　パートタイム労働
7. 多様な女性雇用労働者④　派遣社員
8. 働き続けることと妊娠・出産
9. 職場の問題①　セクシュアル・ハラスメント
10. 職場の問題②　セクシュアル・ハラスメントの対処
11. 職場の問題③　パワー・ハラスメントとその対処
12. 事例から考える①　職場の問題を仲間と解決する
13. 事例から考える②　男女賃金差別裁判

科目名	女性Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	女性と仕事	講義	
担当者	小河　洋子		

[成績評価方法]
試験(50%)・レポート①(12%)・レポート②(12%)・毎回の授業参加度評価(26%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回の授業で回答したアンケートや提出したコメントカードの感想は、次の回の資料としてフィードバックします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の授業参加度評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の授業参加度評価、レポート②

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:毎回の授業参加度評価、レポート①、レポート②、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:レポート①、レポート②、試験

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	女性Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	女性と健康 （女性に関わる健康科学）	メディア（講義）	
担当者	吉川 豊、松本 衣代、奥野 直、玉木 敦子、小路 浩子、小島 理永、服部 律子、斎藤 あつ子、木村 あい		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
「女性」という観点から、健康科学の実際について解説を受け、新しい生命を生む性である女性の精神と身体の特徴および疾患との関連について理解することを目標とする。

[授業概要]
【メディア授業】
学内外の研究者、メディカル・コメディカル分野の専門の先生方により、それぞれの専門分野における女性の心身の特性に基づく健康のあり方を医学・看護学・栄養学を中心にオムニバス講義を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと、日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度必要とする。

[授業計画]
1. 微量元素と健康　吉川豊（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
2. 女性の生涯を通じた健康支援①　服部 律子（神戸女子大学看護学部看護学科）
3. 女性の生涯を通じた健康支援②　服部 律子（神戸女子大学看護学部看護学科）
4. 女性とメンタルヘルス　玉木 敦子（神戸女子大学看護学部看護学科）
5. 女性を支える地域保健　小路 浩子（神戸女子大学看護学部看護学科）
6. 女性と介護　木村 あい（神戸女子大学健康福祉学部社会福祉学科）
7. 水と健康　奥野直（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
8. 母子感染する感染症　斎藤あつ子（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
9. 女性と運動　小島 理永（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
10. 肥満とダイエット　松本衣代（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
11. 女性の健康-血液サラサラと疾病-　横川晃治（学外特別講師）
12. 女性の健康-サプリメントと健康-　寺尾啓二（学外特別講師）
13. 1-12のまとめ　吉川豊（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）

※講師の都合により、順序が入れ替わることがあります。

科目名	女性Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	女性と健康 （女性に関わる健康科学）	メディア（講義）	
担当者	吉川 豊、松本 衣代、奥野 直、玉木 敦子、小路 浩子、小島 理永、服部 律子、斎藤 あつ子、木村 あい		

[成績評価方法]
各回manabaなどでレポート、ならびに、まとめの課題を提出させ成績評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
全ての授業終了後確認し、必要に応じ返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：各回のレポートとまとめの試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：各回のレポートとまとめの試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：各回のレポートとまとめの試験

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	女性Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	女性史	メディア（講義）	
担当者	大淵　裕美		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
世界の「女性史」を学び、現代につながるジェンダー格差の問題を理解する。

[授業概要]
【メディア授業】
世界の「女性史」を学ぶことで、現代の男女格差の問題を紐解きます。人間の営みの半分は女性たちによって支えられてきたにも関わらず、歴史の舞台に登場する女性の数が少ないのは、女性が重要な出来事に関わってこなかったからではなく、「歴史」が男性中心で書かれていたからです。本講義では、ヨーロッパの女性たちの主要な実践や思考を紹介することで、現在私たちが抱えているさまざまな女性の問題、ジェンダー格差について学びます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎回の授業内容に即した一般的な歴史の基礎知識を予習して、授業に臨むこと(各講義の予習復習は4時間程度)

[授業計画]
【メディア授業（Teams）】
1. オリエンテーション
2. フランスⅠ
3. フランスⅡ
4. イギリスⅠ
5. イギリスⅡ
6. アメリカⅠ
7. アメリカⅡ
8. ドイツⅠ
9. ドイツⅡ
10. ロシアⅠ
11. ロシアⅡ
12. 世界規模で広がる女性の連帯の輪
13. 本授業のまとめ

科目名	女性Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	女性史	メディア（講義）	
担当者	大淵　裕美		

[成績評価方法]
毎回の授業内での課題・小テスト（60%）、定期試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・課題については、確認して次回授業時に全体に共有します。
・授業時にmanabaにて実施する小テストは、自動採点時に解答・解説が閲覧できるように設定します。
・定期試験は試験終了直後に解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題・小テスト・定期試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:ジェンダーの西洋史　3訂版 著者名:井上 洋子　著者代表 出版社名:法律文化社 ISBN:9784589034045

[参考書（ISBN）]

科目名	心理学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐伯　恵里奈、巣黒　慎太郎、池尻　義隆、箱井　英寿		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
心理学の知見や考え方を用いて、人間の心理と行動について説明することができる。

[授業概要]
心理学とは、人の行動や心の働きについて研究する学問分野です。この授業では科学としての心理学を幅広く学び、心理学の各領域の基礎的な知識を身に付けることを通じて、人の行動と心について理解と考えを深めることをねらいとします。心理学の各領域をそれぞれ専門とする複数の教員によるオムニバス形式の授業をおこない、複数の側面から人の心と行動をとらえ、理解する態度を身に付けます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業で学習したことを復習し、自分自身の体験や日常生活上で経験することがらと関連づけつつ理解を深めるよう努めること。各回、予習・復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. 心理学とは(佐伯　恵里奈)
2. 知覚(佐伯　恵里奈)
3. 記憶(佐伯　恵里奈)
4. 学習(巣黒　慎太郎)
5. 発達(巣黒　慎太郎)
6. パーソナリティ(巣黒　慎太郎)
7. 脳の病気(池尻　義隆)
8. こころの病気(池尻　義隆)
9. こころと脳の関係(池尻　義隆)
10. 社会の中の自己(箱井　英寿)
11. 対人行動(箱井　英寿)
12. 集団(箱井　英寿)
13. まとめ(佐伯　恵里奈)

科目名	心理学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐伯　恵里奈、巣黒　慎太郎、池尻　義隆、箱井　英寿		

[成績評価方法]
授業時に出題する課題（リアクションペーパー、グループディスカッション等）（40%）、試験（60%）を総合的に判断して評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・授業中の課題は、授業内やmanaba上でフィードバックします。
・試験については、答案回収後、解答の解説を行い、質問を受け付けます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業時に出題する課題（リアクションペーパー、グループディスカッション等）、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業時に出題する課題（リアクションペーパー、グループディスカッション等）、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業時に出題する課題（リアクションペーパー、グループディスカッション等）、試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:資料を配布します 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:授業で紹介します 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	数学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	数学と数的思考	講義	
担当者	梅田　亨		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的思考力を高めるなかで数学の楽しさを体感することができる。いろいろな計算をとおして、数学的な事実を予測し、
いろいろな計算をとおして、数学的な事実を予測し、可能であればその予測に厳密な証明を
与えることで数学で使われる重要な技法を学ぶ。

[授業概要]
小学校の算数や中学以降の数学で学んだ事柄と、数学にまつわる歴史や文化の話題も取り扱い、あらためて日常的な事象と数学の関わりを学び、数学的思考や論理的思考力を培う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
講義内容の復習(練習問題を解く、用語・定義の確認など)は積極的に行ってください。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。

[授業計画]
1. 2^nの表を見て考える。そこにどのような法則が見つけられるか。
2. 自然数、N進法
3. 数を広げる(ゼロ、負の数、整数、有理数)、指数法則とその拡張
4. 整数の合同、割り算の意味
5. 二項定理、パスカルの三角形
6. 周期性の解明
7. 周期性とフェルマの小定理
8. フェルマの小定理の拡張
9. ここまでのまとめ
10. 対数と数の近似
11. 大体の世界
12. 対数からみえる、さまざまな現象、音階、放射能、小数の由来
13. 一般二項定理とその応用、近似計算

科目名	数学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	数学と数的思考	講義	
担当者	梅田　亨		

[成績評価方法]
授業中に行う演習への取り組み(30%)、理解度確認テスト(70%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
演習後、解説をし理解を深める。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中に出す課題に対するレポート提出

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	数学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	統計学入門	講義	
担当者	梅田　亨		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
①データの適切な処理方法やデータの見方、また、データから導かれた情報を正確に読み、正しく理解することができる。
②データを有効に活用するための手法を身につけ、数学的論拠に基づいて判断することができる。

[授業概要]
まず、確実な知識を理解する方法(論理)を学びたい。しかし、データが不充分であるなどの場合の判断のしかた(確率的考え)を通じて、不確実ではあるが、どれほどの確実さが得られるかの数値的な指標を得る方法を知りたい。その一方、論理的には確実であっても、計算が膨大で、決定的なところまで至ることができない世界もある。我々の知識の階層を、数学の立場から知ることによって、現実の世界をどのように把握していくか。現在は AI の進歩によって、かなりのことができるようになっているが、信頼できるのか。できれば、そのようなところまで突っ込んでいきたい。可能であれば、演習等基礎的な考え方とその方法を学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
講義内容の復習(練習問題を解く、用語・定義の確認など)は積極的に行ってください。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。

[授業計画]
1. 論理について
2. 論理(続き)
3. 集合
4. 順列と組合せ
5. 確率と順列組合せ
6. 確率の意味
7. 偏差値の意味
8. 期待値1
9. 期待値2
10. パスカルの三角形
11. 二項分布
12. 正規分布
13. 検定(統計的判断)

科目名	数学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	統計学入門	講義	
担当者	梅田　亨		

[成績評価方法]
授業中に行う演習への取り組み(30%)、理解度確認テスト(70%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
演習後、解説をし理解を深める。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中に出す課題に対するレポート提出

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大沼　勇人		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
（バドミントン）

1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク
4. 基礎運動②サイドステップ
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ
7. 基礎運動⑤スマッシュ
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明
11. ダブルス試合①
12. ダブルス試合②
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大沼　勇人		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で説明、解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：技能

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上　操		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
（バドミントン）

1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク
4. 基礎運動②サイドステップ
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ
7. 基礎運動⑤スマッシュ
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明
11. ダブルス試合①
12. ダブルス試合②
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上　操		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で説明、解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上　操		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
（バドミントン）

1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク
4. 基礎運動②サイドステップ
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ
7. 基礎運動⑤スマッシュ
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明
11. ダブルス試合①
12. ダブルス試合②
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上　操		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で説明、解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ－1（球技）	後期	1 単位
サブタイトル	球技の特性　指導法	実技	
担当者	大沼　勇人		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる基礎的な技術やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連しいて高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション　球技について
第2回：ネット型ゲームの実践　ゲームの特性とボールや用具の操作
第3回：ネット型ゲームの実践　基本技術の習得
第4回：ネット型ゲームの実践　打球の種類の理解とコントロール
第5回：ネット型ゲームの実践　ゲームのルールとゲームの進め方
第6回：ネット型ゲームの実践　ゲームの攻防とフォーメーション
第7回：ネット型ゲームの実践　ゲームとチームワーク
第8回：ゴール型ゲームの実践　ゲームの特性と基本技術の習得
第9回：ゴール型ゲームの実践　ゲームのルール
第10回：ゴール型ゲームの実践　ゲームの攻防とフォーメーション
第11回：ゴール型ゲームの実践　ゲームとチームワーク
第12回：ベースボール型ゲームの実践　ゲームの特性と基本技術の習得
第13回：ベースボール型ゲームの実践　ゲームとチームワーク

科目名	スポーツ実技Ⅰ－1（球技）	後期	1 単位
サブタイトル	球技の特性　指導法	実技	
担当者	大沼　勇人		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせる

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業態度・授業内課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業態度・授業内課題

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	スポーツ実技Ⅰ－1（球技）	後期	1 単位
サブタイトル	球技の特性　指導法	実技	
担当者	大沼　勇人		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる基礎的な技術やルール・マナーなどを身につける

［ 授業概要 ］
勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連しいて高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開する。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

［ 授業計画 ］
第1回：オリエンテーション　球技について
第2回：ネット型ゲームの実践　ゲームの特性とボールや用具の操作
第3回：ネット型ゲームの実践　基本技術の習得
第4回：ネット型ゲームの実践　打球の種類の理解とコントロール
第5回：ネット型ゲームの実践　ゲームのルールとゲームの進め方
第6回：ネット型ゲームの実践　ゲームの攻防とフォーメーション
第7回：ネット型ゲームの実践　ゲームとチームワーク
第8回：ゴール型ゲームの実践　ゲームの特性と基本技術の習得
第9回：ゴール型ゲームの実践　ゲームのルール
第10回：ゴール型ゲームの実践　ゲームの攻防とフォーメーション
第11回：ゴール型ゲームの実践　ゲームとチームワーク
第12回：ベースボール型ゲームの実践　ゲームの特性と基本技術の習得
第13回：ベースボール型ゲームの実践　ゲームとチームワーク

科目名	スポーツ実技Ⅰ－1（球技）	後期	1 単位
サブタイトル	球技の特性　指導法	実技	
担当者	大沼　勇人		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせる

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	山本　辰生		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローター―サーブ)
7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦

＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	山本　辰生		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:出席点を含む平常点60%、実技点20%、実技テスト20%、総合的に評価をする。特に受講に対する態度、マナーについて厳しく評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:出席点を含む平常点60%、実技点20%、実技テスト20%、総合的に評価をする。特に受講に対する態度、マナーについて厳しく評価する。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	山本　辰生		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローター―サーブ)
7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦

＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	山本　辰生		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:出席点を含む平常点60%、実技点20%、実技テスト20%、総合的に評価をする。特に受講に対する態度、マナーについて厳しく評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:出席点を含む平常点60%、実技点20%、実技テスト20%、総合的に評価をする。特に受講に対する態度、マナーについて厳しく評価する。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	山本　辰生		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローター―サーブ)
7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦

＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	山本　辰生		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：出席点を含む平常点60%、実技点20%、実技テスト20%、総合的に評価をする。特に受講に対する態度、マナーについて厳しく評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：出席点を含む平常点60%、実技点20%、実技テスト20%、総合的に評価をする。特に受講に対する態度、マナーについて厳しく評価する。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上　操		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べること。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 基礎練習（打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ）＋ゲーム（ルール説明を中心に）
3. 基礎練習（ラリー）
4. 基礎練習（サービス）＋ゲーム形式練習（ダブルス）
5. 基礎練習（フォアハンド打法）＋フォアハンドラリー
6. 基礎練習（バックハンド打法）＋ゲーム形式練習（シングルス）
7. 基礎練習（スマッシュ）＋ゲーム（ダブルス）
8. 基礎練習（ドライブ打法）＋ゲーム（ダブルス）
9. 基礎練習（レシーブ）＋バックハンドラリー
10. 基礎練習（3球目攻撃と5球目攻撃）＋ゲーム（ダブルス）
11. ゲーム（個人戦）
12. ゲーム（団体戦）
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更の可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上　操		

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で説明、解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技技能、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実技技能、受講態度

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上　操		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べること。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 基礎練習（打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ）＋ゲーム（ルール説明を中心に）
3. 基礎練習（ラリー）
4. 基礎練習（サービス）＋ゲーム形式練習（ダブルス）
5. 基礎練習（フォアハンド打法）＋フォアハンドラリー
6. 基礎練習（バックハンド打法）＋ゲーム形式練習（シングルス）
7. 基礎練習（スマッシュ）＋ゲーム（ダブルス）
8. 基礎練習（ドライブ打法）＋ゲーム（ダブルス）
9. 基礎練習（レシーブ）＋バックハンドラリー
10. 基礎練習（3球目攻撃と5球目攻撃）＋ゲーム（ダブルス）
11. ゲーム（個人戦）
12. ゲーム（団体戦）
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更の可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上　操		

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で説明、解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技技能、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実技技能、受講態度

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	小島　理永		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べること。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 基礎練習（打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ）＋ゲーム（ルール説明を中心に）
3. 基礎練習（ラリー）
4. 基礎練習（サービス）＋ゲーム形式練習（ダブルス）
5. 基礎練習（フォアハンド打法）＋フォアハンドラリー
6. 基礎練習（バックハンド打法）＋ゲーム形式練習（シングルス）
7. 基礎練習（スマッシュ）＋ゲーム（ダブルス）
8. 基礎練習（ドライブ打法）＋ゲーム（ダブルス）
9. 基礎練習（レシーブ）＋バックハンドラリー
10. 基礎練習（3球目攻撃と5球目攻撃）＋ゲーム（ダブルス）
11. ゲーム（個人戦）
12. ゲーム（団体戦）
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更の可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	小島　理永		

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で連絡する

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実技テスト

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大沼　勇人		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べること。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 基礎練習（打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ）＋ゲーム（ルール説明を中心に）
3. 基礎練習（ラリー）
4. 基礎練習（サービス）＋ゲーム形式練習（ダブルス）
5. 基礎練習（フォアハンド打法）＋フォアハンドラリー
6. 基礎練習（バックハンド打法）＋ゲーム形式練習（シングルス）
7. 基礎練習（スマッシュ）＋ゲーム（ダブルス）
8. 基礎練習（ドライブ打法）＋ゲーム（ダブルス）
9. 基礎練習（レシーブ）＋バックハンドラリー
10. 基礎練習（3球目攻撃と5球目攻撃）＋ゲーム（ダブルス）
11. ゲーム（個人戦）
12. ゲーム（団体戦）
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更の可能性があります。

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大沼　勇人		

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎週月曜日 15:20～16:05 研究室D311

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:技能

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	小島　理永		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるテニスの基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

［ 授業概要 ］
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

［ 授業計画 ］
1. オリエンテーション、テニスの用具やコートの説明
2. テニスのルールや基礎技術の説明
3. 基礎技術①フォアハンドストローク
4. 基礎技術②バックハンドストローク
5. 基礎技術③ボレー
6. 基礎運動④サーブ
7. 基礎運動⑤ダブルスの戦術理解
8. 基礎運動⑥シングルスの戦術理解
9. 基礎運動⑦ゲーム形式練習
10. 試合の進め方、ルールの説明
11. ダブルスの試合
12. シングルスの試合
13. まとめ
＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	小島　理永		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実技テスト

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大沼　勇人		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるテニスの基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

［ 授業概要 ］
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

［ 授業計画 ］
1. オリエンテーション、テニスの用具やコートの説明
2. テニスのルールや基礎技術の説明
3. 基礎技術①フォアハンドストローク
4. 基礎技術②バックハンドストローク
5. 基礎技術③ボレー
6. 基礎運動④サーブ
7. 基礎運動⑤ダブルスの戦術理解
8. 基礎運動⑥シングルスの戦術理解
9. 基礎運動⑦ゲーム形式練習
10. 試合の進め方、ルールの説明
11. ダブルスの試合
12. シングルスの試合
13. まとめ
＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大沼　勇人		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	小島　理永		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるテニスの基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

［ 授業概要 ］
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

［ 授業計画 ］
1. オリエンテーション、テニスの用具やコートの説明
2. テニスのルールや基礎技術の説明
3. 基礎技術①フォアハンドストローク
4. 基礎技術②バックハンドストローク
5. 基礎技術③ボレー
6. 基礎運動④サーブ
7. 基礎運動⑤ダブルスの戦術理解
8. 基礎運動⑥シングルスの戦術理解
9. 基礎運動⑦ゲーム形式練習
10. 試合の進め方、ルールの説明
11. ダブルスの試合
12. シングルスの試合
13. まとめ
＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	小島　理永		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実技テスト

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅴ（学外）	後期	1 単位
サブタイトル	水泳	実技	
担当者	大沼　勇人、小島　理永、住本　純		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
技能に応じて安全にスポーツを楽しむ。
生涯スポーツの一つとして、水泳を習得する。

［ 授業概要 ］
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。
実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。

開講種目は水泳を行う。
技能に応じて安全にスポーツを楽しむ。

受講定員15人名の人数に満たない場合は不開講とする。1～4回生の基礎トレーニング修了者で、内科検診に異常の無い人を対象とする。
下記説明会にて詳細を説明するので、申し込み登録を行った者に限る。

2025年1月19日時点で、日程および実施場所は未定である。

【履修希望者への説明会】
希望者は必ず下記の日時の説明会に参加すること
《須磨》2025年5月12日（月）12:45～　説明会
《 PI 》2025年5月14日（水）12:45～　説明会

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食を摂る。
日常的によく体を動かしたり、意図的に運動を実施しておくことが望ましい。

［ 授業計画 ］
1. 概要説明
2. グループ分け
3. 基礎技術　浮く
4. 基礎技術　姿勢（仰向き）
5. 基礎技術　姿勢とキック①
6. 基礎技術　姿勢とキック②
7. 基礎技術　キックと呼吸方法
8. 基礎技術　腕の動作
9. 基礎技術　腕の動作と呼吸方法
10. クロール25m
11. 平泳ぎ25m
12. クロール・平泳ぎ25m
13. まとめ

科目名	スポーツ実技Ⅴ（学外）	後期	1 単位
サブタイトル	水泳	実技	
担当者	大沼　勇人、小島　理永、住本　純		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内等で連絡します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度・技能

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	小寺　隆志		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	授業で出された テーマに関する課題、演習等（軽運動を含む）。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
生涯にわたる生きがいやライフスタイルの構築にむけ、その基盤となる健康や体力に関する基礎的知識を習得することで、個々人が日常生活において健康科学に基づいたに対処および行動ができる。

[授業概要]
科学技術の発達によって日常生活の身体的負担は軽減する一方で、運動不足病と総称されるように運動不足が危険因子（リスクファクター）となる疾病は数多い。このように身体活動が健康に及ぼす影響は多大である。健康を支える要因の解明としては、疫学、心理学、情報科学、社会学等の分野で検証が行われている。そこで本講義では、多角的な視点を通して生涯を通した健康、運動、スポーツの捉え方について考えを深めていくことを目的とする。また、運動の重要性および健康づくりについて理解し習慣化して実践できるよう、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から健康に関する記事や映像などから情報を得るようにしておくこと。また、運動、スポーツやについて興味関心を抱き、積極的に実施すること。

[授業計画]
1. 健康とQOL
2. ヘルスリテラシー
3. 人口の動向と少子・超高齢化社会（ロコモ度テスト）
4. 心と健康、ストレス
5. 運動・休養と健康
6. 栄養と健康
7. 生活習慣病と運動
8. 体力の測定と評価。女性アスリートの3主徴。
9. トレーニング、フィットネスとは
10. 救命救急法（一次救命・応急処置法・RICE・テーピング）
11. 飲酒、喫煙、感染症について
12. 妊娠と出産 （女性のからだ、高齢出産、避妊、母子衛生）
13. まとめ

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	小寺　隆志		

[成績評価方法]
試験・課題レポート（60%）、授業態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎授業で授業において、授業のテーマについて講義を受けながらまとめレポートを作成し授業終了時に提出する。
添削して翌週に返却する。返却されたレポートは各自で保管する。
書き方や要点などは授業等で説明・解説する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記記載の成績評価方法と同様。
積極的に授業に参加し毎回のレポートを充実させる。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山　清子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	授業で出されたテーマに関する課題、演習等（軽運動を含む）。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
生涯にわたる生きがいやライフスタイルの構築にむけ、その基盤となる健康や体力に関する基礎的知識を習得することで、個々人が日常生活において健康科学に基づいたに対処および行動ができる。

[授業概要]
科学技術の発達によって日常生活の身体的負担は軽減する一方で、運動不足病と総称されるように運動不足が危険因子（リスクファクター）となる疾病は数多い。このように身体活動が健康に及ぼす影響は多大である。健康を支える要因の解明としては、疫学、心理学、情報科学、社会学等の分野で検証が行われている。そこで本講義では、多角的な視点を通して生涯を通した健康、運動、スポーツの捉え方について考えを深めていくことを目的とする。また、運動の重要性および健康づくりについて理解し習慣化して実践できるよう、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から健康に関する記事や映像などから情報を得るようにしておくこと。また、運動、スポーツやについて興味関心を抱き、積極的に実施すること。

[授業計画]
1. 健康とQOL
2. ヘルスリテラシー
3. 人口の動向と少子・超高齢化社会（ロコモ度テスト）
4. 心と健康、ストレス
5. 運動・休養と健康
6. 栄養と健康
7. 生活習慣病と運動
8. 体力の測定と評価。女性アスリートの3主徴。
9. トレーニング、フィットネスとは
10. 救命救急法（一次救命・応急処置法・RICE・テーピング）
11. 飲酒、喫煙、感染症について
12. 妊娠と出産 （女性のからだ、高齢出産、避妊、母子衛生）
13. まとめ

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山　清子		

[成績評価方法]
試験・課題レポート（60%）、授業態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎授業で授業において、授業のテーマについて講義を受けながらまとめレポートを作成し授業終了時に提出する。
添削して翌週に返却する。返却されたレポートは各自で保管する。
書き方や要点などは授業等で説明・解説する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記記載の成績評価方法と同様。
積極的に授業に参加し毎回のレポートを充実させる。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル	地域学習	演習	
担当者	川端　麗子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学生自身が主体性、社会性、人間力を育て、大きく成長していく「イニシエーション」の過程として位置づける生涯学習のプロセスであり、学習によって自覚的に育った学生たちが、将来主体性のある“市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする。

[授業概要]
大学での講義、演習を中心とはせず、学生自らの興味、関心に基づいて様々な地域社会で催されている行事、活動に社会貢献活動の一環として主体的に参加する。
履修期間は通年（1年）として、次年度へのポイントを持越すことはできない。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から学生一人一人の興味関心を常に社会に向け、様々な情報を収集すること。また各種の出来事について積極的で主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。

[授業計画]
1. 前期・後期の最初に学内でオリエンテーションを行う。日程は掲示にて知らせる。
2. 学習の参加は、原則として大学の授業時間外の時間帯及び日程で行なう。
3. 学習は地域社会の行事・活動（学校・施設等を含む）に9回以上参加した上でレポートを作成して、manaba「レポート」に提出する。
4. 参加の確認は、履修学生に発行する「履修カード」で、行事・活動の責任者等、または指導・担当教員に押印してもらうこと。
5. 年度末に「地域学習まとめの報告書」と「履修カード」を提出する
6. 回数の数え方は原則1日1単位とし、時間の長短は行事によって違うが、最低1時間以上とする。

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル	地域学習	演習	
担当者	川端　麗子		

[成績評価方法]
活動・行事への参加確認（85%）と最終レポート、活動報告書（15%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
最終レポートは添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：最終レポート、活動報告書

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル	地域学習	演習	
担当者	奥野　直		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	??
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学生自身が自主性・社会性・人間性を育て、大きく成長していく「イニシエーション」の過程として位置づける生涯学習のプロセスであり、学習によって自覚的に育った学生たちが、将来主体性のある“市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする。

[授業概要]
大学での講義・演習を中心とはせず、学生自らの興味、関心に基づいて様々な地域社会で催されている行事、活動に社会貢献活動の一環として主体的に参加する。
履修期間は通年（1年）として、次年度へのポイントを持越すことはできない。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から学生一人一人の興味関心を常に社会に向け、様々な情報を収集すること。また各種の出来事について積極的で主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。
これから活動する内容について予習（30分）し、活動後は内容をノートに整理するなど復習（30分）すること。

[授業計画]
1. 原則として大学の授業時間外の時間帯及び日程で行なう。
2. 地域社会の行事・活動（学校・施設等を含む）に9回以上、13回上限で参加した上で、記録ノートのレポートを提出する。
3. 回数（準備打合せ等を含む）の数え方は、原則1日単位とし、時間の長短は行事によって異なる。
4. 指定の地域社会の行事・活動は、担当教員及び学内の地域連携推進員委員会の承認を得たものに限る。
5. 参加の確認は、履修学生に発行する「履修カード」に、行事・活動の責任者等または指導・担当教員の押印による。
6.「活動記録」冊子に毎回活動を記録し、「最終レポート」と共に担当教員に提出し、確認を受ける。
7. この科目の説明会を4月中旬に開催する。

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル	地域学習	演習	
担当者	奥野　直		

[成績評価方法]
活動、行事への参加態度（85%）と記録ノートのレポート（15%）により評価します

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：参加態度とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：参加態度とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：参加態度とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：参加態度とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：参加態度とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：参加態度とレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：参加態度とレポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小坂　素子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学生自身が主体性、社会性、人間力を育て、大きく成長していく「イニシエーション」の過程として位置づける生涯学習のプロセスであり、学習によって自覚的に育った学生たちが将来主体性のある“市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする

[授業概要]
大学での講義、演習を中心とはせず、学生自らの興味・関心に基づいてさまざまな地域社会で催されている行事、活動に社会貢献活動の一環として主体的に参加する。
履修期間は通年（1年）として、次年度へのポイントを持ち越すことはできない。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日ごろから学生一人ひとりの興味関心を常に社会に向け、さまざまな情報を収集すること。また、各種の出来事について積極的で主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。

[授業計画]
1. 地域学習は地域社会の行事、活動（学校、施設等含む）に9回以上参加した上で、定められた期限までにまとめのレポートを提出する。
2. 回数の数え方は、原則1日単位とし、時間の長短は行事によって異なる。
3. 履修登録した学生に「履修カード」と「活動記録」を発行する。
4. 参加の確認は履修登録を行った学生に発行する「履修カード」と「活動登録」に、参加した行事、活動の責任者等の押印をもらうこと。
5. 「活動記録」に毎回活動記録を記録し、学部担当教員の指示に沿って提出する。
6. 最終提出の前に活動実績を振り返り、到達目標に対する自己評価を行う。
7. 最終レポートは学部の担当教員に提出する。
8. 学生の参加は、大学の授業時間外の時間帯、日程で行うことを原則とする。

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小坂　素子		

[成績評価方法]
13回の参加確認(85%)とレポート(15%)により評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
記録物・レポートは後日添削して返却します

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:活動記録、最終レポートで評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:活動記録、最終レポートで評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:活動記録、最終レポートで評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:活動記録、最終レポートで評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:活動記録、最終レポートで評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:活動記録、最終レポートで評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:活動記録、最終レポートで評価する

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル	地域学習	演習	
担当者	小沢　康英、吉川　祐介		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学生自身が主体性、社会性、人間力を育て、大きく成長していく「イニシエーション」の過程として位置づける生涯学習のプロセスであり、学習によって自覚的に育った学生たちが将来主体性のある“市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする

[授業概要]
日ごろから学生一人ひとりの興味関心を常に社会に向け、さまざまな情報を収集すること。また、各種の出来事について積極的で主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から学生一人一人の興味関心を常に社会に向け、様々な情報を収集すること。また各種の出来事について積極的で主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。

[授業計画]
1. 地域学習は地域社会の行事、活動（学校、施設等含む）に9回以上参加した上で、定められた期限までにまとめのレポートを提出する。
2. 回数の数え方は、原則1日単位とし、時間の長短は行事によって異なる。
3. 履修登録した学生に「履修カード」と「活動記録」を発行する。
4. 参加の確認は履修登録を行った学生に発行する「履修カード」と「活動登録」に、参加した行事、活動の責任者等の押印をもらうこと。
5. 「活動記録」冊子に毎回活動記録を記録し、各行事の担当者に提出し確認を受ける。
6. 最終提出の前に活動実績を振り返り、到達目標に対する自己評価を行う。
7. 学生の参加は、大学の授業時間外の時間帯、日程で行うことを原則とする。

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル	地域学習	演習	
担当者	小沢　康英、吉川　祐介		

[成績評価方法]
参加確認(85%)とレポート(15%)により評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
記録物等は後日添削して返却します

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:参加レポート、最終発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:参加レポート、最終発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:参加レポート、最終発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:参加レポート、最終発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:参加レポート、最終発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:参加レポート、最終発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:参加レポート、最終発表

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	中国語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。
3.中国語の基礎語彙200語程度を使うことができる。
4.中国語の入門段階の文法（動詞述語、形容詞述語文、存在文の肯定形・否定形・各種疑問文など）を理解し、文を組み立てることができる。
5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる。

[授業概要]
一から中国語を始める人向けに、中国語について詳しく解説し、豊富な練習によって中国語習得の確かな基礎を固めるための授業である。中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。
英語以外の外国語を学ぶことで、外国語観をより豊かにし、世界の多様性を理解することにもつながる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1.第一課＋日中異文化動画
2.第二課＋日中異文化動画
3.第三課＋日中異文化動画
4.第四課＋日中異文化動画
5.第五課
6.第五課
7.第六課
8.第六課
9.第七課
10.第七課
11.第八課
12.第八課
13.第一課～第八課のまとめ

科目名	中国語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫　輝		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%、まとめの試験40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の発表や課題、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト、まとめの試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:初級中国語（会話編）　自分のことばで話す中国語～改訂版 著者名: 出版社名:金星堂 ISBN:9784764707290

[参考書（ISBN）]

科目名	中国語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。
3.中国語の基礎語彙500程度を使うことができる。
4.中国語の初級段階の文法（助動詞、前置詞、連動文、二重目的語文、完了相、進行相、持続相、変化の“了”など）を理解し、文を組み立てることができる。
5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる

[授業概要]
半年学んだ中国語の初歩を忘れないように復習しつつ、初級中国語の半ばまでを学ぶ。授業で一層の練習を積み、中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。
2. 毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1.第九課
2.第九課
3.第十課
4.第十課
5.第十一課
6.第十一課
7.第十二課
8.第十二課
9. 第十三課
10. 第十三課
11. 第十四課
12. 第十四課
13. 第九課～第十四課のまとめ

科目名	中国語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫　輝		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%、まとめの試験40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の発表や課題、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト、まとめ試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:初級中国語（会話編）　自分のことばで話す中国語～改訂版 著者名: 出版社名:金星堂 ISBN:9784764707290

[参考書（ISBN）]

科目名	中国語会話Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中国語既習者を対象とし、初歩的な会話能力を定着させることを目的とする。目安としては中国語検定4級の文法的内容、リスニング力を活用して会話することを目標とする。

[授業概要]
身近な話題を取り上げながら、それに関連する表現を学んでいく。授業は話すことと聞くことを中心に進めていく。会話能力を伸ばすための練習を多く取り入れるので、中国語が聞き取れた時の喜びや、中国語で言いたいことが伝わった時の楽しさを味わってほしいと思う。そのほかに、映像教材などを使って、中国の街や文化遺産、また人々の生活や風習などについても紹介するので、言葉を学ぶことを通して、中国文化へ理解を深めてもらいたい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回、予習、復習合わせて4時間程度の準備修学が必要。復習では、まず授業で指定された宿題をした後、教科書付属のCDを繰り返し聞いて、続けて自分で教科書の本文と文法解説の例文を朗読する。次に本文の日本語訳を見ながらそれをさらに中国語に訳す練習をする。

[授業計画]
1. 第1課「あなたも留学生ですか」単語、文法、会話文
2. 第1課「あなたも留学生ですか」練習問題、第2課「アルバイトする」単語、文法
3. 第2課「アルバイトする」会話文、練習問題
4. 第3課「レストランで」単語、文法、会話文
5. 第3課「レストランで」練習問題、第4課「カラオケに行く」単語、文法
6. 第4課「カラオケに行く」会話文、練習問題
7. 第5課「あなたは歌がうまい」単語、文法、会話文
8. 第5課「あなたは歌がうまい」練習問題、第6課「家族写真」単語、文法
9. 第6課「家族写真」会話文、練習問題
10. 第7課「シャツを買う」単語、文法、会話文
11. 第7課「シャツを買う」練習問題、前期の復習
12. まとめ
13. 作文、発表

科目名	中国語会話Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫　輝		

[成績評価方法]
授業での発表・課題40%、第1課～第7課のテスト60%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 授業中の発表、第1課～第7課のテスト

[教科書(ISBN)]
書籍名:しゃべっていいとも中国語2 著者名:陳淑梅 出版社名:朝日出版社 ISBN:9784255452296

[参考書(ISBN)]

科目名	中国語講読 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語の発音、基礎的な語彙と文法を習得する。
2.中国語の文章を、自分で辞書を引きながら翻訳できる。
3.文脈を把握して、文章全体の中で適切な翻訳ができる。
中国語の文章の初級から初中級程度の読解力を身に付けることを目標とする。

[授業概要]
ジョークによくあるパターンの一つとして、ジョークに登場するある言葉の常識的(一般的)な意味と、もう一つの意外な意味の落差に笑うというものがあります。
例:父「学校にいくのは好き？」子「学校に行くのは好き。帰るのはもっと好き。でも授業は嫌い。」
この場合、お父さんの「学校に行く」は学校生活全般を指し、子供の「学校に行く」は登校のみを指しています。ジョークを読む目的の第一はもちろん笑って楽しむことですが、翻訳するということを考えると、「学校に行く」という訳語をもともとの中国語の言葉(上学)から大きく外れない範囲にとどめながら、日本語としてもジョークが成立するようにうまく選ぶ必要があります。
このような楽しい工夫をしながら、中国語を読む練習をしましょう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
1.辞書を使って授業の準備をする。
2.毎回、予習復習を合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1. ジョーク 01～04
2. 語彙と文法のまとめ、可能補語など
3. ジョーク 05～08
4. 語彙と文法のまとめ、反語など
5. ジョーク 09～12
6. 語彙と文法のまとめ、謙語文など
7. ジョーク 13～16
8. 語彙と文法のまとめ、処置式文など
9. ジョーク 17～20
10. 語彙と文法のまとめ、助動詞など
11. ジョーク 21～24
12. 語彙と文法のまとめ、使役など
13. まとめ

科目名	中国語講読 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫　輝		

[成績評価方法]
授業中の発表30%、授業中実施のテスト70%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の発表、授業中実施のテスト

[教科書(ISBN)]
書籍名:中国語ジョークボックス 著者名:相原茂 出版社名:朝日出版社 ISBN:9784255451503

[参考書(ISBN)]

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭　東憲		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、挨拶や自己紹介などの基礎会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
本授業は初めて韓国・朝鮮語を学ぶ者を対象とする。
韓国・朝鮮語の文字であるハングルの読み方・書き方を覚え、基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、Lesson 1 基本母音
2. Lesson 2 子音①:平音
3. Lesson 2 子音②:激音、Lesson 2 子音③:濃音
4. Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音、日本語のハングル表記
5. 第1課 「私は日本人です」①
6. 第1課 「私は日本人です」②
7. 第2課 「日本人ではありません」①
8. 第2課 「日本人ではありません」②
9. 第3課 「それは何ですか」①
10. 第3課 「それは何ですか」②
11. 第4課 「約束があります」①
12. 第4課 「約束があります」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭　東憲		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:できる韓国語初級Ⅰ 新装版 著者名:李志映 出版社名:DEKIRU出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字の読み書きを基盤に基礎的な文法・文型を学習し、自己紹介などの基礎会話ができることを目指す。

[授業概要]
韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習・復習合わせて2時間程度すること。また、日頃から韓国に関連するメディア等の報道等に関心を持つこと。

[授業計画]
1. ガイダンス、Lesson 1 基本母音
2. Lesson 2 子音①:平音
3. Lesson 2 子音②:激音、Lesson 2 子音③:濃音
4. Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音、日本語のハングル表記
5. 第1課 「私は日本人です」①
6. 第1課 「私は日本人です」②
7. 第2課 「日本人ではありません」①
8. 第2課 「日本人ではありません」②
9. 第3課 「それは何ですか」①
10. 第3課 「それは何ですか」②
11. 第4課 「約束があります」①
12. 第4課 「約束があります」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後、解説によって達成度を確認する。授業に積極的に参加し、様々な発表を評価する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版　できる韓国語　初級 著者名:新大久保語学院 出版社名:アスク出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　性林		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、挨拶や自己紹介などの基礎会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
本授業は初めて韓国・朝鮮語を学ぶ者を対象とする。
韓国・朝鮮語の文字であるハングルの読み方・書き方を覚え、基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業前は、次の授業で学習する範囲の内容に目を通してください。
授業後は、学習内容の音声を聞いてスムーズに言えるまでリピート練習をしてください。また学習範囲の単語の意味（韓国語⇔日本語）が書けるようにしてください。（各回、2時間程度）

[授業計画]
1. オリエンテーション／Lesson1　基本母音
2.Lesson2　子音①　平音
3.Lesson2　子音②　激音、子音③　濃音
4.Lesson3　パッチム　／　Lesson4　合成母音、日本語のハングル表記
5.挨拶・第1課「私は日本人です」①
6. 第1課「私は日本人です」②
7. 第2課「日本人ではありません」①
8. 第2課「日本人ではありません」②
9. 第3課「それは何ですか」①
10. 第3課「それは何ですか」②
11. 第4課「約束があります」①
12. 第4課「約束があります」②／発表準備
13. 発表、フィードバック／学習の振り返り

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　性林		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
発表の後に個人、全体の総評とフィードバックを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:できる韓国語初級Ⅰ　新装版 著者名:李 志映 出版社名:アスク出版 ISBN:978-4866396798

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭　東憲		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、基礎的な日常会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
「朝鮮語Ⅰ－1」に引き続き、韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、第5課「会社はどこにありますか」①
2. 第5課「会社はどこにありますか」②
3. 第6課「週末は何をしますか」①
4. 第6課「週末は何をしますか」②
5. 第7課「そんなに遠くありません」①
6. 第7課「そんなに遠くありません」②
7. 第8課「いつ行きますか」①
8. 第8課「いつ行きますか」②
9. 第9課「釜山までどうやって行きますか」①
10. 第9課「釜山までどうやって行きますか」②
11. 第10課「何時からですか」①
12. 第10課「何時からですか」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭　東憲		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:できる韓国語初級Ⅰ 新装版 著者名:李志映 出版社名:DEKIRU出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
初級レベルの韓国・朝鮮語を読む、書く、聞く、話す能力を身につけ、簡単な日常会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
「朝鮮語Ⅰ－1」に引き続き、韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習・復習合わせて2時間程度すること。実際、韓国に行った時に活用できうる様々な場面の会話を身につけるように努力すること。

[授業計画]
1. ガイダンス、第5課「会社はどこにありますか」①
2. 第5課「会社はどこにありますか」②
3. 第6課「週末は何をしますか」①
4. 第6課「週末は何をしますか」②
5. 第7課「そんなに遠くありません」①
6. 第7課「そんなに遠くありません」②
7. 第8課「いつ行きますか」①
8. 第8課「いつ行きますか」②
9. 第9課「釜山までどうやって行きますか」①
10. 第9課「釜山までどうやって行きますか」②
11. 第10課「何時からですか」①
12. 第10課「何時からですか」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業の後、返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版　できる韓国語　初級1 著者名:新大久保語学院 出版社名:アスク出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　性林		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、基礎的な日常会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
本授業は「朝鮮語Ⅰ－1」を履修済みの者を対象とする。
「朝鮮語Ⅰ－1」に引き続き、韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業前は、次の授業で学習する範囲の内容に目を通してください。
授業後は、学習内容の音声を聞いてスムーズに言えるまでリピート練習をしてください。また学習範囲の単語の意味(韓国語⇔日本語)を書けるようにしてください。(各回、2時間程度)

[授業計画]
1. オリエンテーション／第5課「会社はどこにありますか」①
2.第5課「会社はどこにありますか」②
3.第6課「週末は何をしますか」①
4.第6課「週末は何をしますか」②
5.第7課「そんなに遠くありません」①
6. 第7課「そんなに遠くありません」②
7. 第8課「いつ行きますか」①
8. 第8課「いつ行きますか」②
9. 第9課「釜山までどうやって行きますか」①
10. 第9課「釜山までどうやって行きますか」②
11. 第10課「何時からですか」①
12. 第10課「何時からですか」②／発表準備
13. 発表、フィードバック／学習の振り返り

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　性林		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
発表の後に個人、全体の総評とフィードバックを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:できる韓国語初級Ⅰ　新装版 著者名:李 志映 出版社名:アスク出版 ISBN:978-4866396798

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	朝鮮語会話Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭　東憲		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の「聞く」、「話す」力をより発展させ、旅行や日常の場面において自分の言いたいことをある程度表現できるようになることを目指す。

[授業概要]
本授業では、「朝鮮語Ⅰ－1」および「朝鮮語Ⅰ－2」よりもさらに高い難易度の韓国・朝鮮語の表現を学習する。また、これらの表現を使ったペア・グループ活動などを通して、基礎会話表現の幅を広げる練習を行い、より多様な場面で応用できる能力を習得する。
ハングル能力検定試験(6月・11月、11月は須磨キャンパスにて受験可)の受験を勧める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、復習
2 高度なレベルの自己紹介①
3 高度なレベルの自己紹介②
4. 敬語表現を使う①
5. 敬語表現を使う②
6. 旅行や交通について①
7. 旅行や交通について②
8. 確認を行う
9. 食事について
10. 希望・要望を伝える①
11. 希望・要望を伝える②
12. 復習
13. まとめ

科目名	朝鮮語会話Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭　東憲		

[成績評価方法]
試験（50%）、小テスト・課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:できる韓国語初級Ⅰ 新装版 著者名:李志映 出版社名:DEKIRU出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語講読 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭　東憲		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
　韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型の学習を通じ、基礎的な文章の読解、作文ができることを目指す。

[授業概要]
　韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型の学習と簡単な文章の読解、作文の練習を行う。 韓国・朝鮮語の読解力、表現力向上と共に、言語を支えている発想の仕組みについても考え、文化や社会も含めて理解する。
ハングル能力検定試験(6月・11月、11月は須磨キャンパスにて受験可)の受験を勧める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. 第16課　プレゼントを買うのでお金をたくさん使います①
2. 第16課　プレゼントを買うのでお金をたくさん使います②
3. 第17課　結婚式に何を着ていけばいいですか①
4. 第17課　結婚式に何を着ていけばいいですか②
5. まとめ
6. 第18課　食事でも一緒にしましょうか①
7. 第18課　食事でも一緒にしましょうか②
8. 第19課　写真をちょっと撮っていただけますか①
9. 第19課　写真をちょっと撮っていただけますか②
10. まとめ
11. 第20課　自転車に乗ることができますか①
12. 第20課　自転車に乗ることができますか②
13. まとめ

科目名	朝鮮語講読 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭　東憲		

[成績評価方法]
試験（50%）、小テスト・課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:できる韓国語初級 I 新装版 著者名:李志映 出版社名:DEKIRU出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	哲学	前期	2 単位
サブタイトル	西洋哲学入門	講義	
担当者	田中　美紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	ミニレポート提出	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
西洋哲学の流れを追いながら、哲学の基礎的な概念や専門用語をおさえ、さまざまな哲学者たちの思想を学び、真、善、幸福について自ら考え、理想を持って生きていく力を身につけることができる。

[授業概要]
哲学(フィロソフィア)とは古代ギリシャ語で「知を愛する」という意味である。本授業では、受講生自身が、人間は知を愛し、知を求める存在であることを認識し、西洋の主な哲学者たちの思想を理解し、人間の存在の意義について、さまざまなアプローチをとりながら真摯に考える機会を提供する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回の授業の予習・復習に2時間程度。

[授業計画]
1. 哲学とは？
2. 古代哲学:ソクラテス以前、ソクラテス
3. プラトン:イデア論、魂と肉体
4. アリストテレス: 四原因説、幸福とは？
5. エピクロスとストア派
6. 中世哲学
7. 17世紀の哲学:デカルト、ホッブズ、ロック
8. 18世紀の哲学①:ルソー、カント
9. 18世紀の哲学②:カントの道徳哲学
10. 功利主義:ベンサム、J.S.ミル
11. 19世紀から20世紀の哲学
12. 現代哲学
13. 総括

科目名	哲学	前期	2 単位
サブタイトル	西洋哲学入門	講義	
担当者	田中　美紀子		

[成績評価方法]
ミニレポート(40%)、期末の筆記試験(60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内あるいはKISSを通して。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度、ミニレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度、ミニレポート、筆記試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業態度、ミニレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:ミニレポート、筆記試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:ミニレポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:図説・標準哲学史 著者名:貫成人／著 出版社名:新書館 ISBN:9784403250934

[参考書(ISBN)]
書籍名:よくわかる哲学・思想 著者名:納富　信留 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623084104
書籍名:新しく学ぶ西洋哲学史 著者名:荻野　弘之 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623094042
書籍名:西洋哲学史 著者名:熊野　純彦 出版社名:岩波書店 ISBN:9784004310075
書籍名:西洋哲学史 著者名:熊野　純彦 出版社名:岩波書店 ISBN:9784004310082
書籍名:西洋哲学史 著者名:今道友信 出版社名:講談社学術文庫 ISBN:9784061587878

科目名	ドイツ語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	市川　智子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
簡単な日常会話ができることを目指します。

[授業概要]
この授業では、初めてドイツ語を学ぶ人を対象に、「発音・文法・会話」の基礎を学習していきます。またドイツ語圏の文化事情も紹介し、異文化理解を深めることも重要視します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業前は、次の授業で学習する範囲の内容に目を通してください。
授業後は、学習内容の音声を聞いてスムーズに言えるまでリピート練習をしてください。また学習範囲の単語の意味(ドイツ語⇔日本語)を書けるようにしてください。(各回、2時間程度)

[授業計画]
1. オリエンテーション／ドイツ語のアルファベート、つづりと発音、あいさつ
2.Lektion1　主語になる人称代名詞、動詞の現在人称変化(1)
3.Lektion1　重要動詞(sein, haben)の現在人称変化、語順(定動詞の位置)、自己紹介
4.Lektion2　名詞の性、冠詞・名詞の格変化
5.Lektion2　疑問代名詞wer, wasの格変化、並列の接続詞 、職業は何ですか
6.復習
7. Lektion3　動詞の現在人称変化(2)、命令形、非人称のes
8. Lektion3　名詞の複数形、人称代名詞の3格と4格、3格と4格の語順、趣味は何？
9. Lektion4　冠詞類、keinとnichtの使い方
10. Lektion4　否定疑問文の答え方、パン屋で買い物
11. Lektion5　前置詞の格支配、前置詞と定冠詞の融合形
12. Lektion5　前置詞の熟語表現、どう行けばいいですか、発表準備
13. 発表、フィードバック　／　学習の振り返り

科目名	ドイツ語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	市川　智子		

[成績評価方法]
試験（60%）、授業内評価（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
発表の後に個人、全体の総評とフィードバックを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:アー・ツェット　楽しく学ぶドイツ語(Deutsch A-Z) 著者名:小野　寿美子、中川　明博 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4255254883

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	ドイツ語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	市川　智子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
総合的なドイツ語能力の基礎をつくります。

[授業概要]
前期に引き続き、ドイツ語の世界の更なる理解と興味を深めます。これまでに学習した知識の定着を図りながら、より多彩な日常会話表現を学んでいきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業前は、次の授業で学習する範囲の内容に目を通してください。
授業後は、学習内容の音声を聞いてスムーズに言えるまでリピート練習をしてください。また学習範囲の単語の意味(ドイツ語⇔日本語)を書けるようにしてください。(各回、2時間程度)

[授業計画]
1. オリエンテーション ／ Lektion6　話法の助動詞
2.Lektion6　未来形、従属の接続詞と副文
3.Lektion6　 時刻の表現、誕生日おめでとう
4.Lektion7　形容詞の格変化
5.Lektion7　形容詞・副詞の比較、レストランで
6. Lektion8　 分離動詞・非分離動詞
7. Lektion8　zu不定詞、週末の予定は？
8. Lektion9　動詞の3基本形
9. Lektion9　 現在完了形(助動詞haben&seinを使う動詞)
10.Lektion9　週末は何をしたの?
11. Lektion10　 過去形表現(2)
12. Lektion10　再帰代名詞と再帰動詞、発表準備
13. 発表、フィードバック　／　学習の振り返り

科目名	ドイツ語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	市川　智子		

[成績評価方法]
試験（60%）、授業内評価（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
発表の後に個人、全体の総評とフィードバックを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:アー・ツェット　楽しく学ぶドイツ語(Deutsch A-Z) 著者名:小野　寿美子、中川　明博 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4255254883

[参考書（ISBN）]

科目名	日本国憲法	前期	2 単位
サブタイトル	日本国憲法	講義	
担当者	豊福　一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
日本国憲法の基礎的理解

[授業概要]
日本国憲法の基礎的な内容を条文や判例、現実の社会問題に照らして解説します。
また、余剰時間が生じた場合、理解力の定着のため公務員試験等の過去問の検討も行います。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教科書に目を通し,関連するニュースに注意しておくこと。

[授業計画]
【対面授業】※状況によっては遠隔授業

1. 国民主権と人権・個人の尊重
2. 法の下の平等
3. 精神の自由
4. 人身の自由
5. 経済活動の自由
6. 社会権
7. 参政権と義務
8. 立法権
9. 行政権
10. 司法権／地方自治
11. 平和主義(1)
12. 平和主義(2)・象徴天皇制
13. まとめ

科目名	日本国憲法	前期	2 単位
サブタイトル	日本国憲法	講義	
担当者	豊福　一		

[成績評価方法]
試験（100%）による評価を基本とする。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験については、対面授業の場合は講義時に、遠隔授業の場合はmanabaに提示し説明します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:試験（100%）による評価を基本とする。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験（100%）による評価を基本とする。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験（100%）による評価を基本とする。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験（100%）による評価を基本とする。

[教科書（ISBN）]
書籍名:新時代の法学・憲法 著者名:山田勉・笹田哲男 出版社名:建帛社 ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	フランス語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	廣岡　江梨子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
フランス語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
フランス語の発音と文法の基礎を学ぶとともに、フランスの文化にも触れます。
フランス語習得の第一歩である発音は慣れが必要なので、毎回少しずつ規則を覚えながら繰り返し読むことにより、無理なく定着させていきます。文法としては、名詞や形容詞の扱い方、動詞の活用などを学び、フランス語の基本的な仕組みをしっかりと理解していきます。また、実際にフランス人と話す時に使えるフレーズを覚えて、簡単な会話ができるようにします。基礎を身に付けることが目的なので授業はゆっくり進めますが、みなさんの理解度に応じて応用にも挑戦できるようにします。
言葉の背景にある文化を知ってもらうため、フランスの食べ物やファッション、映画、本などを紹介し、フランスでの生活についても折に触れて話していきたいと思います。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度。重要な事項については覚えるように指示しますので、それを中心に各自復習しておいてください。練習問題を宿題にすることもあります。

[授業計画]
1. アルファベット、あいさつ、自己紹介／フランスの基礎知識(1)国土、地名
2. 主語人称代名詞(私は、君は、彼は…)／発音の基本／フランスの基礎知識(2)文化、社会
3. 動詞etre(～です)／国籍や職業の言い方
4. 名詞の性と数、不定冠詞、定冠詞／「ここに～があります」「これは～です」
5. 形容詞の性と数、形容詞と名詞の組み合わせ
6. 動詞avoir(～を持っている)／家族の言い方
7. 第一群規則動詞:-er動詞／「話す」、「住む」、「～が好き」…
8. 否定文の作り方、指示形容詞(この、その…)、疑問文の作り方、応答の仕方
9. 動詞aller(行く)とvenir(来る)、前置詞と定冠詞の縮約、命令文
10. 所有形容詞(私の、君の、彼の…)
11. 強勢形人称代名詞、疑問形容詞(どの～)、数詞／年齢や好きなものの聞き方、答え方
12. いろいろな動詞を使った文を読む、書く
13. まとめ

科目名	フランス語Ⅰ －1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	廣岡　江梨子		

[成績評価方法]
授業態度50%、期末課題50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
口頭の小テストはその場で結果を伝え、正解するまで何度も挑戦できるようにします。記述の課題は結果とともにヒントを書き込んで返却し、それをもとに質問を受け付けます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:

[教科書(ISBN)]
書籍名:ピエールとユゴー 著者名: 出版社名:白水社 ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	フランス語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	松田　真里		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
現地のレストランやブティックなどで簡単なやり取りができるレベルを目指す。

[授業概要]
前期に引き続き、フランス語の発音と基礎文法を学び、フランスについての知識を身に付けます。
発音については、繰り返し読む練習をして無理なく定着させていきます。文法としては、いろいろな動詞の活用に加え、目的語人称代名詞などを学び、初等文法を完成させます。また、実際にフランス人と話す時に使えるフレーズを覚えて、簡単な会話ができるようにします。基礎を身に付けることが目的なので授業はゆっくり進めますが、みなさんの理解度に応じて応用にも挑戦できるようにします。
言葉の背景にある文化を知ってもらうため、フランスの食べ物やファッション、映画、本などを紹介し、フランスでの生活についても折に触れて話していきたいと思います。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度。重要な事項については覚えるように指示しますので、それを中心に各自復習しておいてください。練習問題を宿題にすることもあります。

[授業計画]
1. フランス語Iの復習(1)名詞、形容詞
2. フランス語Iの復習(2)動詞
3. 部分冠詞、第2群規則動詞:-ir動詞
4. 動詞vouloir(～したい)とpouvoir(～できる)
5. 非人称構文／時刻の聞き方、答え方
6. 直接目的語人称代名詞(私を、君を、彼を…)
7. 間接目的語人称代名詞(私に、君に、彼に…)
8. 代名動詞 、いろいろな動詞の活用
9. 近接未来(～しようとしている)、近接過去(～したばかりだ)／注文の仕方
10. 中性代名詞、比較級と最上級
11. 時制について／会話の練習
12. 読解の練習
13. まとめ

科目名	フランス語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	松田　真里		

[成績評価方法]
授業態度50%、期末課題50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題実施後、解答を提示し説明します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	歴史Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	日本の地域史（天野山金剛寺からみる日本中世前期の社会）	講義	
担当者	永野　弘明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
(1)天野山金剛寺とその寺辺地域の歴史を中央の政治動向の影響を踏まえて理解する。
(2)金剛寺の事例を通して地域に固有な歴史を理解する。

[授業概要]
本講義では、中学・高校の教科書に特徴的な政治史・通史とは異なり、地域の歴史に焦点をあてて日本中世の社会について学ぶ。
本講義で扱う天野山金剛寺は河内長野市天野町に所在し、南北朝期には南北両朝の天皇・院の居所となったことで有名である。現在、金剛寺には5件の国宝と29件の重要文化財が存在するが、その大半は中世に作成されたものであり、中世文書も豊富に伝来する。そのため、地域史や寺院史を学ぶのに適した事例である。加えて、単なる地域史に留まらない側面もある。例えば、金剛寺の主な経済基盤である寺辺領天野谷の形成は、治承・寿永の内乱（源平合戦）や鎌倉幕府の成立と密に連動しながら展開したものであった。
そこで本講義では、日本中世における金剛寺とその寺辺領天野谷の歴史的展開を、中央の政治動向、特に治承・寿永の内乱（源平合戦）などの影響も踏まえて概説し、日本中世の社会について考えてみたい。
なお、受講者の関心にもとづき、適宜神戸市内の史跡や歴史事象についても紹介する予定である。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
中学・高校の日本史の教科書や講義で紹介する文献を読んで下さい。復習は講義での説明事項や配布資料をノートにまとめるなどして理解を深め、疑問点の抽出やその疑問に対する自分の考えをまとめてみましょう。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. 導入・ガイダンス ―地域の歴史を学ぶ意義―
2. 中世の河内長野地域と金剛寺
3. 金剛寺と寺辺領の形成① ―僧阿観と源貞弘―
4. 金剛寺と寺辺領の形成② ―治承・寿永の内乱（源平合戦）の展開―
5. 金剛寺と寺辺領の形成③ ―治承・寿永の内乱（源平合戦）と金剛寺―
6. 金剛寺と寺辺領の形成④ ―経済基盤・寺辺領天野谷の確立―
7. 鎌倉前中期の金剛寺と寺辺領① ―天野谷の経営と荘官―
8. 鎌倉前中期の金剛寺と寺辺領② ―天野谷をめぐる寺僧と女院女房覚阿の対立―
9. 鎌倉前中期の金剛寺と寺辺領③ ―寺外勢力の乱入と承久の乱―
10. 鎌倉後期の金剛寺① ―仏知房阿闍梨清弘の登場―
11. 鎌倉後期の金剛寺② ―金剛寺と興福寺大乗院―
12. 鎌倉後期の金剛寺③ ―百姓らの活動と金剛寺―
13. まとめ ―金剛寺からみる日本中世前期の社会―

科目名	歴史Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	日本の地域史（天野山金剛寺からみる日本中世前期の社会）	講義	
担当者	永野　弘明		

[成績評価方法]
授業中の課題（50%）、レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の講義内容に関する質問・感想を提出してもらう。次の講義でその質問・感想を紹介し、講師が返答・コメントを行う。
提出されたレポートへは後日コメントを付す。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題
レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業中の課題
レポート課題

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	歴史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	牛根　靖裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	講義・動画・文章などから主体的に理解を獲得し、それを文章としてアウトプットする。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
機械工業化する以前の、私たちが意識する伝統的な東アジアの文化をがどのような社会と生産形態によって成り立っていたのか、その歴史的背景を理解する。

[授業概要]
近世東アジアの社会生活や伝統文化を成り立たせた農業史・産業史・経済史に関して、各時代や地方を代表する幾つかの農作物や生産品の歴史を通じて概観します。
近年、欧米先進諸国の経済的低迷に対して、アシ?ア経済、とりわけ中国経済の成長は著しいものか?あります。それらは全て近年に突然誕生したもので?はなく、長い生産活動の歴史的な発展によって産み出されたものです。いま東アシ?ア各地の産業や社会か?と?のようにして成り立ったのかを意識しつつ、これまで?の歴史的経緯を理解することによって、現代東アシ?アの諸相を考える糧としてもらいたい。
授業ではDVD等の視聴覚教材も利用しながら、歴史的な概要の理解を促しつつ、受講生にはその社会的な影響について各自で考察してもらいます。考察したことを毎回授業後にコメントをまとめ、提出していただきます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
「教養科目」のため、かならずしも厳格な予習・復習は求めません。ただし扱う時代・対象は多岐にわたるので、普段からニュースや読書を通じて幅広く世界のニュースに対してアンテナをはっておいて下さい。授業では扱う時代・対象は多岐にわたります。予備知識として、中学校の歴史、高校世界史の教科書や学習漫画でもいいので、関連する時代について予習・復習してもらうと効率よく学習ができると思います。
また毎回授業後にコメントをまとめ、提出することて?、授業内容の整理を自分なりに行ないます。

[授業計画]
1. ガイダンス・イントロダクション
2. 食糧の社会史　−コメとイモ−
3. 食糧の社会史　−乳製品と小麦−
4. 食糧の社会史　−水−
5. 物流の社会史　−馬−
6. 物流の社会史　−運河・橋梁−
7. 物流の社会史　−海運−
8. 交易品の社会史　−書籍−
9. 交易品の社会史　−香辛料−
10. 交易品の社会史　−茶−
11. 手工業の社会史　−絹−
12. 手工業の社会史　−磁器−
13. 手工業の社会史　−ワタ−
授業の実施状況によっては変更することもあり得ます。

科目名	歴史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	牛根　靖裕		

[成績評価方法]
授業参加度（70%） 期末レポート（30%）
・授業参加度は、毎回授業時に課す「コメント」によって評価します。「コメント」には各回授業のテーマについて、各自の授業内容のまとめと考察を示してもらいます。
・授業への出席（参加）が授業実施回数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象とない場合があります。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
「コメント」に書かれた内容について、重要な質問や補足説明が必要なものについては次回授業において反応する予定です。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:食べものから学ぶ世界史 : 人も自然も壊さない経済とは? 著者名:平賀緑 出版社名:岩波書店 ISBN:9784005009374
書籍名:食の人類史 : ユーラシアの狩猟・採集、農耕、遊牧 著者名:佐藤洋一郎 出版社名:中央公論新社 ISBN:9784121023674
書籍名:人とミルクの1万年 著者名:平田昌弘 出版社名:岩波書店 ISBN:9784005007905
書籍名:中国食物史 著者名:篠田統 出版社名:柴田書店 ISBN:4388251003
書籍名:中国文化55のキーワード 著者名:武田雅哉, 加部勇一郎, 田村容子編著 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623076536
書籍名:世界の絹織物文化図鑑 : 東洋から西洋へ、民族が紡いだ驚異の糸の物語 著者名:フィリッパ・スコット著 ; 鈴木志佐子, 日置久子, 古川尚子訳 出版社名:柊風舎 ISBN:9784903530116
書籍名:中国茶と茶館の旅 著者名:平野久美子, 布目潮?, 周渝著 出版社名:新潮社 ISBN:9784106020476

科目名	栄養教育実習	前期	1 単位
サブタイトル	実践力のある栄養教諭を目指して	実習	
担当者	宮本　晃郎、宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
各学校での教育実習を通じて、豊かな「食に関する指導」と確かな「学校給食の管理」についての実践力を身に付けることができる。

[授業概要]
学校現場で校長や教頭、栄養教諭、校務担当教員等が、必要な講話を行い、栄養教諭としての「観察・参加・実習」の場を設定することによって、実践力が高まるように指導します。
また、給食指導をはじめ、生徒指導や健康指導等の校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図るために今日的な教育課題にも関心がもてるように指導します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
栄養教育指導法や栄養教育学習指導案の作成、人権・学級経営・生徒指導等の児童生徒の学習指導に必要な事項について、その概要を復習すること。
栄養教諭の業務内容を踏まえて、次時で取り上げる内容について関係図書を読んだり、キーワード検索したりするなど、自分なりに予習いること。

[授業計画]
学校実習（1週間）
・管理職の講話、校務担当教職員の講話と指導
・実習校の学級担任・教科担任の指導と観察実習
・栄養担当職員の指導と指導案の作成及び実践授業
・栄養教育指導の実際
・大学教員、実習校教職員の指導等
・研究授業と反省
・実習のまとめ
事後指導（3単位時間）
・実習後の課題の整理等

科目名	栄養教育実習	前期	1 単位
サブタイトル	実践力のある栄養教諭を目指して	実習	
担当者	宮本　晃郎、宮垣　覚		

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習校からの評価資料（40%）、実習記録等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題については事後指導の中で意見交換ならびに解説をおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習状況
実習校からの評価資料
実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:実習状況
実習校からの評価資料
実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習状況
実習校からの評価資料
実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習状況
実習校からの評価資料
実習記録等

[教科書（ISBN）]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	栄養教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル	有意義な栄養教育実習のために	演習	
担当者	宮本　晃郎、宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・栄養教育実習に参加するに当たり、教育実習の目的・意義とともに、授業力・指導力・教師力・学校力の違いとそれぞれの重要性を理解することができる。
・有意義な教育実習ができるように基礎・基本の知識や技能を確かめるとともに、最新の学校現場の情報をもとに、教職への意識と自覚を高められるようにする。

[授業概要]
学校現場において食育推進や給食管理を行う校長や教頭、学級担任としての経験を有する教員が、教育実習の目的・意義、教育実習への心構え、授業の実際、学習指導案の書き方、実習校での活動、実習記録のとり方、教育課題への対応の仕方等について指導します。また、実習後の課題の整理などを行い、教育委員会事務局での経験も生かして、具体的な対応について指導します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義について予習・復習を行うこと
（栄養教育指導法、栄養教育に関する学習指導案の作成、学習指導と生徒指導の関連、特別支援教育の視点と合理的配慮、人権教育やキャリア教育等の多様な課題教育との関連について、その概要を復習しておくこと）
（教育実習の実際について学び、自分自身が特に実践してみたいことや、挑戦してみたい食育の授業づくりについての予習をしておくこと）

[授業計画]
（事前指導）
2025年４月
1. 教育実習の意義と目的・依頼と手続き（宮垣・教職支援センター）
2025年11～12月
2. 教育実習報告会の聴講①現場での実際の動き（宮垣）
3. 教育実習報告会の聴講②実習前の諸準備（宮垣）
2026年１～２月
4. 教育実習の心得・期待と不安（宮本）
5. 子供を取り巻く食育の課題（宮本）
6. 生徒指導と関係機関との連携（宮本）
7. 特別支援教育と人権教育（宮本）
8. 授業づくりの基礎・基本（宮本）
9. 教材研究と学習指導案づくり（宮本）
10. 授業実践と授業評価・学習評価（宮本）
11. これからの食育推進の可能性（宮本）
2026年３月
12. 直前指導①衛生管理の徹底（宮垣）
13. 直前指導②総まとめと事務手続き（宮垣・教職支援センター）

（事後指導）
2026年11～12月
1. 実習後の情報交換会（宮垣）
2. 課題の整理・最新教育課題（宮垣）

※集中講義の日程は、大学の行事等により変更する場合があります。

科目名	栄養教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル	有意義な栄養教育実習のために	演習	
担当者	宮本　晃郎、宮垣　覚		

[成績評価方法]
グループワーク[ディスカッション等取組姿勢](50%)
レポート課題[実習ノート含む](50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題やレポートについては、事前指導と事後指導の中で意見交換や解説を行う。
紹介すべき内容は全体に、課題のある内容については個別にフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク[ディスカッション等取組姿勢]
レポート課題[実習ノート含む]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク[ディスカッション等取組姿勢]
レポート課題[実習ノート含む]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:グループワーク[ディスカッション等取組姿勢]
レポート課題[実習ノート含む]

[教科書(ISBN)]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	介護等体験	後期～2026年度 後期	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める	実習	
担当者	宮本　晃郎、上野　昌稔、田中　裕一		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・義務教育に従事予定の教員志望者が、「個人の尊厳及び社会連帯の理念」に関する認識を深めることができる。
・障がい者や高齢者との関わり方を学び、具体的な体験を通して「思いやりの心・共生の精神」の大切さを実感することができる。

[授業概要]
①特別支援学校の校長や教員、社会福祉施設での勤務経験を有している者が、事前指導として介護等体験の意義や基本的な心構え、障がい者や高齢者等との具体的な関わり方などについて指導します。
②文部科学省や教育委員会（兵庫県・神戸市）での勤務経験を有している者が、特別支援教育の概要や社会福祉の概要として、それぞれの重要性と今日的な課題、多様な連携・連帯について指導します。実際の介護等体験については、特別支援学校・社会福祉施設等で、当該職員の指導を受けながら、障がい者・高齢者等とのよりよい関わり方について、体験を通して学びます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
　人権教育や特別支援教育、社会福祉施設等について、予習・復習をすること。

[授業計画]
事前指導　※一部を除きメディア授業で実施
1. オリエンテーション……・自由と不自由・多様な子供たち・介護等体験の成立背景と意義等（宮本、教職支援センター）
2. 特別支援教育の概要……・特別支援教育が求められた背景・特別支援教育における現代的諸課題（上野）
3. 特別支援学校の教育……・特別支援学校の教育の特色・障害種別における特別支援学校の教育課程と教育内容（上野）
4. 障害のある児童生徒との関わり方……・主に知的障害、肢体不自由のある児童生徒との関わり方の実際と留意点（上野）
5. 発達障害のある人の特徴と関わり方……・自閉症スペクトラム・注意欠如 多動症・限局性学習症・その他（田中）
6. 障害者施設等の現況……・障害者施設の現状と対応の考え方・高齢者施設を含む社会福祉の動向（田中）
7. 総まとめ及び申請手続き説明会……【対面授業】オリエンテーション （宮本、教職支援センター）

現場体験実習
・社会福祉施設等での体験実習（5日間）
・特別支援学校での体験実習（2日間）

事後指導
・まとめと反省（宮本・教職支援センター）

科目名	介護等体験	後期～2026年度 後期	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める	実習	
担当者	宮本　晃郎、上野　昌稔、田中　裕一		

[成績評価方法]
実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出されたレポートにおいて、卓越した内容など特筆すべきことは事後の学習に生かす。
課題のある内容については、全体として再確認したり、個別に助言したりする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:新フィリア 著者名:著者名１ 出版社名:ジアース教育新社 ISBN:9784863715226
書籍名:よくわかる社会福祉施設　―教員免許志願者のためのガイドブック （第6版） 著者名:増田　雅暢（代表） 出版社名:社会福祉法人全国社会福祉協議会 ISBN:9784793514586

[参考書（ISBN）]

科目名	学校観察実習A	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校での体験実習とその活動記録を作成し、体験の反省と試行を行いながら、児童生徒との関わり方を学び、教師を目指しての実践力の向上と教師観の構築を図ることができるようになる。
主に基礎的な学習を目指します。

[授業概要]
神戸市をはじめ、各市町で実施されている学校ボランティア事業と連携し、学校現場で教職員から指導を受けながら、児童生徒との関わり方を学び、児童生徒理解力や実践的指導力を身につけます。どうしても教師になりたいという希望を持っており、週に1日か半日の空き時間のある学生が受講可能です。
また、適宜、説明会・個人面談を実施し、大学においても学校現場での教員経験のある者が、その経験を生かして具体的な対応を指導助言します。

【履修にあたっての連絡事項】
「学校観察実習A」の履修を考えている学生は、事前に動画（KISSシステムの掲示「教職支援センターからのお知らせ」を参照）を視聴したうえ、前期の履修修正期間が終わるまでに教職支援センターへ来室して担当教員による面談を必ず受けてください。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各教科指導法の概要・人権教育・学級経営・生徒指導等、学校現場で児童生徒の指導に必要な事項を中心に、可能な範囲で予習・復習をしながら受講してください。

[授業計画]
・オリエンテーション
・面接による意思確認（個人面談）
・学校現場での活動（5月末から開始、週1回程度）
・中間報告と指導助言（個人面談）
・学校現場での活動（週1回程度）
・中間報告と指導助言（必要に応じて個人面談）
・まとめの報告と指導助言(個人面談)

科目名	学校観察実習A	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
活動時間数（50%）、取組姿勢（20%）、実習記録等（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
個人面談のなかで中間及びまとめの報告など意見交換や指導助言を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育1-3／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-3／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／他者と協力して行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	学校観察実習B	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校での体験実習とその活動記録を作成し、体験の反省と試行を行いながら、児童生徒との関わり方を学び、教師を目指しての実践力の向上と教師観の構築を図ることができるようになる。
主に基礎的な学習を目指します。

[授業概要]
神戸市をはじめ、各市町で実施されている学校ボランティア事業と連携し、学校現場で教職員から指導を受けながら、児童生徒との関わり方を学び、児童生徒理解力や実践的指導力を身につけます。強い教師志望を持ち、週に1日か半日の空き時間があり、学校観察実習Aを修得した学生が受講可能です。
また、適宜、説明会・個人面談を実施し、大学においても学校現場での教員経験のある者が、その経験を生かして具体的な対応を指導助言します。

【履修にあたっての連絡事項】
・「学校観察実習B」を履修するためには、「学校観察実習A」を修得している必要があります。初めて「学校観察実習」の授業科目を履修する場合は、「学校観察実習A」を履修してください。（履修にあたっては必ず「学校観察実習A」のシラバスを確認してください。）
・「学校観察実習B」を履修する学生は、前期の履修修正期間が終わるまでに教職支援センターへ来室して担当教員による面談を必ず受けてください。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各教科指導法の概要・人権教育・学級経営・生徒指導等、学校現場で児童生徒の指導に必要な事項を中心に、可能な範囲で予習・復習をしながら受講してください。

[授業計画]
・オリエンテーション
・面接による意思確認（個人面談）
・学校現場での活動（5月末から開始、週1回程度）
・中間報告と指導助言（個人面談）
・学校現場での活動（週1回程度）
・中間報告と指導助言（必要に応じて個人面談）
・まとめの報告と指導助言(個人面談)

科目名	学校観察実習B	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
活動時間数（50%）、取組姿勢（20%）、実習記録等（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
個人面談のなかで中間及びまとめの報告など意見交換や指導助言を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／他者と協力して行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	学校観察実習C	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校での体験実習とその活動記録を作成し、体験の反省と試行を行いながら、児童生徒との関わり方を学び、教師を目指しての実践力の向上と教師観の構築を図ることができるようになる。
主に基礎的な学習を目指します。

[授業概要]
神戸市をはじめ、各市町で実施されている学校ボランティア事業と連携し、学校現場で教職員から指導を受けながら、児童生徒との関わり方を学び、児童生徒理解力や実践的指導力を身につけます。どうしても教師になりたいという希望を持っており、週に1日か半日の空き時間のある学生が受講可能です。
また、適宜、説明会・個人面談を実施し、大学においても学校現場での教員経験のある者が、その経験を生かして具体的な対応を指導助言します。

【履修にあたっての連絡事項】
・「学校観察実習C」を履修するためには、「学校観察実習A・B」を修得している必要があります。初めて「学校観察実習」の授業科目を履修する場合は、「学校観察実習A」を履修してください。（履修にあたっては必ず「学校観察実習A」のシラバスを確認してください。）
・「学校観察実習C」を履修する学生は、前期の履修修正期間が終わるまでに教職支援センターへ来室して担当教員による面談を必ず受けてください。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各教科指導法の概要・人権教育・学級経営・生徒指導等、学校現場で児童生徒の指導に必要な事項を中心に、可能な範囲で予習・復習をしながら受講してください。

[授業計画]
・オリエンテーション
・面接による意思確認（個人面談）
・学校現場での活動（5月末から開始、週1回程度）
・中間報告と指導助言（個人面談）
・学校現場での活動（週1回程度）
・中間報告と指導助言（必要に応じて個人面談）
・まとめの報告と指導助言(個人面談)

科目名	学校観察実習C	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
活動時間数（50%）、取組姿勢（20%）、実習記録等（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
個人面談のなかで中間及びまとめの報告など意見交換や指導助言を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育1-3／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-3／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／他者と協力して行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル	教育課程は学校力を結集したもの。カリキュラム・マネジメントの主役は教職員一人一人	講義	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	2分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
最新の教育課題について事例研究を通して学び、今日的課題への対応について理解できるようになる。
かつてないほどに「教育課程」が注目されている背景をさぐり、「教育課程」とは何かを具体的に整理できるようになる。
教育課程の基準となる学習指導要領について、戦後の教育改革から現在に至る改訂の変遷を大まかにつかみ、未来の学校教育のあり方を考えることができる。
また、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、実際の学校現場における教育課程編成のプロセスを学び、教育課程の創造的編成の基礎を習得できるようになる。

[授業概要]
教育課程には、教育目標や年間学習指導計画、週時程表、生活時間帯など数多くの内容が含まれています。教育課程は、各学校が独自に編成すべきものでsyが、公教育を担っている性格上、守るべき水準があります。しかし、それぞれの学校には、歴史的な経緯や地域性の違いだけでなく、学校規模や施設環境などの違いもあり、何よりも、克服すべき課題が異なります。この課題を克服しようと努力していく過程で、各学校の特色ある教育活動は生まれてくる。
　現場経験(校長、教諭)や教育委員会事務局、教育研修所等の経験のある者が、学習指導要領の改訂の変遷を概観するとともに、今日的な教育課題について事例をもとに、各学校が行う教育課題の克服に向けた大きな計画が「教育課程」にあることを指導します。
　また、教育課程の実施状況に加えて、学校評価や学校運営協議会(コミュニティ・スクール構想)も幅広く学び、教育課程全般の基礎について指導します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回　予習・復習合わせて2時間程度)。
「学習指導要領(平成29年告示)解説・総則編」を中心に「教育課程」の概要を調べておいてください。
授業後は、本時の学習内容について、配付資料や学習指導要領解説・総則編等を参考に復習しておいてください。

[授業計画]
1. 教育課程論　～　ガイダンス、目標　～
2. 教育課程　～　学習指導要領総則より、内容、目的、方法　～
3. 戦前、戦後の教育課程の歩み　～ 戦前戦後の比較、学習指導要領の変遷　～
4. 現行学習指導要領のポイント　～ 主体的対話的で深い学び、令和の日本型学校教育～
5. 教育課程と「教科書の変遷」
6. GIGAスクール構想　～　デジタル化の目的、期待されること　～
7. 特色ある教育活動　～　各学校の特色ある教育活動・学校行事　～
8. 教育課程と教育環境　～　学校・学級、　LHRの工夫　～
9. 健全育成等への取組　～　安全教育、学校規模や生徒の課題等と生徒指導　～
10.「新たな学校評価」 ～ 実施状況調査、「新たな学校評価」のあり方と教育課程編成の関係　～
11.「カリキュラム・マネジメント」 ～　創造的実践、教科横断的な指導、課題　～
12.「社会に開かれた教育課程」～　コミュニティスクール　～
13. まとめ、カリキュラム・マネジメントについて復習

科目名	教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル	教育課程は学校力を結集したもの。カリキュラム・マネジメントの主役は教職員一人一人	講義	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
・毎回の授業レポート（50%）、理解度確認試験（30%）、発表・課題等を含む授業中の活動（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・毎回の授業レポートは、次回添削して返却します。
・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介・解説をします。
・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：創造性／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育原理	前期	2 単位
サブタイトル	教育の理念・思想・歴史	講義	
担当者	山内　紀幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1 教育概念や教師ー子ども関係について、基本的な知識を身に付けている。
2 西洋や日本の教育史や教育思想について、基礎的な事項を理解している。
3 授業論や学び論について、概念的に把握している

[授業概要]
本授業では、教育を巡る様々な概念（教育、学習、子ども、教師、人間形成）について講義した後に、西洋の教育史、西洋の教育思想家の教育思想について理解させる。その後、日本の教育史を学ばせ、現代の教育問題や授業論や学び論について基本的な事項を習得させる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
教育に関する理念や思想を学ぶために、毎回、指定テキストの論考の要約課題を出す。加えて、各回、授業の復習を行うこと。合わせて4時間程度を充てること。

[授業計画]
1.教育の基本理念――語源・目的・目標
2.教師と子どもの臨床哲学――信頼される教師
3.人間形成の理論①――エリオット先生の差別授業
4.人間形成の理論②――デーケンの悲嘆のプロセス
5.古代ギリシアの教育――スパルタとアテネ
6.西洋の子ども観――子ども期の発見・近代家族の成立
7.西洋教育思想①――ソクラテス・コメニウス・ロック・ルソー
8.西洋教育思想②――ペスタロッチ・ヘルバルト・フレーベル・ケイ・デューイ・モンテッソーリ・パーカスト
9.日本の子ども観――子宝思想の誕生
10.近代教育制度の成立――森有礼と元田永孚
11.戦後日本教育史――学習指導要領と教育問題
12.授業論――学びの楽しさを生み出す授業
13.学びの空間論――学びのスタイルと学習空間

科目名	教育原理	前期	2 単位
サブタイトル	教育の理念・思想・歴史	講義	
担当者	山内　紀幸		

[成績評価方法]
授業後の小テスト（70%）と課題提出（30%）。課題への講評は授業で行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小テストについてはmanabaを通じて採点し、結果を閲覧できるようにする。
要約課題については、授業中に講評を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：看護1-2／（科学的根拠に基づいた課題対応能力）
人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。
成績評価方法：小テスト・小レポート

学科DP番号／DP内容：看護2-1／（人間性の涵養）
多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。
成績評価方法：小テスト・小レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：小テスト・小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小テスト・小レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:ちょっと変わった校長式辞集　教育哲学者からのメッセージ 著者名:山内紀幸／著 出版社名:一藝社
ISBN:9784863592377

[参考書（ISBN）]

科目名	教育実習A	前期	2 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	宮垣　覚、宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
各学校での教育実習を通じて、教育の実際を学び、確実な学級経営や授業などの教育実践ができるようになる。

[授業概要]
各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任の指導を受けて、観察実習、授業実践、研究授業などを行います。また、教科指導のほかに、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図ります。事前・事後の指導では、教育実習の意義、実習記録の取り方、教育課題への対応の仕方、実習後の課題の整理などを行います。その際、学校現場における校長、教頭、教諭（学級担任、教務主任等）の経験を生かして具体的な対応について指導助言をします。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各教科指導法等の概要・学習指導案の作成、道徳教育・人権教育・学級経営・生徒指導等の学校での学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておいてください。
事前に、教育実習の期間の計画、学習指導案はじめた研究授業の準備等を十分行ってください。
「教育実習の手引きと記録」を活用して、教育実習の記録・反省・今後の展望についてまとめておいてください。

[授業計画]
学校実習（2週間）
・管理職の講話
・校務担当教職員の講話と指導
・校務処理の仕方について
・実習校の学級担任の指導、学級経営の実査
・教科担任の指導と観察実習
・学習指導案の作成と指導
・授業実践と指導
・大学教員の指導等
・研究授業と反省
・実習のまとめ
事後指導
・実習後の課題の整理等

科目名	教育実習A	前期	2 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	宮垣　覚、宮本　晃郎		

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習校からの評価資料（40%）、実習記録等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題やレポートについては、事後指導を中心に意見交換ならびに解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育1-2／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：創造性／自分の力で発想し、効果的な授業を展開する力
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育実習B	前期	4 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	宮垣　覚、宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
各学校での教育実習を通じて、教育の実際を学び、確実な学級経営や授業などの教育実践ができるようになる。

[授業概要]
各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任の指導を受けて、観察実習、授業実践、研究授業などを行います。また、教科指導のほかに、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図ります。事前・事後の指導では、教育実習の意義、実習記録の取り方、教育課題への対応の仕方、実習後の課題の整理などを行います。その際、学校現場における校長、教頭、教諭（学級担任、教務主任等）の経験を生かして具体的な対応について指導助言をします。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各教科指導法等の概要・学習指導案の作成、道徳教育・人権教育・学級経営・生徒指導等の学校での学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておいてください。
事前に、教育実習の期間の計画、学習指導案はじめた研究授業の準備等を十分行ってください。
「教育実習の手引きと記録」を活用して、教育実習の記録・反省・今後の展望についてまとめておいてください。

[授業計画]
学校実習（3週間）
・管理職の講話
・校務担当教職員の講話と指導
・校務処理の仕方について
・実習校の学級担任の指導、学級経営の実査
・教科担任の指導と観察実習
・学習指導案の作成と指導
・授業実践と指導
・大学教員の指導等
・研究授業と反省
・実習のまとめ
事後指導
・実習後の課題の整理等

科目名	教育実習B	前期	4 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	宮垣　覚、宮本　晃郎		

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習校からの評価資料（40%）、実習記録等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題やレポートについては、事後指導を中心に意見交換ならびに解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育1-2／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：創造性／自分の力で発想し、効果的な授業を展開する力
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル	有意義な教育実習のために	演習	
担当者	宮垣　覚、宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	先輩の教育実習報告会に参加し、情報交換会で協議します。	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育実習を行うに当たり、教育実習の心構えや在り方、授業実践方法や教育課題について学び、教育実習が充実したものできるようになる。
実習後の課題整理と教員としての心構えを理解できるようになる。

[授業概要]
現場経験(校長、教諭)や教育委員会事務局、教育研修所等の経験のある者が、事前指導・事後指導について以下のとおり具体的な対応について指導助言します。
事前指導では、先輩学生の教育実習経験などから留意事項として、教育実習の意義・目的の理解、教育実習を受けるにあたっての心構え・記録の仕方、授業、生徒指導、教育課題への対応の
仕方、教育実践や児童生徒への対応の基礎を指導助言します。
また、事後指導では、実習後の課題を整理し、今後の資質向上を目指して指導助言します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各教科指導法等の概要・学習指導案の作成、道徳教育、人権教育・学級経営・生徒指導等の復習をしておいてください。
実習校の実態をHP等で調べておいてください。

[授業計画]
(事前指導)
2025年4月
1. 教育実習の準備手続きの仕方(宮垣、教職支援センター)
2025年11～12月
2. 教育実習報告会(様子・よさと留意点)(宮垣)
3. 教育実習情報交換会(不安解消・留意点)(宮垣)
2026年1～2月
4. 教育実習の心得(宮垣)
5. 教育実習の目的・意義・内容(宮垣)
6. 生徒指導の在り方(宮垣)
7. 学級経営の在り方(宮垣)
8. 道徳教育、人権教育、特別支援教育の在り方(宮垣)
9. 学習指導案の書き方(宮垣)
10. 授業の実際(宮垣)
11. 教員採用試験と教育実習(宮垣)
2026年3月
12. 実習直前講話、実習ノートの記入(宮垣)
13. 教育実習の事務的準備について(宮垣、教職支援センター)

(事後指導)
2026年11～12月
1. 実習後の情報交換会(宮垣)
2. 課題の整理、今後に向けて(宮垣)

※集中講義の日程は、大学の行事等により変更する場合があります。

科目名	教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル	有意義な教育実習のために	演習	
担当者	宮垣　覚、宮本　晃郎		

[成績評価方法]
毎回のレポート(50%)、課題レポート(30%)、発表・課題等を含む授業中の活動(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
各回のレポートの課題については、次回の授業の中で意見交換や解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容:教育1-2／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容:教育2-3／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記の成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記の成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記の成績評価方法で行います。

[教科書(ISBN)]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	教育心理学	前期	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習	講義	
担当者	久木山　健一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・教育活動の中での心理学の有効性の理解
・今自分が受けている教育の意義の理解
・過去自分が受けてきた教育の影響の理解
・学習活動を支えるさまざまな心理的要因の理解

[授業概要]
本授業では教育という現象を心理学的に理解できるようになることを目標として教育心理学のさまざまな理論を概観します。その際、単に理論を知識として学ぶだけでなく、過去から現在までに自分が体験してきた教育活動と関連づけて修得できることを目指します。学習過程、動機づけ、知能と学力、教室の仲間関係、教師と生徒の関係、教育評価などの基礎的な知識に加え、いじめ、不登校などの学校不適応への対応や、心身障害児への対応などの理解も目指します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習:授業で学ぶ予定のある内容について各自で事前に予習をしてください。
復習:授業で学んだことを参考に自分自身，自分の受けてきた教育，これから自分が行おうと考えている教育について考察をしてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度が求められます。

[授業計画]
1　教育心理学とは(意義，他の学問とのかかわり，研究法など)
2　発達(基本的法則，発達の要因，ピアジェ，エリクソンなど)
3　学習(定義，条件づけ，行動分析，社会的学習，認知論など)
4　動機づけ(コンピテンス，種類，原因帰属，自己調整学習など)
5　知能・記憶・メタ認知(定義，知能テストの種類，記憶，メタ認知など)
6　教授学習過程(授業形態，授業構造，有意味受容学習と発見学習など)
7　教育評価(意義，通知表，評価の時期と方法，相対・絶対評価など)
8　教師(好まれる教師像，ビリーフ，リーダーシップ，ピグマリオン効果など)
9　仲間関係(遊びの発達，仲間関係の理解法，児童期・青年期の仲間関係など)
10　パーソナリティ(定義，類型論，特性論，性格検査の種類など)
11　学校における不適応(いじめ，非行，不登校，学級集団の荒れなど)
12　ストレスと健康(ストレス過程，学校ストレス，PTSD，摂食行動など)
13　発達障害と特別支援教育(種類，特別支援教育，ユニバーサルデザインなど)

科目名	教育心理学	前期	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習	講義	
担当者	久木山　健一		

[成績評価方法]
毎回の小テストおよび授業の感想の提出，定期試験などによって行います。
小テストおよび授業の感想（3割），定期試験（7割）で成績評価します。
ただし，定期試験が実施できない場合は，小テストおよび授業の感想（7割），
最終レポート課題（3割）で成績評価を行います。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは問合せに応じて回答を解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：毎回の小テストおよび授業の感想の提出，定期試験などによって行います。

[教科書（ISBN）]
書籍名:第4版　ようこそ教育心理学の世界へ 著者名:神藤貴昭・久木山健一 出版社名:北樹出版 ISBN:9784779307362

[参考書（ISBN）]

科目名	教育相談	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	1分間スピーチ、学外フィールドワーク	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・学校における教育相談の意義と課題を理解している。
・教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関す基礎知識を含む)を理解している。
・いじめ、不登校、虐待、非行、発達障害等、最近の教育課題への教育相談の進め方、組織的な取組みや連携の必要性を理解している。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」が身についている。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題(教育相談等)への対応について、学校現場で実際によくある事例を交えて具体的に講義します。 学校現場では、いじめ、不登校、非行、学級崩壊といった教育課題にどう対処するかが重要になっています。児童生徒一人ひとりの発達に即して、好ましい人間関係を育て、生活によく適応させ、自己理解を深めさせ、人格を成長させる力が教員には求められています。学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性、教育相談の意義や基本的な技法、教育相談の進め方などをグループワークで学びを深めていくアクティブラーニングで行います。子供の理解や支援の方法を中心に、子供のもつ多様な背景を想像したり、保護者や関係機関との望ましい連携のあり方(相談にのる心構えやカウンセリングの基礎基本を含む)について理解し、実際に日常生活で学んだことを実践していくことをめざしていきます。
テキストは、『生徒指導提要(平成22年3月版)第5章』(文部科学省HPよりダウンロード)を用います。適宜、生徒指導提要改訂版令和4年12月もダウンロード版を用います。購入する必要はありません。
ノートについては、手書きのノートのはかに、パソコンをノート代わりにしてもかまいません。授業の板書は写真撮影 OKです。ICTを活用して授業を受けてみると、その効果や課題が実感でき、今後の児童生徒への指導に役立つ視点が得られると考えるからです。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・授業で出された宿題や探究課題について主体的に取り組む(復習と探究)。＜2時間＞
・授業で予告された次回の内容について探究する(反転授業のための予習)。＜2時間＞

[授業計画]
1. 教育相談とは、意義と課題(カウンセリング技法:受容、共感の実践演習)4/14
2.相相談にのるための「悩みを聴く力」(セルフチェック、グループワーク) 4/19 1限
3.予防的・開発的教育相談(リフレーミング1) 4/19 2限
4.アセスメント・コーピング(リフレーミング2)4/21
5.多様な背景を持つ児童生徒の理解＜学外フィールドワーク＞ 4/26 1限
6.多様な背景を持つ児童生徒の理解＜学外フィールドワーク＞ 4/26 2限
7.進路や生き方(グループエンカウンター1)4/28
8.価値観の違いを認め合う(グループエンカウンター2)5/10 1限
9.相手の主訴を傾聴する(グループエンカウンター3)5/10 2限
10. 愛着障害、保護者の障害受容の理解(いじめ、不登校、虐待、非行等)(ディスカッション)5/12
11. 好ましい人間関係、アサーショントレーニング(さわやかに断る寸劇)5/19
12. ケース会議による関係機関・保護者の連携(ロールプレイ) 5/24 1限
13. まとめ 5/24 2限

科目名	教育相談	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[成績評価方法]
まとめテスト（論述あり）（80%）、授業ごとの小テスト（記述式）（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業ごとの小テスト（記述式）に対して、提示した評価基準でフィードバックをおこないます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力
／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

[教科書（ISBN）]
書籍名:『生徒指導提要（平成22年3月版）第5章』（文部科学省HPよりダウンロード） 著者名:文部科学省 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育の制度と経営	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山下　晃一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
教職に必要となる教育の制度と経営に関する基本的かつ多様な知識・考え方を修得する。
教育の制度と経営をめぐる諸学説等を用いて、自分の教育経験を客観的に理解できる。
教育の制度と経営の知識や考え方を基に、現代教育課題について論理的に思考できる。

[授業概要]
いかにすぐれた教育の思想も実践も、現代社会においては「制度」となることによって、はじめて広く実現される。そうして作られた学校制度は、教職員を含む実にさまざまな人々の知恵と工夫で動かされる＝「経営」されることによって、はじめて高い効果を発揮する。
本講義では複雑化する教育課題をふまえて、これからの教師そして国民全体に必要な、教育の制度や経営に関する知識の習得をめざすとともに、教育の思想や実践を効果的に実現できるような、教育制度・教育経営に向き合う力量の基礎を培う。とくに学校と地域の連携や、安全と安心の学校づくりなど、現代的な課題にも焦点をあてる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業前:前回に出された予習課題に取り組む。前回のノートを見返し大事な視点・論点を復習する。テキストの指定箇所を読む。
授業後:提出した質問紙の設問と自らの回答内容を振り返りと同時に、授業で取り上げた内容について、日常生活や読書を通じて自分の考えを深める。
各回、予習復習合わせて4 時間程度。

[授業計画]
1. イントロダクション
2. 教育の制度と経営の基礎(1) －教育法規の枠組－
3. 教育の制度と経営の基礎(2) －教育基本法－
4. 教育の制度と経営の基礎(3) －日本の学校体系－
5. 教育行政の組織と役割(1) －国と地方の教育行政－
6. 教育行政の組織と役割(2) －教育委員会の理想－
7. 教員を支える制度(1) －公立学校教員の立場－
8. 教員を支える制度(2) －教員の研修・評価－
9. 教員を支える制度(3) －教科書制度の概要－
10. 現代学校経営の課題(1) －学校における個業と協業－
11. 現代学校経営の課題(2) －開かれた学校づくり－
12. 現代学校経営の課題(3) －安全･安心の学校づくり－
13. 講義のまとめ －これからの教育の制度と経営－

科目名	教育の制度と経営	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山下　晃一		

[成績評価方法]
講義各回に提出する小レポート65%、各回の予習課題40%。
小レポートについて、講義中の説明に即して、教育の制度と経営に関する基本的論点を、どの程度、正確に理解できているか、また、講義で説明した事例などについて、自分なりの分析や考えを的確に述べることができているか等の観点から評価する。
予習課題について、問いに対して適切に応答しているか、調べ学習の場合にはそれが充実しているか、自分の考えを深めているか等の観点から評価する。
フィードバックについて、各回の小レポートおよびコメントを抜粋し、それぞれ次の回の講義冒頭時に説明・紹介する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
主として講義中に(あるいはmanabaを通じて)、各回の小レポートおよびコメントを抜粋し、それぞれ説明・紹介します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:小レポート・予習課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:小レポート・予習課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:法規で学ぶ教育制度 著者名:森田　健宏 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623081820

[参考書(ISBN)]

科目名	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用を含む）	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山崎　宣次		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

［ 到達目標 ］
授業者による一方的な一斉授業だけではなく、真に学習者主体的に学ぶためにはどのような学習方法を仕組むことが大切かを知るとともに、教育の不易と流行について具体的に理解できる。また、基礎的な教育におけるICTの活用能力を身につける。

［ 授業概要 ］
古い一方的な教授スタイルのどこが問題であり、何をどう変えることが大切かを様々な視点から考えてもらいます。また、教育におけるICTを活用するための理論や事例を知り、実際に情報端末に触れながらICTを活用するための演習を行います。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場における情報教育についてアシストします。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
各回、予習復習合わせて4時間程度の主体的な学修を期待します。予習としては、事前に資料を配布する場合は、その資料の内容を大まかに理解しておいてください。復習としては、重要な内容に関して振り返り、自分の言葉で説明できるようにノートにまとめる等してください。

［ 授業計画 ］
1.ガイダンス（13回を見通した内容）
2.教育・勉強・学習・学びとは
3.教師に求められる授業力とは
4.授業を構成するということ
5.評価のあり方について（何をどう評価するのか）
6.学習指導案と教材研究について
7.現代社会におけるICT活用の意義と理論の概要
8.ICT活用による学習指導や校務の推進の理論と実践①（デジタル教材の作成と利用等）
9.ICT活用による学習指導や校務の推進の理論と実践②（遠隔授業、LMSによる学習履歴の活用、統合型校務支援システム等）
10.教師のICT活用指導力及び情報活用能力育成の基礎的な指導法の概要
11.情報活用能力育成の理論と実践①（情報モラル、各教科等における指導事例）
12.情報活用能力育成の理論と実践②（プログラミング教育、STEAM教育等
13.まとめ（実物教材の大切さ）

科目名	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
小レポート(30%)、授業中の活躍度(30%)、最終レポート(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:特に指定しませんが、必要なときは授業内で紹介します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:教室の未来を拓く タブレットPCで育む豊かな学びの手引き: 学びの変革をもたらすタブレットPCの教室革命 著者名:編者:山崎宣次 著者:加藤直樹、及川浩和他 出版社名:Amazon Kindle ISBN:979-8301212710
書籍名:最新の学習指導要領(中・高、養教、栄養) 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	教職実践演習(栄養教諭)	後期	2 単位
サブタイトル	教職のまとめと実践力のさらなる向上	演習	
担当者	佐藤　誓子、本田　まり、宮本　晃郎、宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
児童を対象とした食に関する指導、及びと学校給食の管理について、栄養教諭として行うべき事柄と自身の考えとを20分程度で説明できることを目標とする。

[授業概要]
栄養教諭の講義等で学校現場の実情を学び、実務に当たっての心構えを学ぶ。また、食に関する指導、学校給食の栄養管理について演習を行う。これらによって、教員としての自己の課題を見いだし、必要な知識・技能の定着を図る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
栄養教育指導法、人権教育、生徒指導等、学校現場での学習指導に必要な事項を中心に、実際の教員生活を想定した学習の仕上げであることを意識して復習しながら受講すること。

[授業計画]
1.オリエンテーション・教職の意義と教員の役割(宮垣)
2.学校現場における実務演習(食に関する指導と学校給食の管理)(外部講師・佐藤)
3.教育実習の振り返り:発表の準備(本田)
4.発表とディスカッション①(本田)
5.発表とディスカッション②(本田)
6.発表とディスカッション③(本田)
7.発表とディスカッション④(本田)
8.学校給食経営管理①学校給食法と個別対応(佐藤)
9.学校給食経営管理②給食を活用した献立作成(佐藤)
10.学校給食経営管理③給食献立を活用した食育発表会(佐藤)
11.学校給食経営管理④給食献立を活用した食育発表会(佐藤)
12.特別支援学校での給食経営(佐藤)
13.まとめ(最新教育事情、研究の力点、指導助言)(宮垣)

科目名	教職実践演習(栄養教諭)	後期	2 単位
サブタイトル	教職のまとめと実践力のさらなる向上	演習	
担当者	佐藤　誓子、本田　まり、宮本　晃郎、宮垣　覚		

[成績評価方法]
授業の理解度(30%)、取組姿勢(30%)、レポート(20%)、発表(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートは後日添削して返却します

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業の理解度、取組姿勢、レポート、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業の理解度、取組姿勢、レポート、発表

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小島　理永、宮垣　覚、大沼　勇人、住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業実践力や生徒理解力、心構え等、教員としての職務に必要な資質・能力を整理して、自分にとって何が課題であるかを自覚する。そして、教育実習をふまえて不足している知識や技能を補うことで定着を図り、保健体育科教員にふさわしい実践力を向上させる。

[授業概要]
教育実習での経験をふまえて、指導計画の立案や模擬授業、事例研究などをもとにグループ学習や討論を行うことで実践力の育成を図る。また、これらの活動を通して、教員としての自己の課題を自覚するとともに、必要な知識・技能の定着を図る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教職課程の仕上げであることを意識して、専門科目、学級経営、指導技術等、これまでの学修内容を復習すること。

[授業計画]
1. 最新の教育動向と教職未来論(宮垣)
2. 教師力の発揮と学校力の強化(宮垣)
3. 指導力と授業力の充実・向上(宮垣)
4. 教育実習の振り返り(体育・保健)(小島)
5. 教育実習の振り返り(学級経営・部活動等)(大沼)
6. 模擬授業の計画および指導案作成(小島)
7. 模擬授業(体育)および討議①(住本・小島・大沼)
8. 模擬授業(体育)および討議②(住本・小島・大沼)
9. 模擬授業(保健)および討議①(宮垣・大沼・小島)
10. 模擬授業(保健)および討議②(宮垣・大沼・小島)
11. 保健体育科教諭のリフレクション(住本)
12. 学校現場の実際(尼子)
13. 保健体育科指導法のまとめ(小島)

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小島　理永、宮垣　覚、大沼　勇人、住本　純		

[成績評価方法]
授業態度、議論への参加(50%)、課題・レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内で連絡します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度・グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教職実践演習(養護教諭)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	細川　愛美、宮垣　覚、宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
養護教諭としての使命や職務内容の重要性を理解し、具体的な実践演習の展開を通して養護教諭に関する専門性を広く学ぶことで、教育現場に適応する知識とスキルを習得する。

[授業概要]
「養護教諭としての実践的な知識とスキルの習得を目指す」をテーマに、以下の項目について、学校現場での教員経験がある者が、調査、分析、討議、ロールプレイ、事例研究等の方法で演習授業を展開し、学校現場の現状に即した実践的な指導力を養う。
① 養護教諭としての使命感や責任感、教育的愛情に関する事項
② 他の教職員との連携と調整に関する事項
③ 児童生徒理解および、ヘルスプロモーションについて
④ 養護教諭が行う保健指導と保健管理
⑤ 適切な保健室経営
本演習は4年生の後期に実施されるものであり、受講者はすでに養護実習を終了している。これまでに授業で学んだこと、および実習校で学んだ養護教諭の職務に関する学びの集大成として、これまでの復習を兼ね、学校現場で即対応できる能力の研鑽の場としたい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
過去の関連項目の授業を復習し、当日の授業に臨むこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1.養護実習の体験を発表し、養護教諭の職務内容について、グループ討論で意見を出し合う。(細川愛美)(11月6日木曜日)3限
2.「私の考える理想の養護教諭」のテーマで考えを発表し合い、学びを深める。(細川愛美)(11月6日木曜日)4限
3.教職の意義と教員の役割(宮垣　覚)(11月12日水曜日)3限
4.児童生徒の現代的な健康課題と健康相談活動に関するケースを挙げ、それについての対応を検討する。(細川愛美) (11月12日水曜日)4限
5.模擬検診を実施し、健康診断の実践と事後措置を学ぶ。① (細川愛美)(11月19日水曜日) 3限　F209
6.模擬検診を実施し、健康診断の実践と事後措置を学ぶ。② (細川愛美) (11月19日水曜日)4限　F209
7.救急処置について、事例を挙げながら対応を学ぶ。① (細川愛美) (11月21日金曜日)3限　F209

8.救急処置について、事例を挙げながら対応を学ぶ。② (細川愛美) (11月21日金曜日)4限　F209
9.学校での緊急時を想定し、ロールプレイで対応について学ぶ。(細川愛美)(11月26日水曜日)3限　F209
10.障害児の健康管理と支援に関する養護教諭の役割を考える。(細川愛美)(11月26日水曜日)4限　F209
11.保護者対応をグループワーク等を用いて学ぶ。まとめとして、社会人としての基本姿勢や教師としての資質能力の確認をする。 (宮垣　覚) (12月3日水曜日)4限
12.壁面掲示と保健だよりの作成例を見て、その意義について学ぶ。グループで討議しながら学校保健計画案・保健室経営計画案を作成する。(細川愛美)(12月5日金曜日)3限
13.児童生徒理解と健康相談を含む支援についてグループ討議で意見を出し合い、養護教諭の職務を考える(細川愛美)(12月5日金曜日)4限

科目名	教職実践演習(養護教諭)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	細川　愛美、宮垣　覚、宮本　晃郎		

[成績評価方法]
授業への取組み姿勢(授業態度・発表内容・授業内課題等)80%
課題レポート20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートの評価は希望者に開示する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業への取組姿勢(授業態度、発表内容、授業内課題レポート)(80%)、課題レポート(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業への取組姿勢(授業態度、発表内容、授業内課題レポート)(80%)、課題レポート(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業への取組姿勢(授業態度、発表内容、授業内課題レポート)(80%)、課題レポート(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業への取組姿勢(授業態度、発表内容、授業内課題レポート)(80%)、課題レポート(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業への取組姿勢(授業態度、発表内容、授業内課題レポート)(80%)、課題レポート(20%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教職論	後期	2 単位
サブタイトル	教職の在り方を追求し、教職への適性を考える	講義	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	2分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・学校教育全般についての理解を深めるとともに、「教職とは何か」について、教職の意義や役割、資質能力、職務内容等を概観することができるようになる。
・期待される教職像を追求し、教職の適性を考え、教職への基礎づくりができるようになる。

[授業概要]
現場経験（校長、教諭）や教育委員会事務局、教育研修所等の経験のある者が、変化する社会情勢と教育動向を概観し、「教育とは」「学校とは」「教師とは」何かを指導します。
そして、教育関係法規や学習指導要領などをもとに公教育の重要性を理解し、教職に求められる資質・能力についてともに考え、教師のやりがいや使命感・責任感を含めた将来の教職像を明らかにしていきます。
また、最新の教育課題について事例研究を通して学び、今日的課題への対応についても指導します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと（各回、予習復習合わせて2時間程度）
各回のキーワードを振り返り、そこから派生して自分自身が疑問に思うことや、さらに調べてみたいことを明らかにしておいてください。
教育に関する最新のニュースにも関心をもって、情報交換できるようにしておいてください。

[授業計画]
1. 教育の目的と意義・役割　－教職とは・忘れられない魅力的な教師－
2. 学校教育と教職の意義等　－家庭教育との違い・学校の種類・教育関係法規－
3. 公教育を担う教職への道　－公務員と民間の違い・教育公務員・教員免許－
4. 教職の役割及び資質能力　－聖職者・労働者・専門職としての教職観の変遷－
5. 教員の資質能力の構造化　－新たな専門職的教職観・学習指導と生徒指導等－
6. これからの授業力の向上　－素材研究・教材研究・発問や板書・ICT活用－
7. これからの指導力の向上　－生徒指導・キャリア教育・教育相談・特別支援教育の視点－
8. これからの教師力の向上　－行事・校務分掌・保護者対応・関係機関連携等－
9. 信頼される学校力の向上　－情報発信・地域連携・学校評価・教育課程編成－
10. 教育公務員としての教職　－教員採用・研修・教員としてのライフサイクル－
11. 教育新時代における教職　－新たな教育課題・幅広い知見と「チーム学校」－
12. 学び続ける教師への期待　－自分自身の適性と力点、学ぶ続ける教師の意義－
13. まとめ、これからの教職について

科目名	教職論	後期	2 単位
サブタイトル	教職の在り方を追求し、教職への適性を考える	講義	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
毎時間のレポート(50%)・理解度確認試験(30%)発表・課題等を含む授業中の活動(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・毎回の授業レポートは、次回添削して返却します。
・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介・解説します。
・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記の、成績評価方法によって行います。

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記の、成績評価方法によって行います。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記の、成績評価方法によって行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:対話力／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領総則解説 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03639-7
書籍名:高等学校学習指導要領総則解説 著者名:文部科学省 出版社名:東山書房 ISBN:978-4827815801

科目名	生徒・進路指導論	後期	2 単位
サブタイトル	令和の時代における生徒指導と進路指導・キャリア教育	講義	
担当者	宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・教育課程における生徒指導・進路指導及びキャリア教育の位置付けを理解したうえで、理論及び方法を修得することができる。
・暴力行為・いじめ・不登校、虐待、インターネットや性に関する問題行動など今日的な生徒指導上の課題についての知見を深めることができる。
・児童生徒の健全な育成に向けて、学校の教育活動として支援の方策等について理解を深め、組織的・継続的に取り組む重要性を認識することができる。
・キャリア教育の重要性を踏まえ、生き方を考える進路指導の理論と方法を理解することができる。

[授業概要]
①学校現場で生徒指導を担当した経験を有する教員が、実際の学校現場での具体事例をもとに、「教師と子供との信頼関係の築き方」や「子供同士の望ましい人間関係づくり」「子供自身の自己実現を図るための多様なサポート」などを指導します。
②生徒指導や進路指導について全体管理していた校長の経験を有する教員が、すべての児童生徒のよりよい成長と発達を目指して、学校生活が有意義で充実したものになるように組織的・計画的・意図的に行うための具体的な方策等を指導します。
③教育委員会事務局での経験を有する教員が、専門家や関係機関とともに進める生徒指導やキャリア教育の在り方を通して、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動であることを指導します。

それらを通して、「人としてどう生きるか」や「自分らしく生きるとはどういうことか」などについて生徒指導や進路指導、キャリア教育の在り方を探る。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと
（授業配付資料をもとに復習し、関心を持った教育課題について、新聞、書籍等で調べること）
（次回の講義内容について自分なりの課題意識をもって、キーワード等を整理して授業に臨むこと）

[授業計画]
1. 生徒指導・進路指導及びキャリア教育の見方・考え方
　～生徒指導・進路指導及びキャリア教育の目的と意義・内容等～
2. 生徒指導・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法
　～子供の学校生活・全校や学年学級指導・カウンセリングとしての指導～
3. 教育課程における生徒指導・進路指導及びキャリア教育の位置付け
　～各教科・道徳科・総合的な学習の時間・特別活動～
4. 子供理解と保護者理解・保護者連携
　～子供の心理・発達の段階・多様な保護者の願い・キャリア教育の視点等～
5. 問題行動と関係機関との連携
　～自前主義からチーム学校へ・事例に学ぶ生徒指導研修・教師としての資質の向上～
6. いじめに関する事例研究
　～いじめの態様と指導・早期発見と早期解決・キャリアカウンセリング～
7. 不登校に関する事例研究
　～不登校の原因と傾向・多様な支援策・生涯を通じたキャリア形成～
8. 児童虐待に関する事例研究
　～児童虐待の実態・児童虐待の原因と背景・児童虐待防止への対策・多様な進路～
9. 多種多様な問題に関する事例研究
　～窃盗・不健全性的行為・薬物乱用・家出・自殺等・新たな問題行動等～
10. 生徒指導と法整備・指導の充実
　～懲戒と体罰の違い・校則の必要性と問題点・割れ窓理論とゼロトレランス～
11. 生徒指導と進路指導及びキャリア教育の連動
　～ガイダンスとしての理論及び方法・子供の心理・教師の言葉と行動等～
12. 生き方を考える生徒指導と進路指導及びキャリア教育の充実
　～社会情勢の変化・情報化社会を超える社会・自己指導力の育成～
13. 生徒指導と進路指導及びキャリア教育の総まとめ
　～信頼関係に基づく指導・豊かな人生につなぐ努力～

科目名	生徒・進路指導論	後期	2 単位
サブタイトル	令和の時代における生徒指導と進路指導・キャリア教育	講義	
担当者	宮本　晃郎		

[成績評価方法]
グループ討議など学習態度（30%） 課題レポート（30%）
総合テスト（20%） 研究発表（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の課題レポートにおいて、鋭い視点や広い視野から考えた内容を全体にフィードバックを行う。
全員の課題レポートを見た後に、個別に返却して質問等にも答えていくようにする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：グループトークと課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題レポート、まとめのレポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:生徒指導提要―令和4年12月― 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491051758

科目名	生徒指導論(栄教・養教)	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	1分間スピーチ、学外フィールドワーク	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・生徒指導の意義や原理を理解し、すべての児童生徒を対象とした学級、学年、学校における指導の在り方や考え方を理解する。
・特別なニーズのある児童生徒への指導と支援、暴力行為、いじめ、不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解する。
・栄養教諭、養護教諭としての生徒指導のあり方や考え方、外部の専門家、関係機関等の連携を理解する。
・栄養教諭、養護教諭として児童生徒の抱える主な生徒指導上の課題と、学校の全教職員、外部の専門家、関係機関との連携の在り方を理解する。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題(いじめ問題、不登校、特別支援教育等)への対応を学校現場での実際の事例を用いて具体的に講義します。生徒指導は、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われ、学習指導と並ぶ重要な教育活動です。これらを、基本に置き、グループでディスカッションしながら取り組むアクティブ・ラーニングで行います。発達障害等のある子どもの特性を踏まえつつも、障害のあるなしにかかわらず多様な背景をのある児童生徒の問題行動事例から困難への理解を深め、どう指導や支援をしていくか具体的な方法を身に付けることをめあてとしています。
テキストは、「生徒指導提要」(平成22年3月版の冊子のダウンロード)を用います。文部科学省のHPからダウンロードしてください。適宜、「生徒指導提要」(令和4年12月の改訂版の冊子のダウンロード)も用います。テキストを購入する必要はありません。パソコンの画面から見ていきますが、印刷する場合は各自で行ってください。
ノートについては、手書きのノートのほかに、パソコンをノート代わりにしてもかまいません。授業の板書は写真撮影 OKです。ICTを活用して授業を受けてみると、その効果や課題が実感でき、今後の児童生徒への指導に役立てられると考えるからです。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・授業で出された宿題や探究課題について主体的に取り組む(復習と探究)。＜2時間＞
・授業で予告された次回の内容について探究する(反転授業のための予習)。＜2時間＞

[授業計画]
1.生徒指導の意義と原理及び指導体制と教育課程、各教科等との関連　9/30 4限
2.栄養教諭、養護教諭としての指導や支援、学校体制の整え方　9/30 5限
3.食育、健康教育、安全教育を推進する校内組織及び関係機関との連携 10/4 1限
4.規範意識を醸成し安心できる学校づくり　10/4 2限
5.生徒指導上の課題(不登校)と関係諸機関の連携 10/7 4限
6.生徒指導上の課題(いじめ・非行)と関係諸機関の連携　10/7 5限
7.発達障害や多様な背景から教育的ニーズのある児童生徒の理解と生徒指導　10/11 1限
8.生徒指導の方法(集団指導の方法原理)10/11 2限
9.生徒指導の方法(個別指導の方法原理)10/14 4限
10.生徒指導上の課題(インターネット・児童虐待・校則・懲戒・体罰等の法令)10/14 5限
11.食育、健康教育、安全教育の探究調査＜学外フィールドワーク＞ 10/18 1限
12.食育、健康教育、安全教育の探究調査＜学外フィールドワーク＞10/18 2限
13.まとめ 10/21 4限

科目名	生徒指導論(栄教・養教)	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[成績評価方法]
まとめテスト(論述あり)(80%)、授業ごとの小テスト(記述式)(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業ごとの小テスト(記述式)に対して、提示した評価基準でフィードバックをおこないます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

[教科書(ISBN)]
書籍名:「生徒指導提要」(平成22年3月版の冊子のダウンロード) 著者名:文部科学省 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	2 単位
サブタイトル		メディア（講義）	
担当者	溝邊　和成		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小・中・高等学校学習指導要領に示された総合的な学習の時間の目標および内容をはじめ、教育課程上の位置付けや他教科等との関連をとらえるとともに、具体的な演習等を通して、初等中等教育における総合学習の指導のあり方について理解を深める。

[授業概要]
小・中・高等学校学習指導要領に示された総合的な学習の時間の特徴に係るテーマについて、講義とともに演習形式（グループワークやプレゼンテーション、スキルアップワークなど）を取り入れ、理解の充実と具体的な指導力向上をめざす。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
前時に行った「スキルアップワーク」の内容・方法を復習するとともに、本時における課題について概略を把握したり、分担箇所等の予習（発表準備等）を行ったりしてきている。

[授業計画]
第1回：本講義の特徴と授業計画の提示（講・演）～ラーニングストーリーの自覚～
　スキルアップワーク（自己紹介・他者紹介）「総合的な学習の時間と私」
第2回：「総合的な学習の時間」の成立とその変遷（講・演）～体験した授業から見る特徴～
　スキルアップワーク（発表、分類・関係付け）「出身校における取り組み」
第3回：「総合的な学習の時間」の成立とその変遷（講・演）～学習指導要領から見る特徴～
　グループワーク（ジグソー法の活用）「小中学校学習指導要領上に見られる特徴とその変化」

第4回：「総合的な学習の時間」の源流（講・演）～総合学習につながる実践（国内編）～
　スキルアップワーク（情報検索・編集）「国内に見られる総合(探究)学習」
第5回：「総合的な学習の時間」の源流（講・演）～総合学習につながる実践（外国編）～
　スキルアップワーク（編集・報告）「諸外国における総合学習」
第6回：「総合的な学習の時間」の事例探究（演）～総合的な学習の時間におけるテーマ～
　グループワーク（テーマ選択）「例：環境・福祉・キャリア・情報・経済・遺産・STEAM等」

第7回：「総合的な学習の時間」の事例探究（演）～プレゼンテーションのためのスキルとその活用～
　グループワーク（ICT操作）「プレゼンテーションの準備（発表用資料作成、リハーサル等）」
第8回：「総合的な学習の時間」の事例探究（演）～発表形式と内容省察の観点～
　プレゼンテーション（ICT活用、サークル対話：リフレクション）「発表と省察」
第9回：「総合的な学習の時間」の実践上の課題とその対策（講・演）～カリキュラムマネジメント「年間指導計画・教科横断・探究プロセス」への工夫～
　グループワーク（共同作成モデル）「教科横断型、探究型」「年間指導計画」

第10回：「総合的な学習の時間」の実践上の課題とその対策（講・演）～教材開発の視点とそのアクセス～
　スキルアップワーク（ブレイン・ストーミング、KJ法）「教材開発・教材分析」
第11回：「総合的な学習の時間」の実践上の課題とその対策（講・演）～指導・評価スキルの内容と活用～
　スキルアップワーク（資料分析）「指導上の留意事項、評価」
第12回：「総合的な学習の時間」の学習指導案（講・演）～アクティブラーニングを支援する指導案の試み～
　スキルアップワーク（思考の可視化）「形式とその意図」
第13回：本講義のまとめ（講・演）～ラーニングストーリーの整理～
　スキルアップワーク（リフレクション）「自らの学びに対する成果と課題」

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	2 単位
サブタイトル		メディア（講義）	
担当者	溝邊　和成		

[成績評価方法]
出席レポート提出（15%）、課題（スキルアップワーク/グループワーク/プレゼンテーション）レポート・作品等提出（65%）、授業中の態度（20%）とともに、学生による自己評価も加味して、総合的に評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
発表や提出レポート等の内容については、授業内で取り上げ、教員とともに学生同士のコメントを加えフィードバックを行うようにする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題レポートの作成・グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題レポートの報告

[教科書（ISBN）]
書籍名:子どもと教師の学びと育ち 著者名:溝邊和成ら編著 出版社名:三学出版 ISBN:9784908877575

[参考書（ISBN）]

科目名	道徳教育の理論と指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　美紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	小テストを数回行う。	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育活動全体を通じて行われる道徳教育の意義を考え、道徳教育の内容を把握し、教育の現場における様々な状況を想定しながら、実践的な指導力が身につく。

[授業概要]
本講義では『学習指導要領』に明記される道徳教育の意義と目標、道徳教育の内容、道徳教育の実践を主要な柱として扱う。児童・生徒の発達段階に応じて、道徳心を培うために選択した資料を用いて学習指導案を考案・作成する。それに基づいて模擬授業を行い、実践的能力を養う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
指定されたテキスト・資料をあらかじめ読んでおくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
第1回：ガイダンス、道徳教育の意義
第2回：道徳教育の目標
第3回：道徳教育の内容①　自分自身に関すること、人とのかかわり
第4回：道徳教育の内容②　集団や社会とのかかわり：公平、公正、社会正義
第5回：道徳教育の内容③　生命、自然、崇高なものとのかかわり
第6回：道徳の指導法について
第7回：学習教材・資料の分析
第8回：学習指導案の考案・作成、班に分かれて模擬授業の準備
第9回：研究授業鑑賞（DVD）、班に分かれて模擬授業の準備
第10回：模擬授業① 低学年
第11回：模擬授業② 中学年
第12回：模擬授業③ 高学年
第13回：総括および授業に関する反省と評価

科目名	道徳教育の理論と指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　美紀子		

[成績評価方法]
学習指導案・模擬授業（20%）、模擬授業観察シート提出（約10%）、筆記試験（約70%）。授業態度も考慮する。模擬授業観察シートの割合は、受講生で作る班の数により若干変動するが、学習指導案・模擬授業と観察シートを合わせて約30%、筆記試験約70%とする。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
模擬授業のコメントと筆記試験の解答例はmanabaで公開する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度、模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:模擬授業、模擬授業観察シート、筆記試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:筆記試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領〈平成29年告示〉解説　特別の教科道徳編 著者名:文部科学省／〔著〕 出版社名:廣済堂あかつき ISBN:9784908255359

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領<平成29年告示>解説　特別の教科道徳編 著者名:文部科学省 ［編］ 出版社名:教育出版 ISBN:9784316300849

科目名	特別活動の指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	長瀬　善雄		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1.特別活動の目標及び各活動・学校行事の目標と内容を理解し、現在の学校教育における不登校、いじめなどの現代的な諸課題の解決に繋がる特別活動の教育的意義について考察できる。
2.生徒指導、教科、道徳、総合的な学習の時間等との関連を理解し、教科・領域において特別活動の教育的意義を活かすことのできる知識や素養を備えている。
3.教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方について理解し、学習指導に必要な授業コミュケーション力などの基礎的な指導技術を身に付けている。
4.特別活動における評価の考え方や指導の改善方法に関する専門的な知識を修得している。
5.特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解し、特別活動の役割を考察できる。

[授業概要]
特別活動とは、様々な構成からなる集団活動を通して、自己や学校生活を捉え、課題を見いだし、その改善・解消に向け、よりよい集団や学校生活を目指して行われる様々な活動の総体のことをいいます。そこでの集団活動を通して育まれる資質・能力は、社会に出た後の多様な集団や人間関係の中で生かされていくこととなります。これを踏まえ、学習指導要領に示された目標及び内容の理解を図るとともに、学校教育全体における特別活動の教育的意義について考察します。また、学級活動、児童会活動・生徒会活動、クラブ活動、そして学校行事で培われる資質・能力を「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点で整理し、特別活動で培われる資質・能力について一層の理解を図ります。同時に、学校生活の諸課題の解決方法としての合意形成のもつ意味についても考察します。そして、学校現場における教員の経験を活かして、現在の学校教育における不登校、いじめなどの現代的な諸課題と特別活動との関連を考察し、特別活動の指導に必要な知識や素養を身に付けることの必要性を認識する学修にします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。
1.テキストの指定した範囲の熟読。質問事項を考えておいてください。
2.ワークシートによる学修内容の整理。不明な点があれば質問をしてください。
3.学修問題による知識の整理。不明な点があれば質問をしてください。
4.課題(レポート課題、模擬実践の考察)の取り組み。不明な点があれば質問をしてください。
5.学習指導案作成の取り組み。不明な点があれば質問をしてください。
6.模擬実践に向けた教材作成、授業シミュレーションなどの取り組み。不明な点があれば質問をしてください。

[授業計画]
1.学習指導要領における特別活動の歴史的変遷
2.特別活動の教育活動全体における意義
3.学級活動の内容と指導
・学級活動の実践事例と学習指導案の作成について
4.人間形成と特別活動
5.学校行事、児童会・生徒会活動、クラブ活動の内容と指導
・家庭、地域社会との連携について
6.特別活動と生徒指導、各教科、道徳等との関連
7.体験活動の言語化と特別活動における評価
8.「学級活動(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬実践と考察①
・食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
9.「学級活動(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬実践と考察②
・心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
10.「学級活動(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬実践と考察③
・思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応
11.「学級活動(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬実践と考察④
・男女相互の理解と協力
12.「学級活動(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」の模擬実践と考察⑤
・社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
13.まとめ・特別活動の方法原理、教育的意義についての復習

科目名	特別活動の指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	長瀬　善雄		

[成績評価方法]
理解度確認試験(50%)、課題(30%)(レポート課題、模擬実践の考察)、学修問題(10%)、学習指導案・模擬実践(10%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
1.課題(レポート課題、模擬実践の考察)に対するフィードバックは、KISSシステムを通じて行います。また、ペーパーでの提出の場合は添削して返却します。
2.学修問題を回収後、添削して返却します。必要に応じて解答の解説を行います。
3.学習指導案のフィードバックは、KISSシステムを通じて行います。
4.理解度確認試験を回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題別グループ討議、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題別グループ討議、プレゼンテーション、学習指導案の作成及び模擬実践に向けた取り組み、レポート課題、学修問題、模擬実践の考察

[教科書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　特別活動編 著者名:文部科学省 出版社名:東山書房 ISBN:978-4-8278-1591-7

[参考書(ISBN)]

科目名	特別支援学校体験活動	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	細川　愛美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
幼児・児童生徒の障害特性と特別支援学校での活動を知り、養護教諭を含む教職員の支援のあり方を考えることができる。

[授業概要]
学校現場には、特別支援学校だけでなく通常の学校においても、何らかの障害を有する子供たちが在籍しており、インクルーシブ教育の理念に沿って子供たちの健やかな成長と有意義な学校生活を保障するため、教職員にはきめ細やかな配慮が求められる。
「特別支援学校体験活動」では、特別支援学校にて各学校での管理職、学級担任、養護教諭等の指導を受けて、ボランティア活動を行う。特別支援学校で子供たちとともに活動したり、教員の業務補助などを体験したりすることにより、特別支援学校の現状に触れ、養護教諭にとって必要不可欠な、「子供たちの障害(特性)理解」、「障害に応じた適切な関わり」について学ぶ。
本科目は学校現場での教員経験がある者が指導を行い、学校現場の現状に即した実践力を身につけられるような指導を目指す。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
脳性まひ、自閉症、ダウン症候群など、特別支援学校に多く在籍している子供たちの障害について予め学習し、最低限の知識を持って活動に臨むこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度。
この科目の履修希望者は履修学年の前年度までの養護教諭1種免許取得に関する必修科目の単位をすべて修得していなければならない。

[授業計画]
＜事前指導(大学にて)＞
特別支援学校体験活動の目的と意義、学生としての心構え

＜体験活動(各特別支援学校にて)＞
＊学生が各自で希望する特別支援学校に実習を依頼し、9月から2月の間に合計5日間(40時間相当)の体験活動を実施する。以下は活動内容の一例であり、実習校の状況により内容は異なる場合がある。

1.児童生徒の健康管理および保健室来室者への対応と救急処置の実際
2.教室等における学習場面の参観および児童生徒理解
3.児童生徒の介助体験
4.慢性疾患や障害のある児童生徒への配慮の実際・学校安全管理と救急体制の実際　等

＜事後指導＞
体験活動で学んだことを各自がレポートにまとめ、学びを深める

科目名	特別支援学校体験活動	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	細川　愛美		

[成績評価方法]
5日間(40時間相当)の特別支援学校での活動確認　60%
日々の活動の内容、活動記録、レポート等　40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートの評価については希望者に開示する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:特別支援学校での活動確認(60%)、日々の活動記録、レポート(40%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:特別支援学校での活動確認(60%)、日々の活動記録、レポート(40%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:特別支援学校での活動確認(60%)、日々の活動記録、レポート(40%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:特別支援学校での活動確認(60%)、日々の活動記録、レポート(40%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	特別支援教育	後期	2 単位
サブタイトル	発達障害を含む障害のある子ども等が在籍していることを前提にした授業づくり 学級づくりを実施するために	講義	
担当者	田中　裕一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・特殊教育から特別支援教育への変遷をふまえ、その理念と背景、歴史、思想、制度と内容、障害特性と支援などについて理解する。
・通常の学級にも在籍している発達障害や知的障害など様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児児童生徒が、授業において学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら学び、生きる力を身につけりょうに、必要な知識と支援方法を理解する。
・学校と関係諸機関が連携しながら個別の教育的ニーズに対して継続的かつ組織的な支援ができるような知識と方法を理解する。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
・この授業では、学校現場での教員や教育行政(教育委員会、文部科学省)等の経験のある教員が、その経験を活かして、特別支援教育やインクルーシブ教育システムの理念やその背景、歴史、仕組み等について解説する。
・特別支援学校や特別支援学級、通級による指導、特別な支援を必要とする子どもが在籍する通常の学級において、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。
・グループワークなど主体的で協働的な学びの手法で授業を進める。
・これらの授業を通じて、障害を含む学びに困難を抱える子どもの現状とその対応方法等について学び、インクルーシブな社会の基礎となる多様性を認め合うための、授業づくり、学級づくりを目指す教員となるための資質を涵養する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・事前に各回テーマに関する書物や資料を読み込んでおくこと。指定する場合もある、＜2時間＞
・授業で指定された課題について主体的、探究的に実行すること。＜2時間＞
※各回、予習復習合わせて4時間程度行うこと。

[授業計画]
1.特別支援教育の制度・理念(グループワーク)10/4　2限
2.視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱等さまざまな障害理解(グループワーク)10/4　3限
3.通常の学級に在籍する発達障害のある幼児児童生徒の特性(グループワーク)10/4　4限
4.自閉症スペクトラムの特性の理解と支援(グループワーク)10/11　1限
5.ADHDの特性の理解と支援(グループワーク)10/11　2限
6.学習障害の特性の理解と支援(グループワーク)10/11　3限
7.ユニバーサルデザインの授業とインクルーシブ教育システムの理解(グループワーク)10/11　4限
8.障害のある子どもの保護者理解(グループワーク)10/25　3限
9.特別支援教育コーディネーターの仕事と関係機関連携(グループワーク)10/25　4限
10.障害のある児童生徒の学びの場(通級指導・特別支援学級等)(グループワーク)11/8　1限
11.母国語や貧困等から教育的ニーズのある幼児児童生徒の理解(グループワーク)11/8　2限
12.個別の指導計画と個別の教育支援計画の作成と活用(グループワーク)11/8　3限
13.まとめ(グループワーク)11/8　4限

科目名	特別支援教育	後期	2 単位
サブタイトル	発達障害を含む障害のある子ども等が在籍していることを前提にした授業づくり 学級づくりを実施するために	講義	
担当者	田中　裕一		

[成績評価方法]
授業中の課題・発表内容（60%）、グループワーク等の討議内容（30%）、授業態度（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・授業中におけるコメント等によるフィードバック
・オフィスアワーにおける対応

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題・発表内容及びグループワーク等の討議内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題・発表内容及びグループワーク等の討議内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題・発表内容及びグループワーク等の討議内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中の課題・発表内容及びグループワーク等の討議内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の課題・発表内容及びグループワーク等の討議内容、授業態度から評価

[教科書（ISBN）]
書籍名:新フィリア 著者名:著者名１ 出版社名:ジアース教育新社 ISBN:9784863715226

[参考書（ISBN）]
書籍名:通常学級の発達障害児の「学び」を、どう保障するか 著者名:田中裕一 出版社名:小学館 ISBN:9784098402137
書籍名:LDの子が見つけたこんな勉強法 著者名:田中裕一・野口晃菜 出版社名:合同出版 ISBN:9784772615396
書籍名:小・中学校でできる「合理的配慮」のための授業アイデア集 著者名:田中裕一 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491033846

科目名	養護実習A	後期	4 単位
サブタイトル		実習	
担当者	細川　愛美、宮本　晃郎、宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
実習校の教育環境や状況を理解し、学校組織の実際と、その中での学校保健の位置づけを学び、養護教諭の役割について理解する。実際に子供と対応し、養護教諭としての児童生徒への適切な接し方を身につける。

[授業概要]
養護実習Aでは、大学で学んだ理論・技術を実習校での実際の体験を通じて応用し、さらに深く理解することを目的とする。各学校での管理職をはじめ、校務担当教員の講話、学級担任、教科担任、養護教諭の指導を受けて、学校教育や、児童生徒理解、児童生徒の健康課題について学び、それらに関わる養護教諭の役割について理解する。観察実習、保健指導、救急処置等を行い、また、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。事前指導では教育実習の意義、実習記録のとり方、教育課題への対応の仕方などを学ぶ。
本科目は学校現場での教員経験がある者が指導を行い、学校現場の現状に即した実践力を身につけられることを目指すものである。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
過去の授業内容を復習しておく。学校現場に出る上では、一社会人として、また一教員としての自覚を持ち、誠実な態度で実習に臨むこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
事前指導(大学にて)
　教育実習の目的と意義、実習生としての心構え等

教育実習(各実習校にて)
1.管理職の講話、校務担当教員の講話と指導
2.学級担任、教科担任の指導
3.保健室の整備および備品の管理について
4.教室等における学習場面の参観および児童生徒観察の実際
5.保健室来室者への対応と救急処置の実際
6.学校安全管理と環境衛生管理の実際
7.学校救急体制の実際
8.児童生徒の健康管理
9.慢性疾患や障害を抱える児童生徒への配慮
10.教職員の健康管理の実際
11.学校行事、児童生徒保健委員会活動
12.健康教育の実際　等

科目名	養護実習A	後期	4 単位
サブタイトル		実習	
担当者	細川　愛美、宮本　晃郎、宮垣　覚		

[成績評価方法]
実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価(70%)
実習記録の内容等(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
実習記録等の評価については希望者に開示する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習校の評価(70%)、実習記録の内容等(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習校の評価(70%)、実習記録の内容等(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実習校の評価(70%)、実習記録の内容等(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習校の評価(70%)、実習記録の内容等(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習校の評価(70%)、実習記録の内容等(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:実習校の評価(70%)、実習記録の内容等(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:実習校の評価(70%)、実習記録の内容等(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習校の評価(70%)、実習記録の内容等(30%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	養護実習指導	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	細川　愛美、宮垣　覚、宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
養護教育実習生として必要な心得や行動、救急処置や保健指導の実際、保健室経営に携わる素地を身につけ、養護教諭としての責務を理解する。また、それぞれの教育実習に臨む前に自己の課題を見出し、より効果的な実習ができるように準備をする。

[授業概要]
「養護実習」参加の前提として、事前の履修が課せられている。
本講義では、教育職員免許法の趣旨に基づき、これまでに学習した関係科目の内容の総合的理解を図り、教育実習生として必要な心得や行動を学ぶ。それとともに、保健指導や保健管理の実際、保健室経営などの養護教諭の職務に携わる素地を身につける。また、模擬授業の実施により、学習指導案の書き方や保健指導の方法等も整理する。合わせて、養護教諭の職務の中核をなす救急処置について演習を行い、学校現場で即対応できる技術を身につける。
本科目は、学校現場での教員経験を有する者が、これらの養護教諭の多様な職務に関して、教育活動の一環としてその機能を果たすために、どのように職務をとらえ、展開するのかを、学校での実際の活動場面に即して指導する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
これまでに学んだ関連分野の内容について、復習して理解を深めておく。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1.実習の目的・意義、および実習内容・準備について(細川　愛美)(4月16日水曜日)5限
2.養護教諭の職務と役割、求められる養護教諭像を考える(細川　愛美)(6月10日火曜日)3限
3.保健指導の実際、指導案の書き方、および実習記録の書き方について(細川　愛美)(6月10日火曜日)4限
4.保健指導案に沿って模擬授業を行う。(細川　愛美)(6月11日水曜日)3限
5.学校における安全管理と養護教諭の役割、緊急時対応について(細川　愛美)(6月11日水曜日)4限
6.養護実習の心得・目標、および学級経営・授業について(宮垣　覚)(6月12日木曜日)3限
7.生徒指導・特別支援教育・人権教育について　(宮垣　覚)(6月12日木曜日)4限
8.人形を使い、演習形式で心肺蘇生法を学ぶ　その1(細川　愛美)(6月13日金曜日)1限 F529
9.人形を使い、演習形式で心肺蘇生法を学ぶ　その2(細川　愛美)(6月13日金曜日)2限 F529
10.学校現場でよく見られるけがや病気の対応について学ぶ。(細川　愛美)　(6月13日金曜日)3限 F529
11.けがの手当て、救急処置について学ぶ(細川　愛美)(6月13日金曜日)4限 F529
12.実習生の実習報告　(宮垣　覚)　(11月29日土曜日)3限
13.今後の課題・レポート作成(宮垣　覚)　(11月29日土曜日)4限

科目名	養護実習指導	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	細川　愛美、宮垣　覚、宮本　晃郎		

[成績評価方法]
授業への取組み姿勢(授業態度、発表・活動内容等) 40%
授業内課題、レポート等 60%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートの評価は希望者に開示する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業態度、発表・活動内容等(40%)、レポート(60%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業態度、発表・活動内容等(40%)、レポート(60%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業への取り組み姿勢(授業態度、発表・活動内容等(40%)、レポート(60%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]